

THE PHILATELIST MAGAZINE

# フィラテリスト

*Magazine*

スタンペディア日本版機関誌

2023

EXTRA EDITION 32

STAMPEDIA INC.



真夏の切手展 参観ガイド



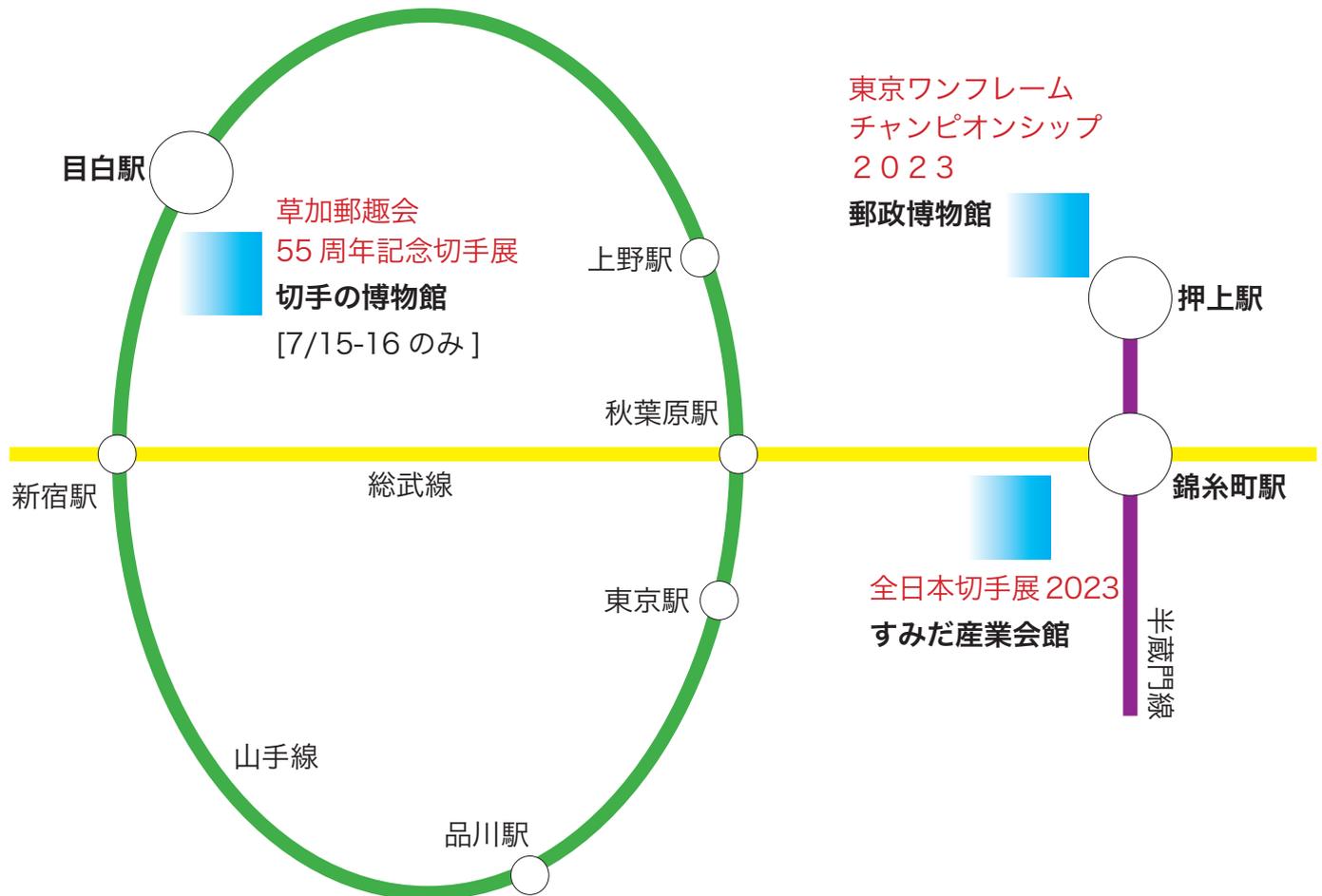
無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

号外

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023 / 全日本切手展 2023 / 草加郵趣会 55 周年記念切手展  
7月 15-17日は切手三昧！

都内3ヶ所の博物館・会場等で、3つの切手展が開催されます。

首都圏にお住まいの方はもちろん、地方にお住まいの方も、コレクションを効率よく一挙に見て回るチャンスです



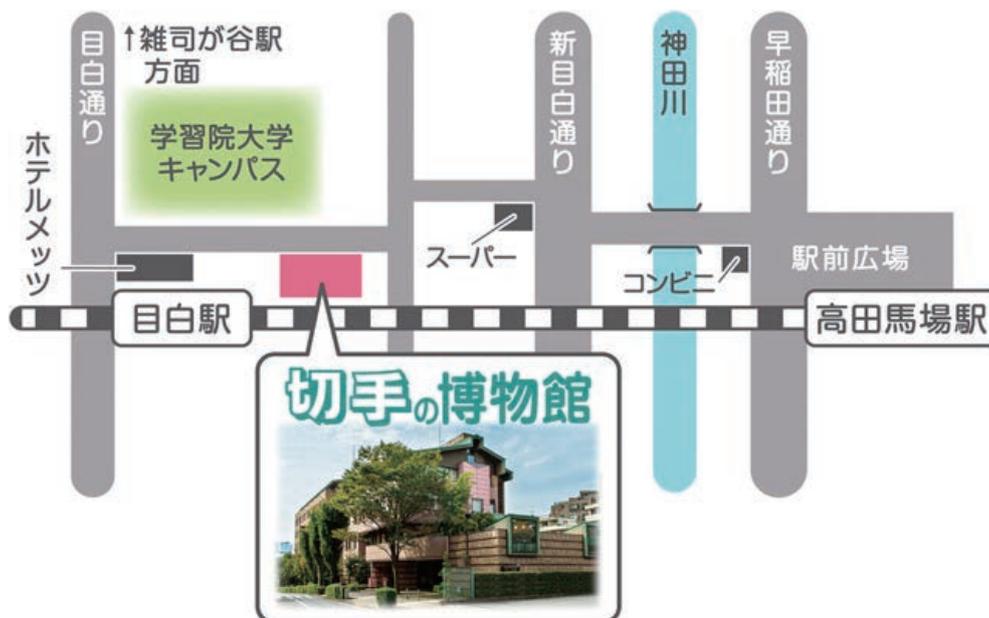
目次

|                       |           |       |
|-----------------------|-----------|-------|
| 東京ワンフレームチャンピオンシップ2023 | 公式ガイド     | P. 4  |
| 全日本切手展2023            | 競争展示参観ガイド | P. 56 |
| 草加郵趣会55周年記念切手展のご案内    |           | P. 82 |

広告一覧

- P 13 スタンペックスジャパン実行委員会
- P 86 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社
- P 88 スタンペディアオークション株式会社

## 切手の博物館



J R 山手線・目白駅徒歩 3 分

J R 山手線、東京メトロ東西線、西武新宿線・高田馬場駅徒歩 7 分

東京メトロ副都心線・雑司が谷駅徒歩 13 分

## すみだ産業会館

〒130-0022 東京都墨田区江東橋 3 丁目 9 番 10 号  
(墨田区・丸井共同開発ビル 8・9 階)

錦糸町駅より徒歩 1 分

JR 錦糸町（南口）をでると京葉道路（国道 14 号線）の向こうに錦糸町マルイが見えます。その 8 階、9 階になります。

## 郵政博物館

# 東京スカイツリータウン® 郵政博物館

### 【郵政博物館への行き方】

所在地：東京スカイツリータウン®・ソラマチ 9 階

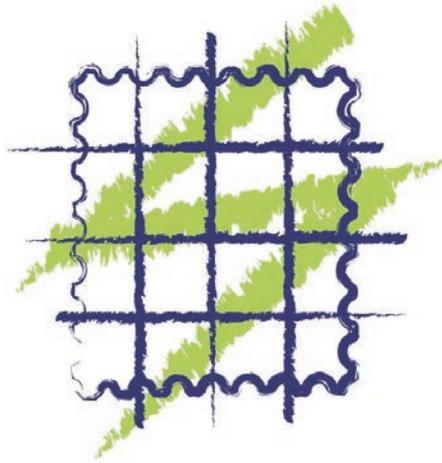
※イーストヤード12番地のエレベーターで8階まで上がり、8-10F

ライフ&カルチャー用エレベーターに乗り換え、9階までお越しく下さい。

最寄駅 押上駅（東京メトロ半蔵門線、都営浅草線、東武スカイツリーライン、京成押上線）、とうきょうスカイツリー駅（東武スカイツリーライン）両駅から直結。



12 番地エスカレーターまたはエレベーターで 8 階まで。  
8 階で 8-10 階専用エレベーターへ乗り換え、9 階で降り右折正面。



# ONE-FRAME CHAMPIONSHIP TOKYO 2023.7.8-7.17

## 出品作品一覧

| フレーム ID | 部門      | 作品名称                          | 都道府県 | 氏名                      |
|---------|---------|-------------------------------|------|-------------------------|
| 1       | 絵葉書     | 猫の未来を変えた画家 ルイス・ウェインの猫ポストカード   | 東京   | 岩崎 朋之                   |
| 2       | トピカル    | マナティ                          | 東京   | 立川 賢一                   |
| 3       | テーマティック | 神となり、紙幣になり、印紙になり、切手にもなった二宮金次郎 | 岡山   | 森田珠利・<br>森田玲美・<br>森田美佐子 |
| 4       | テーマティック | 切手になった日本人 21 世紀版              | 神奈川  | 山崎 太郎                   |
| 5       | テーマティック | 物語の中のカエル                      | 静岡   | 長島 裕信                   |
| 6       | テーマティック | 15 人の郵趣家たち                    | 東京   | 近辻 喜一                   |
| 7       | 現代郵趣    | 中華人民共和国「各地の民家」シリーズ (普 26)     | 兵庫   | 藤本 博嗣                   |
| 8       | マルコフィリー | 讃岐国のボタ印                       | 大阪   | 多田 由一                   |
| 9       | マルコフィリー | 豊後・府内 / 大分の初期郵便印              | 福岡   | 桑原 康雄                   |
| 10      | マルコフィリー | 記念印：戦前の朝鮮半島に於ける日本郵政による使用      | 米国   | 中野 健司                   |
| 11      | マルコフィリー | ドイツ横浜海軍病院郵便局                  | 兵庫   | 藤井 堂太                   |
| 12      | マルコフィリー | 直彫ローラー印・カタカナローラー印             | 東京   | 鈴木 盛雄                   |
| 13      | 郵便史     | 西国筋飛脚                         | 東京   | 山崎 好是                   |
| 14      | 郵便史     | Advertized Postmarks in Japan | 東京   | 岩崎 朋之                   |
| 15      | 郵便史     | 価格表記から現金書留                    | 東京   | 石川 勝己                   |
| 16      | 郵便史     | 市内特別郵便史                       | 埼玉   | 町屋 安男                   |
| 17      | 郵便史     | 戦前の国際郵便 (抜粋)                  | 岡山   | 安藤 源成                   |

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023

全ての作品の全てのページをインターネットでご覧いただくことができます  
(2023/7/8-7/17のみ閲覧可能)

<http://www.stampedia.net/stamp/ex/9/stamp/ja>

| フレームID | 部門       | 作品名称   | 都道府県 | 氏名     |
|--------|----------|--|------|--------|
| 18     | 郵便史      | 日本と極東ロシアの郵便  | 兵庫   | 志水 正明  |
| 19     | 郵便史      | 日本占領下リオ群島の郵便   | 東京   | 守川 環   |
| 20     | 郵便史      | 第二次世界大戦中のインドシナと日本  | 埼玉   | 比留間 晃則 |
| 21     | 郵便史      | オーストリア・フランス郵便協定 1817-1843  | 埼玉   | 山形 宏之  |
| 22     | 郵便史      | フランス：UPU 以前の外国郵便   | 神奈川  | 有吉 伸人  |
| 23     | 郵便史      | 琉球政府下の無料郵便   | 沖縄   | 佐藤 克彦  |
| 24     | 航空郵趣     | 飛行船ツェッペリン伯号の世界一周飛行   | 東京   | 横山 裕三  |
| 25     | ステーショナリー | Great Britain : Air Letter for Prisoners of War in Germany and Italy | 神奈川  | 佐藤 浩一  |
| 26     | ステーショナリー | 様式改定の飛天図案航空書簡  | 埼玉   | 行徳 国宏  |
| 27     | ステーショナリー | Summer Greeting Postal Cards of Japan : 1950-1951                    | 大阪   | 須谷 伸宏  |
| 28     | ステーショナリー | 戦後の外信はがき   | 岡山   | 山本 幸治  |
| 29     | ステーショナリー | 琉球暑中見舞はがき  | 愛知   | 榎澤 祐一  |
| 30     | 郵便史      | 書留バーコードラベル   | 静岡   | 水谷 行秀  |
| 31     | 伝統郵趣     | 旧小判5厘切手  | 東京   | 城野 隆三  |
| 32     | 伝統郵趣     | 旧小判切手8銭  | 群馬   | 設楽 光弘  |
| 33     | 伝統郵趣     | 1銭稻刈切手   | 東京   | 菊地 恵実  |
| 34     | 伝統郵趣     | 「40円陽明門原画」はどのようにしてできたか   | 宮城   | 斎 享    |
| 35     | 伝統郵趣     | 琉球速達切手   | 東京   | 木戸 裕介  |
| 36     | 伝統郵趣     | フィリピン・ゲリラ切手  | 東京   | 鏑木 顕   |
| 37     | 伝統郵趣     | ドナウ川汽船会社 1868 10Kr. Green  | 東京   | 吉田 敬   |
| 38     | 伝統郵趣     | 英国 "Penny Red Star" 1841-1862  | 千葉   | 中畑 智文  |
| 39     | 伝統郵趣     | 3d Lilac Commonwealth Games 1958                                     | 神奈川  | 伊藤 淳   |
| 40     | 伝統郵趣     | 英国マーチン リーダースダイジェスト連刷コイル  | 東京   | 佐藤 明夫  |
| 41     | 伝統郵趣     | 百城凸版孫文切手のフルシートを元とした分類  | 大阪   | 重山 優   |

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023

全ての作品の全てのページをインターネットでご覧いただくことができます  
(2023/7/8-7/17のみ閲覧可能)

展覧会の開催期間後は、クラウド展示は原則として閲覧できなくなります。

見方その1 : 本号外 14 ~ 54 ページの各作品の QR コードを読み込む

見方その2 : 展覧会トップページの一覧 (下部) より作品を選びクリックする  
<http://www.stampedia.net/stamp/ex/9/stamp/ja>



上の画像で、展示作品部分は、第5回南方占領地のフィラテリー展のHPを合成させていただきました

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023

# チャンピオンを決めるのは、参観者のあなたの一票です！ (投票期間 2023/7/8-7/16)

展覧会最終日の7月17日は、投票はできませんので、ご注意ください。

「東京ワンフレームチャンピオンシップ2023」は、審査員による審査を実施しない非競争切手展です。その代わりに出品者の励みにすべく、参観者による投票を行い、上位入賞者を発表すると共に讃えます。

この様な取り組みを大規模に行うことは初めてで様々な混乱も予測されますが、迷っては何も始まらないので、会場投票とネット投票の二つに分けて、まずは試してみよう、ということになりました。

参観者の皆様には、是非、積極的に投票にご参加くださいますようお願い申し上げます。

## 上位入賞者の副賞の例



有田焼 皿「今泉今右衛門」



デジタル顕微鏡セット(キャリアケース、付属品等一式) 新古品



クック諸島 5ドル銀貨(1オンス、2022) ケース、証明書付

## 投票方法その1：会場で投票する

東京ワンフレームチャンピオンシップ2023会場(郵政博物館 多目的スペース)で、投票シールを配布します。各作品の下部には、「投票シール貼り付けボード」が設置されていますので、配布されたシールを、あなたが良いと思った作品の「投票シール貼り付けボード」に貼り付けてください。

## 投票方法その2：ネットで投票する

「スタンペディア日本版」会員に、一人一回の投票権利を差し上げます。投票方法は、7月8日に送付する電子メールニュースにてご案内差し上げます。

ネットで投票された方の中から3名に豪華賞品(市価1万円程度)をお贈りします。

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023 サポーターのご紹介

# 感謝そして御礼

東京ワンフレーム・チャンピオンシップ2023の運営にあたり、サポーターとなり  
一口2000円のご支援をくださいました方を紹介させていただきます。

6月23日現在ご支援くださっている皆様（67口、順不同）

中野健司 様（6口） 安藤源成 様（5口） 佐藤浩一 様（5口） 山崎好是 様（5口）  
吉田敬 様（5口） 行徳国宏 様（5口） 池田健三郎 様（3口） 鈴木盛雄 様（3口）  
設楽光弘 様（3口） 加藤茂樹 様（2口） 城野隆三 様（2口） 中畑智文 様（2口）  
町屋安男 様（2口） 山崎太郎 様（1口） 藤本博嗣 様（1口） 岩崎朋之 様（1口）  
横山裕三 様（1口） 有吉伸人 様（1口） 水谷行秀 様（1口） 立川賢一 様（1口）  
斎 享 様（1口） 長島裕信 様（1口） 多田由一 様（1口） 近辻喜一 様（1口）  
石川勝己 様（1口） 佐藤明夫 様（1口） 菊地恵実 様（1口） 増山三郎 様（1口）  
北野雅利 様（1口） 飯澤達男 様（1口） 守川環 様（1口） 匿名（1口）

サポーターは一口2000円で、現在も募集中です。マイスタンプEDIAよりお申し込みください。

次に、東京ワンフレーム・チャンピオンシップ2023の運営にあたり、サポーターとなり  
副賞商品をご提供くださいました方を紹介させていただきます。

福田真三様、吉田敬 様

最後に、東京ワンフレーム・チャンピオンシップ2023の運営にあたり、サポーターとなり  
SNS で本展覧会をご紹介くださいました方を紹介させていただきます。

重山優 様、森田美佐子様

なお、他にもご紹介いただいた方がいらっしゃいましたら、是非お知らせください。

# ワンフレームに再注目！

本誌号外 30 号（2023 年迎春特集）掲載記事「ワンフレームに再注目！」を一部修正して再掲します

## 「ワンフレーム作品」とは？

本格的な切手コレクションは、展示パネル 8 台にも渡る 128 ページで構成されることが多く、そのボリュームはリーフ作りに慣れていない方が挑戦するにはなかなか高い敷居です。

一方、切手展における最小単位の展示の代表は、切手コレクション展示パネルの一面を用いた「ワンフレーム作品」です。標準サイズの A4 リーフ 16 ページを展示することができます。

敷居が低い展示規格であることは、リーフ作りに慣れていない方や初心者、またフィラテリーにあまり時間を割くことができない方にとっては大きな利点です。従って、切手展出品の参加者を増やすという郵趣振興の観点からも活用しがいのある展示規格ということができます。

また、制作量が少ないため気楽に臨むことができる「ワンフレーム作品」は、ベテラン収集家にとっても便利な展示規格です。なぜならば、本格的なメインコレクションの傍ら取り組むサブコレクションやミニテーマを展示するにはもってこいの分量だからです。

この様に「ワンフレーム作品」規格のおかげで、実に様々なフィラテリーのプレゼンテーションが生まれています。

## 全国展ワンフレーム部門参加者の大半は、競争切手展の審査を必要としていない

「ワンフレーム作品」は国際展の一部門になっています。従って「ワンフレーム作品」を語る時には、それが競争切手展を意識したものなのか否かを明らかにすることが大事です。

そもそも競争切手展は、国際郵趣連盟の定める審査規則に準拠して審査される「狭義の切手展」です。「ワンフレーム部門」にも厳格な審査規則が定められています。

競争切手展はゲームの一種ですから、「ワンフレーム部門」にも攻略法が存在しますが、日本で本格的に取り組んでいる方は限られた人数しかおらず、全国切手展でも、国際切手展で実績があり、審査規則に精通した審査員の審査を受ける機会はほとんどありません。

この為、全国展である程度の評価を受けたワンフレーム作品であっても、国際展に出品されると、厳しい審査結果を下されるケースが多くなってしまいますが、ルールを知らずにゲームをプレイすれば良い結果を得られないのは当たり前のことです。

そしてルールを熟知すればするほど、競争切手展の「ワンフレーム部門」として審査に耐えうる作品のテーマが狭いということに気付かされます。例えば国際郵趣連盟の提示しているガイドラインには以下のように記載されています。

- ・「ワンフレーム作品」で想定される展示は、1 フレームに丁度納まる非常に狭いテーマである。(ワンフレ 1 項)
- ・2 フレーム以上、もしくは 1 フレーム未満でしか展示できないテーマは、「ワンフレーム作品」向きのテーマとは言えない。(ワンフレ 2 項)
- ・複数フレームに展開できる作品からの 1 フレームの抜き出しは、それが自然なサブテーマを完全に扱える場合以外は不適切である。(伝統 2 項)

日本の普通切手の大半は、レギュラー部門で5フレームないし8フレームで展開できます。従って上記規則を読むと、例えば「竜48文」や「旧改8銭」等のワンフレーム作品は、見てみたい気はしますが、歓迎されないことがわかります。

しかし、ここで立場を『競争展を意識しない』に変えて考えてみて欲しいのです。

前述の通り、競争展は**狭義の切手展**でしかありません。国内の切手展に作品の展示をする大半の人は、自分のコレクションを他人にみてもらうことが目的です。作品を参観する人も含めて、そこに七面倒くさい厳しいルールが必要な人はむしろ少数でしょう。

国際展ワンフレーム部門で歓迎されない例として前述した「竜48文のワンフレームコレクション」にせよ、1版、2版のシートに始まり、未使用に比べて難しい使用済マルチプル、明治4年3月の初期使用、最初の郵便料金での複数の使用例などが揃ったコレクションであれば、競争展ルールに則っていないとしても、多くの人が見てみたいと思うのではないのでしょうか。

全国展ワンフレーム部門出品者の側も、初心者の手慣らしや気楽なサブコレクション・ミニテーマとして「ワンフレーム作品」を楽しむ方が多く、国際切手展へ進出する割合はレギュラークラスより低いことが公開情報から判明しています。

ということは、**ワンフレ部門の大半の出品者は、国際郵趣連盟の定める審査規則に準拠した審査は必要としていない**ということです。しかし、多くの収集家に自分の作品を披露するには全国展しか機会が無いのもまた事実。唯一の選択肢である競争展である全国展に出品していたのが実情です。そして、全国展の中でも全日展より JAPEX が選択されてきたのは、来場者数が後者の方が断然多いという理由からでしょう。

しかし物価高騰に伴い、全国切手展でのワンフレーム部門の出品料も値上がりを免れなくなってきました。JAPEX では1作品 9,000 円、全日本切手展では1作品 10,000 円の出品料が設定されています。

競争審査の手間や人件費を考えると出品料が高くなるのも仕方ないことかもしれませんが「一万円もするなら、自分のホームページで公開するのでも十分」との声も聞こえてきます。しかしながら、せっかくコロナ禍も収まってきた中、やはり実物を見せたい / 見たい人もまだまだ多いだろう、と思います。

全国切手展ワンフレーム部門の出品料が割高な原因は、審査も含めた、事務経費がレギュラー部門とほぼ変わらず必要であるにも関わらず、収入は1フレーム分しか入らないことにあります。しかし発想を変えれば、事務コストを下げた全国展を開催することも可能なはずで、「東京ワンフレーム・チャンピオンシップ」は、そのような発想で企画された全国規模のワンフレーム展覧会（非競争）で、出品料は1フレーム千円にまで下げました。これから毎年開催しますので、関心ある方は是非ご参加ください。

## 増えつつある「ワンフレーム」専門切手展

コロナ禍を克服した郵趣界にとって、2022年は国際展の当たり年で、実に5回の世界展が開催され、同一作品を1年間で5回の世界展に展示することも可能でした<sup>1)</sup>。

長い歴史を持つ世界展に加えて、昨年注目されたのは、カナダで開催された、世界ワンフレームチャンピオン切手展 CAPEX2022 でした (2022/6/9~12)。同展覧会は、ワンフレーム部門と文献部門だけを取り扱う国際競争切手展という点で大変ユニークで、当初は集まるか心配された作品もワンフレーム部門だけで 400 点を越える作品が集まりました。北米開催であるにも関わらず、アジア郵趣連盟加盟国から 8 カ国 73 作品が参加し全体の二割を占めました。(本誌 35 号既報)

好結果を受けて、2023年6月22-25日には、カナダと国境を接する St-Pierre-et-Miquelon サンピエールミクロン（フランス海外県）で、ワンフレイム専門の国際競争切手展 EUROPHIL-SPM 2023 が実施され（右図）、北米・欧州を中心に多くの参加がありました。

普通の切手展では後ろの方にまとまって狭いスペースで展示されているワンフレイム作品は、お世辞にもスポットライトが当たる部門とは言えませんが、このようなワンフレ専門展では主役がワンフレですから、競争展志向のワンフレイム部門作品を作っておられる方には願ってもない展示機会だと思います。もっとも日本で該当される方は本当に少数だと思いますが。

\*1 5回の内、全日本郵趣連合がコミッショナー派遣を実施したのは2回のみ。



「東京ワンフレイムチャンピオンシップ」は、ワンフレイム出品だけの、非競争全国切手展です。

国際展にワンフレイム作品を展示したい方は、全国切手展（競争展）をご利用いただくとして、それ以外の大多数の方の為に『競争展を意識しなくても良い』ワンフレイム専門の全国規模の展覧会（非競争）を毎年一回開催していきたいと実行委員会では考えています。

幸い、2017年から郵政博物館と特非）郵趣振興協会が開催している『郵博 特別切手コレクション展』の枠組みを利用することで、10日間のワンフレイム専門展（オンラインのみ開催7日間を含む）を低廉な費用で開催できるようになりましたので、**出品料を千円に抑えることができました。**

会期中は、オンラインで全リーフをご覧いただくことができるほか、最後の3日は郵政博物館でも展示をご覧いただくことができます。非競争展ですので審査は行いませんが、参観者による人気投票を行い、チャンピオンを決定します。

開催時期は複数の候補があり秋と二択になりましたが、地方にお住まいのフィラテリストから「3日かかっても見切れない JAPEX と比べて規模の小さい夏の展覧会の場合、一つだけでは上京するモチベーションが働かないが、複数の展覧会を同時に楽しむことができるならば上京したいと思う」という声があがっていることを知り、夏の開催に決定しました。

なお、全国規模の展覧会ではあるものの、本展覧会は今後も非競争切手展として開催していく予定です。従いまして、FIP 規則に準拠したワンフレイム作品を制作し、国際展へのご出品を念頭においていらっしゃる方には、同時期に開催が予定されている全国切手展へのご出品をお勧めします。（本誌号外 30 号（2023 年迎春特集）掲載記事「ワンフレイムに再注目！」を一部修正して再掲しました）

東京ワンフレームチャンピオンシップ2023に参加

して「作品作りはいいなー」と思ったあなた！

次は、

# レギュラーフレームに挑戦してみませんか？

全国切手展スタンペックスジャパン2024のご案内

## スタンペックスジャパン2024 出品申込特典

### 出品者ポータル（仮称 Exhibitor's Page）提供のご案内

スタンペックスジャパン2024は、展示フレーム上限が90フレームに限定された全国切手展です。必ずしも全ての応募者の作品を受領できない可能性があり、これまでに数作品の応募を受付できないことがありました。

しかし、出品してクリティークを受けられないにせよ、競争切手展に関心のある全ての方の熱意を応援するため、これまでも、セミナー、ツールやマニュアルを提供して参りました。

ここ数年間に提供してきたコンテンツもだいたい溜まってきましたので、競争切手展に参加する方に役立つサイト「出品者ポータル（仮称 Exhibitor's Page）」を、スタンペックスジャパン2024の出品申込者に提供（無料）する予定で、現在準備を行っているところです。

このサービスは、スタンペックスジャパン2024 出品申込書を事務局に受理されると（アクセプトのいかに関わらず）ご利用が可能になります。初年度の利用期間は、2023年10月1日から2024年7月31日を予定しております（無料）。

### 出品者ポータル（仮称 Exhibitor's Page）で提供が予定されている内容（抜粋）

- 1) 過去のWEBセミナーのアーカイブ配信視聴
  - 「審査員との駆け引き」（2021/4, 佐藤浩一）
  - 「クリティークを活用するための準備」（2021/4, 吉田敬）
  - 「会社をやめるまで一切英語を喋れなかった私の英語筆記法」（2021/5, 吉田敬）
  - 「地図、画像、表の入れ方」（2021/6, 吉田敬）
  - 「タイトルリーフの役割と作り方」（2023/10, 吉田敬）
  - 「事前審査に影響する、作品タイトルの重要性」（2023/12, 吉田敬）
- 2) FIP 審査特別規則の日本語訳 PDF
  - 「伝統郵趣部門」「郵便史部門」「ポータルステーションナリー部門」
- 3) 伝統郵趣、郵便史 パソコンリーフの雛形

## STAMPEX JAPAN

NATIONAL PHILATELIC EXHIBITION  
AT THE POSTAL MUSEUM JAPAN TOKYO SKYTREE TOWN SORAMACHI

## 第5回全国切手展 スタンペックスジャパン2024

## 開催日程が決定しました

出品募集要項は8月下旬に発表予定です。

2024年3月30日－4月1日(土日月)

会場：郵政博物館(東京スカイツリータウン・ソラマチ)

主催：公益財団法人通信文化協会、特定非営利活動法人郵趣振興協会

後援：日本郵便株式会社(予定)

## どのような特徴の展覧会なのでしょう？

「スタンペックスジャパン」は、国際郵趣連盟(FIP)の定める審査規則に従い、FIP公認審査員を主体とした審査チームが審査する全国切手展、かつ出品者への個別指導の場です。

個人で楽しむ分にはコレクション作りは自由ですが、このコレクション作りに競技の概念を持ち込んだのが競争切手展です。ヨーロッパ発祥で100年以上の歴史があり、この間に多くのコレクションが競争切手展の場で、FIP公認審査員により審査されてきました。

競争切手展は、陸上競技の様な絶対価値の測定ではなく、フィギュアスケートの様な、審査規則に従い、審査員が審査を行う審査競技(100点満点)です。

日本人が国際切手展に頻繁に参加するようになったのは1980年代以降です。欧米諸国に比べると歴史が浅い為、ルール違反の作品やルール上大幅な減点を免れない作品もありました。しかしながら、FIP公認審査員の日本人が少なかった為、それ以外の収集家が見ようみまねで審査するしかない全国切手展も少なくありませんでした。この為、国内で良い賞を獲得した作品の中には、世界に進出した瞬間に、大幅に減点されてしまう作品が後を絶たない状態でした。

スタンペックスジャパンは、このような悔しい思いをする競争展出品者を少しでも減らす為に2019年夏に企画された全国切手展です。原則としてFIP公認審査員(伝統郵趣部門)のみで審査委員会を結成し、各審査員には、FIP規則の更なる理解と最新の運用の動向をご理解いただく様お願いしております。

また、出品者には、会期二日目の会場におけるクリティーク(審査員による個別指導)への参加を強く推奨し、作品改善に役立てていただいています。

この結果、過去の本展出品者の多くが、その後開催された国際切手展で、改善された作品を展示できる様になり、期待通りのスコアを獲得することができました。

この様に、本展覧会は、「出品者の為」を第一に考えて開催される全国切手展です。近い将来、国際切手展への出品を検討している方はもちろん、当面は国内切手展での作品改善をメインに考えている方も是非ご出品をご検討ください。

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023



猫の未来を変えた画家 ルイス・ウェインの猫ポストカード



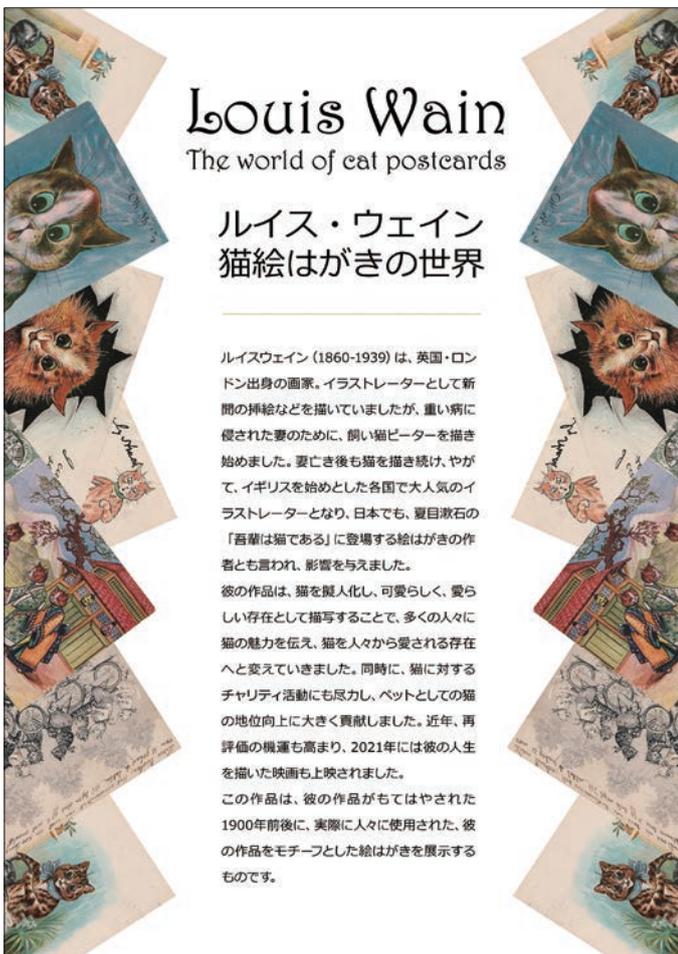
作品番号 No. 1 (絵葉書)

出品者：岩崎 朋之

ルイス・ウェインは、ロンドン出身の画家。新聞の挿絵などを描いていましたが、重い病に侵された妻のために、飼い猫を描き始めました。妻亡き後も猫を描き続け、やがて、各国で大人気のイラストレーターとなり、日本でも、夏目漱石の「吾輩は猫である」に登場する絵はがきの作者とも言われ、影響を与えました。

彼の作品は、多くの人々に猫の魅力伝え、猫を人々から愛される存在へと変えていきました。近年、再評価の機運も高まり、2021年には彼の人生を描いた映画も上映されました。

この作品は、彼の作品がブームとなった1900年前後に、実際に人々に使用された、彼の作品をモチーフとした絵はがきを展示するものです。



トップページ



日本をモチーフにした作品

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# マナティ



2

作品番号 No. 2 (トピカル)

出品者：立川 賢一

マナティは温かな風貌の大型水生ほ乳類で、アマゾンマナティ、アメリカマナティとアフリカマナティの3種のみ知られています。

生息分布域は、順に南米アマゾン川上流域、北米東部のカリブ海を中心とした地域とアフリカ西部中央地域に限定されています。捕獲、事故、生活環境の破壊等の原因により、生存数が激減し、絶滅の危機に瀕しています。

展示では、マナティの種類、姿と形、育児や生活場所等を紹介し、保護活動へと展開します。

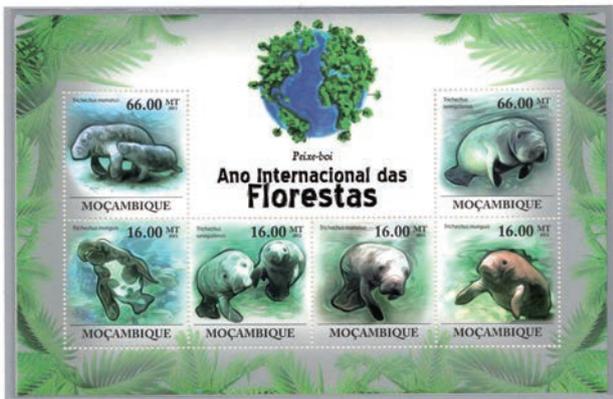
## マナティ

マナティは大きな河川やその沿岸域に生息していますが、世界で3種類だけ生存しています。温かな風貌で人気のある癒し系大型水生ほ乳類です。現状では、捕獲、事故、あるいは生活環境の破壊などの原因により、生存数が激減し、絶滅の危機に瀕しています。

展示では、マナティの種類、姿と形、子育てや生活場所を紹介し、保護活動へと展開しました。

### < プラン >

|              | リーフ番号 |
|--------------|-------|
| 第1章 アマゾンマナティ | 2     |
| 第2章 アメリカマナティ | 3~ 6  |
| 第3章 アフリカマナティ | 7~14  |
| 第4章 マナティの保護  | 15~16 |



マナティの起源は、半分女性で半分魚 (ma natees) だそうです。人魚のセーレンは、美しい声で船人を誘い海中に連れて行くそうですが、マナティは優しい癒し系大型水生ほ乳類です。上のシートの図柄は反時計回りで、アメリカマナティ (*Trichechus manatus*)、アマゾンマナティ (*Trichechus inunguis*)、アフリカマナティ (*Trichechus senegalensis*)、アメリカマナティ、アマゾンマナティ、そしてアフリカマナティです。

1

トップページ

### 第3章 アフリカマナティ アフリカマナティの食事



アフリカマナティ 0.50F

アフリカマナティ 10F

左図：ブルーフ  
ニジェール  
アフリカマナティ  
切手の発行：1962年1月22日

右図：記念押印  
1962年1月29日  
NIAMEY  
(ニジェール)

貼付切手  
額面0.50と10F  
の2種

図柄  
絶滅危機種の  
保護  
アフリカマナティ

14

P14 アフリカマナティの食事

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



神となり、紙幣になり、印紙になり、切手にもなった二宮金次郎



作品番号 No. 3 (テーマティック)

出品者：森田珠利・森田玲美・森田美佐子

二宮尊徳は、江戸時代末期に農村復興に尽力した人物で、渋沢栄一をはじめ松下幸之助、土光敏夫という日本を代表する経営者たちに多大な影響を与えた。

二宮金次郎の逸話は今の時代にそぐわないということで二宮金次郎像もほとんど見かけなくなった。薪を背負って歩きながら本を読んで勉強する姿が“歩きスマホ”と一緒にされてしまう始末。

その昔、日本のいたるところで二宮金次郎と接する機会があり、日本人の心の中に二宮金次郎がいたのに！と、もどかしく思う今の時代である。ここであらためて二宮金次郎に接してみたい。

神となり、紙幣になり、印紙になり、切手にもなった二宮金次郎



(行徳所務社 町市今福水街) 社 神 宮 二 徳 尊

小田原城址公園に鎮座する報徳二宮神社に建立された二宮金次郎像



報徳二宮神社の御朱印

二宮尊徳は、江戸時代の天明7年7月23日(1787年9月4日)に相模国足柄上郡相山村(現在の神奈川県小田原市相山)で生まれ、安政3年10月20日(1856年11月17日)に下野国今市村(現在の栃木県日光市今市)で逝去した。

幼名は“金次郎”。二宮金次郎が、日本人に親しまれたのは、“勤勉”の象徴として、各地の小学校などに、薪を背負いながら本を読んで歩く二宮金次郎の像が建立されていたからである。

二宮尊徳は、経世家、農政家、思想家として評価され、天候不順による飢饉から農作物の巧みな受け換えなどの指導で人々の飢饉を救済するなど農学者としての要素もあった。また二宮尊徳は勝海舟と面談しており、勝海舟は二宮尊徳の人間性を高く評価している。

二宮尊徳は、生前に報徳社を設立して農村の救済・教化運動を行っており、二宮尊徳が亡くなった後も報徳社は存続した。明治時代に入り報徳社員の間で二宮尊徳の教えを慕う報徳社の総意により、二宮尊徳を御祭神として、生誕地である小田原市や日光市に報徳二宮神社が創建された。

二宮金次郎は、神となった。

二宮尊徳図案の巻万円“取引高税印紙”を貼った領收證と五千円と千円の印紙

使用済切手と同じように、領収印を押された印紙は水刺がしされたものが多い。これは領収書と取引高税印紙が貼られたままの姿で残されたものである。実物の「見返り美人」の5円切手と並べること、二宮尊徳図案の巻万円の“取引高税印紙”が同じサイズであることを確認して載せたい。



スキャン画像 (原寸大)



上のサイズの印紙には巻万円の他に、同図案で、五万円、十万円のものがある。また巻万円以下では、五千円や千円のものがある。

その他、さらに小型で同一サイズの五百円、二百円、百円の印紙がある。



五千円 (目打ちなし)



千円 (目打ちあり)



千円 (目打ちなし)

トップページ

二宮尊徳図案の巻万円“取引高税印紙”を貼った領收證と五千円と千円の印紙

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 切手になった日本人 21世紀版



作品番号 No. 4 (テーマティック)

出品者：山崎 太郎

今も昔も、切手の題材となることは著名人の証であり、最高の榮譽でありましょう。しかし近年の日本では著名人の切手が発行されることはほとんどありません。では海外で発行された切手に登場するという榮譽に与する日本人とはどのような方々なのでしょうか？

本作品では 21 世紀に海外で発行された、日本人が登場する切手をご紹介します。これを見ればあなたも切手の題材になれる？

切手になった日本人 21 世紀版

佐藤栄作・東條英機

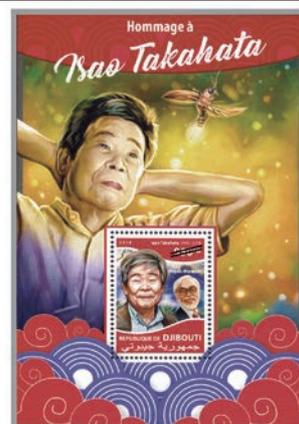


5

P5 佐藤栄作・東條英機

切手になった日本人 21 世紀版

高畑勲



13

P15 高畑勲

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023



# 物語の中のカエル



作品番号 No. 5 (テーマティック)  
出品者：長島 裕信

カエルは、世界各国で身近な生物として色々な物語に登場します。ここでは、カエルが登場する物語を1リーフで表現し、その物語が作られた国に生息するカエルの切手を当該国または、周辺国発行のマテリアルで揃えた作品です。

今回選んだ8作品のカエルの物語から「外見にこだわらない気持ち」、「他の人と比べることの愚かさ」、「約束を守ることの大切さ」、「努力し続けること」など人がどう生きるのかを伝えられたらと思います。



P7 グリム童話 — かえるの王様



P8 ドイツのカエル

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 15人の郵趣家たち



作品番号 No. 6 (テーマティック)

出品者: 近辻 喜一

本出品は、著名郵趣家 15 人をエンタィアで集めたテーマティック作品です。わが国の郵趣は大正時代にはじまり、19 世紀生れの郵趣家たちが基礎を固め、20 世紀生れの郵趣家たちによる研究が郵趣界を牽引しました。タイトルページで彼らの華麗な業績をご覧ください。

## 15人の郵趣家たち

### はじめに

本出品は、著名郵趣家をエンタィアで集めたテーマティック作品です。大正時代にはじまった、わが国の郵趣は 19 世紀生れの郵趣家（第一世代）が基礎を固め、20 世紀生れの郵趣家（第二世代）による研究が郵趣界を牽引しました。おかげで、われわれ現代の郵趣家（第三世代）は百花繚乱の時代を享受しています。彼らの華麗な業績については、代表的な著作物とともに下表にまとめてあります。

### リーフの展示順

| #  | 氏名          | 生年   | 没年   | 業績                                      |
|----|-------------|------|------|---|
| 1  | 木村梅次郎       | 1869 | 1927 | 郵楽会創立、「郵楽」創刊、「大日本郵便切手図鑑」                |
| 2  | 藤原曾淵        | 1857 | 1943 | 漢語集物所創設、切手原画作成、「日本郵便切手史論」               |
| 3  | 吉田一節        | 1889 | 1949 | 日本郵政伝承館創立、「切手趣味」創刊、「切手集張叢書」             |
| 4  | 小島勇之助       | 1890 | 1964 | 手彫切手の大収集家                               |
| 5  | 三井高徳        | 1900 | 1983 | 手彫切手収集、交通史、通信史の研究、切手研究会会長               |
| 6  | 高橋一雄        | 1886 | ?    | 手彫切手収集                                  |
| 7  | 小倉 謙        | 1895 | 1981 | 集物切手の大家、切手文化会会長                         |
| 8  | 三島昌徳        | 1921 | 1997 | 「郵便切手の製造」、「昭和切手の研究」                     |
| 9  | 軍井國太郎       | 1906 | 1984 | 日本郵便史の大家、「思い出の百附印集」                     |
| 10 | R.M.スバルアインク | 1923 | 2013 | I.S.I.P.会長、Japanese Philately編輯長、日本切手全図 |
| 11 | 吉田左一        | 1910 | 1996 | 全日本集郵連盟理事長、I.L.P.会長、「電切手」「電切手」          |
| 12 | 山田賢太郎       | ?    | ?    | 「郵便」                                    |
| 13 | 中川長一        | 1908 | ?    | 「消印とエンタィア」、二重丸印の分類、「初刷消印集成」             |
| 14 | 小松敏雄        | 1909 | ?    | 「日本の郵便印」                                |
| 15 | 河村照道        | 1905 | 2002 | 戦前ハワイに移住、鳥15銭「落ち十」を発見                   |



### 参考文献

富岡昭編『日本郵趣百年史 戦前・戦中編、戦後編』全日本郵趣連盟、昭和 44 年、45 年

## 木村梅次郎

(1869-1927)

1912 年郵楽会を創立、1914 年機関誌「郵楽」を創刊。

ドイツあて



赤坂 T13.10.13



東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023



中華人民共和国「各地の民家」シリーズ (普 26)

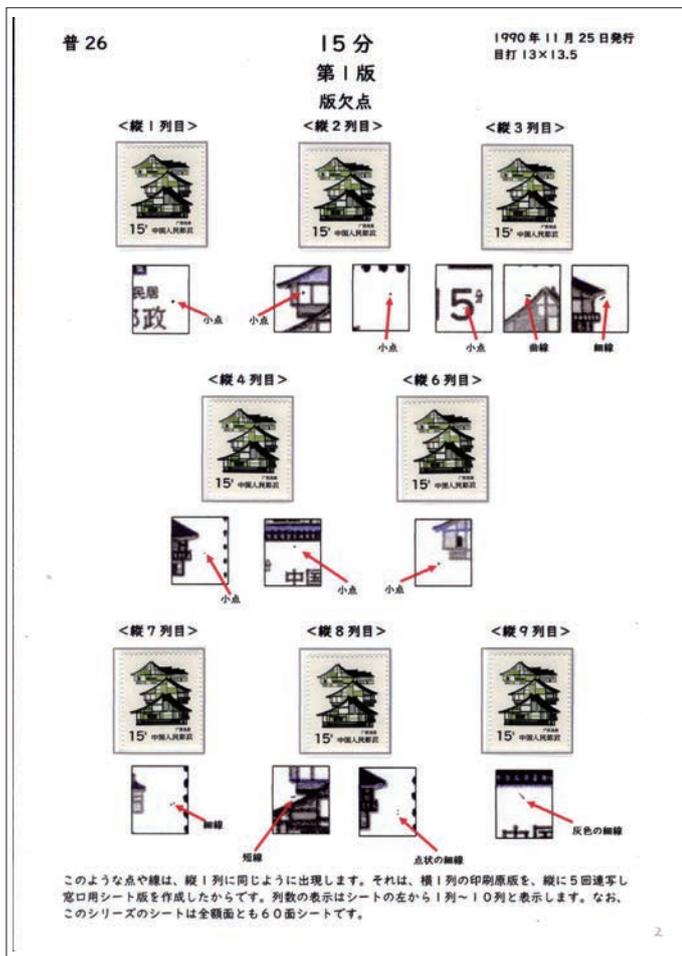


作品番号 No. 7 (現代郵趣)

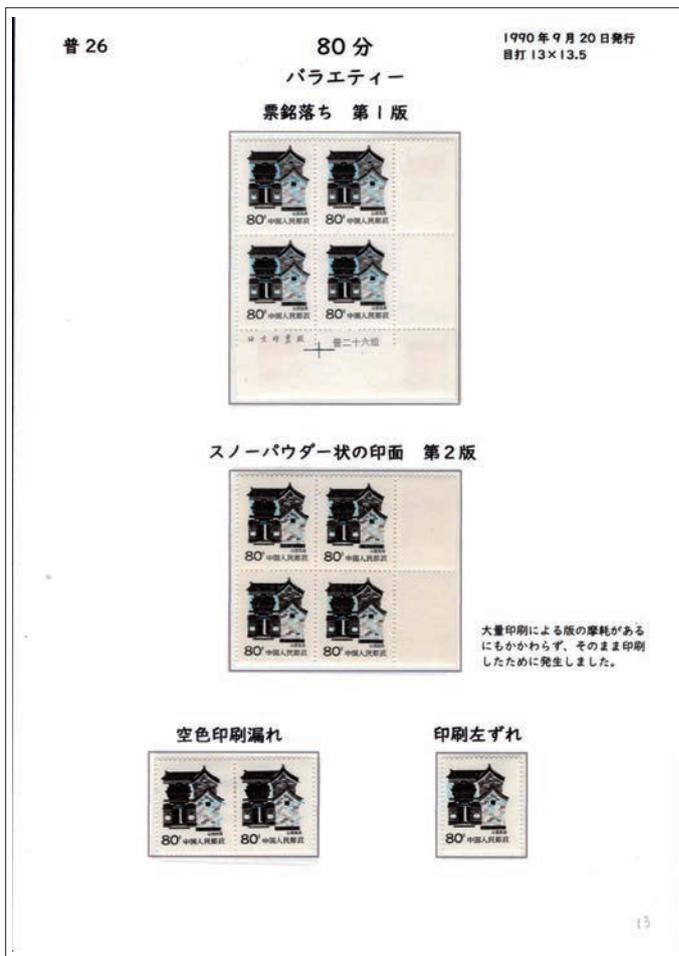
出品者：藤本 博嗣

これまで、「中国「各地の民家」シリーズ (普 23)」を、JAPEX2022、スタンペックス 2023 に出品し、金銀賞、大銀賞を各々受賞しました。今回の普 26 はこれに続くもので 3 種の額面からなります。

この作品では額面順に、未使用での製造面の展示、カバーによる使用面の展示と伝統郵趣の手法をもとに展示しています。と同時に、現代郵趣は競争切手展では賞が上がらないとしても、楽しめること満載ということを感じ取っていただければ幸いです。



P2 15分 第1版 版欠点



P13 80分 バラエティー

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



讃岐国のボタ印



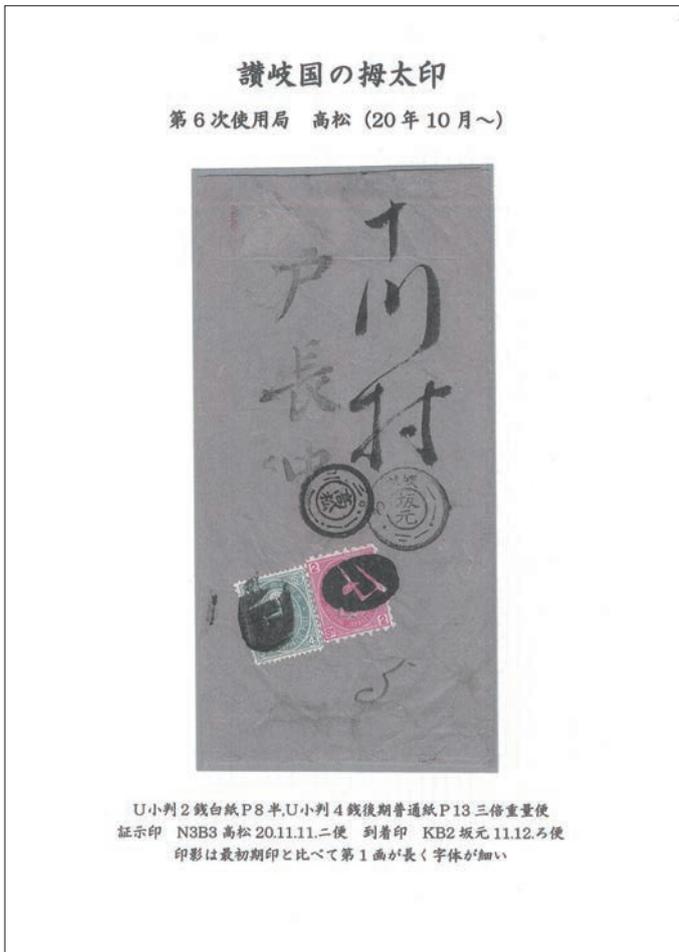
作品番号 No. 8 (マルコフィリー)

出品者：多田 由一

長年収集している郷土の郵便印の一つである讃岐国から認知度の高いボタ印のみを1フレームに抜粋してみました。

讃岐(香川県)は、小国に関わらず多度津、丸亀、高松と3局も拇太印を使用しており各5リーフを割当て展示しました。

特殊料金の使用例もなく小判はがき中心の地味な作品ですが高松ボタの初期使用や重量便、小判はがき印刷局銘なども含み時系列に並べてみました。御笑覧下されば幸いです。



第6次使用局 高松



第4次使用局 丸亀

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 豊後・府内 / 大分の初期郵便印



作品番号 No. 9 (マルコフィリー)

出品者：桑原 康雄

豊後の県庁所在地である府内 / 大分に郵便役所が置かれたのは明治 5 年 7 月ですが、残されている郵便物は明治 6 年 4 月 1 日の全国均一料金制開始以降のものです。

この作品では不統一印からボタ印まで全体の流れが分かるように、それぞれの郵便印の使用開始と終了時期に近い材料を出来るだけ選んで展示しました。

記番印の証示印である KG 印に府内と大分の二つ局名表示があることや明治 16 年末に現れた dN3B1 印が府内 / 大分局の特徴です。封書や葉書以外にもこの時期の郵便印が押された切手についても展示しました。

## 豊後・府内/大分局の初期郵便印 (1)

明治5年7月に豊後の県庁所在地である府内/大分に郵便役所が置かれた。実際に郵便の取り扱いが始まったのは明治6年以降と思われ、明治6年4月1日の全国均一料金制開始前の郵便物は確認できていない。最初に使われた郵便印は白抜府内の抹消印と府内郵便役所の丸型証示印である。明治7年12月よりイム九号の記番印を使用した。証示印の二重丸印の配給が遅れたため、当初は証示印が押されていない。証示印は最初に府内のKG印が用いられたが、府内は明治8年6月から7月頃大分に局名変更された。明治12年末の記番印廃止後はKG印が抹消に用いられたが、明治15年の初めにKB1印に替わった。明治16年末にdN3B1印が登場したが、18年1月からは大分ボタ印の証示印として引き続き使用された。大分ボタは明治18年1月から使われたが、10個前後の印額が使用され、ボタ印の印影からおおよその使用時期が推定できる。証示印は3種あり、dN3B1、N3B2、N3B3の順に使われた。作品は不統一印からボタ印まで全体の流れが判るように展示した。各消印のできるだけ初期の使用例を用いて構成したが、府内/大分局で使用された切手についてもシリーズ毎に順に提示した。

■：府内 □：大分 ( )：最古～最新データ

| 明治    | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 年 |
|-------|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| 白抜府内  |   | ■ | ■ | ■ | ■ | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | 年 |
| 府内検査  |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 年 |
| 記番印   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 年 |
| KG印   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 年 |
| KB1   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 年 |
| dN3B1 |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 年 |
| ボタ印   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 年 |

府内 (白抜)



紙・和紙・青 1銭 紙・和紙・赤 2銭 紙・和紙・黄 2銭 紙・洋紙・カナ (二) 黄 2銭

府内検査



紙・和紙・紅 4銭 紙・和紙・黄 2銭 紙・洋紙・カナ (イ) 青 1銭

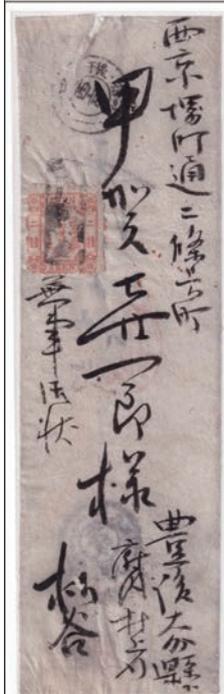
(府内郵便役所)



紙・洋紙・カナ (イ) 青 1銭

## 不統一印 (府内：白抜) (2)

和紙2銭 (赤)  
明治6年11月7日差立



府内郵便取扱所では白抜の不統一印が最初に用いられた。証示印には豊後・府内郵便役所の朱印が押された。

和紙2銭 (黄)  
明治7年3月15日差立



証示印：豊後・府内郵便役所

中継印：大阪・N1B1 明治6年11月14日朝

到着印：西京・N1B1 明治6年11月14日午後

証示印：豊後・府内郵便役所

到着印：東京・N1B1 明治7年3月25日



(裏面コピー)



(裏面コピー)

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



記念印：戦前の朝鮮半島に於ける日本郵政による使用



作品番号 No. 10 (マルコフィリー)

出品者：中野 健司

戦前の朝鮮半島に於ける日本郵政の特殊通信日付印及び風景入通信日付印をご紹介します。特殊通信日付印は 1902 年～ 1943 年に全国的行事や現地行事、または記念切手発行のため 113 件が、風景入通信日付印は 1931 年～ 1940 年に 110 種類が使われました。

郵便料金徴収のために切手を抹消する通常の消印使用と違い、このような記念印は多くの場合切手を貼った台紙や葉書の上に保存用に記念押印されましたが、本作品ではより珍しい実通使用例を 24 件示します。



特殊通信日付印 現地行事

風景入通信日付印 会寧、鎮海

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# ドイツ横浜海軍病院郵便局



作品番号 No. 11 (マルコフィリー)

出品者：藤井 堂太

1866 (慶応2)年当時、プロイセン (ドイツ帝国) の船員が健康を害した際には、英国、フランス、オランダなど設立した病院で治療を受けていたが、1869 (明治2)年、横浜にドイツ海軍病院を建設する意向を固め、1873 (明治6)年、ドイツ帝国公使から外務省に要望が出されて、1878 (明治11)年6月1日、開院した中に設置された「ドイツ横浜海軍病院郵便局」を、開局から閉局までの期間を通して展示したものです。

## ドイツ横浜海軍病院郵便局 (1878.06.01~1911.12.31)



- ※ 1866 (慶応2)年頃、プロイセンの軍艦や商船の東アジアへの進出がようやく活発化し始め、それに伴い乗組員のための医療施設が必要となったが、当時、プロイセンの船員が健康を害した際には、英国、フランス、オランダなど設立した病院で治療を受けていた。
- 1869 (明治2)年、プロイセン政府は横浜にドイツ海軍病院を建設する意向を固めた。[1871 (明治4)年に誕生したドイツ帝国もその方針を引き継いだ。]
- 1873 (明治6)年、ドイツ帝国海軍大臣から正式に、ドイツの軍艦および商船の乗組員のために横浜に海軍病院を設立する準備の指示が出され、ドイツ帝国公使から外務省に要望が出されて1876 (明治9)年12月30日には起工式が行われた。
- 1878 (明治11)年6月1日、開院。1等患者4名、2等患者3名、3等患者48名が収容可能で、職員数は11名。
- 1894 (明治27)年の日清戦争、1904 (明治37)年の日露戦争の際には日本人負傷兵の受け入れを表明。
- 病院が最も多くの患者を受け入れたのは、1899 (明治32)年から1901 (明治34)年にかけてで、1900 (明治33)年の[義和団の乱]での負傷兵を収容した。
- 1902 (明治35)年、ドイツ帝国の租借地であった青島に海軍衛成病院が設立されると、横浜の患者数は次第に減少し、1911 (明治44)年12月31日を以て閉鎖された。
- ドイツ帝国横浜海軍病院は開院から閉鎖までの33年間に累計3,357名の患者を受け入れ、うちドイツ軍関係者1,669名、一般のドイツ人750名、英国人257名、日本人193名、米国人104名、その他384名と記録されている。
- ※ ドイツ帝国では、1865 (明治29)年10月末頃から、ドイツ海軍艦船の乗組員が差し出す郵便物に、専用の丸い消印が使用されるようになり、消印の上半分に「KAIS. DEUTSCHE MARINE-SCHIFFSPOST」が入られ、その下に船を識別するための番号と日付が入られたが、横浜のドイツ海軍病院ではこの番号に相当する部分に、「YOKOHAMA」という地名が入られ、ドイツ海軍艦船郵便印に地名が入ったものは、この横浜の例しかない。
- 横浜では1897年(明治30)年7月~8月頃から使用された。
- ※ 料金は、開設期間を通してドイツ国内料金が適用され、封書10ペニヒ、葉書5ペニヒであった。
- ※ この作品では、開設後1899 (明治32)年までの黎明期、義和団の乱での無料軍事郵便使用時期、1902 (明治30)年より閉局までの衰退期に分けて展示しています。

1

### 黎明期・1898年使用

ドイツ海軍戦艦郵便葉書



1898.10.6 差出

ドイツ海軍戦艦郵便葉書



1898.11.8 差出

2

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 直彫ローラー印・カタカナローラー印



作品番号 No. 12 (マルコフィリー)

出品者：鈴木 盛雄

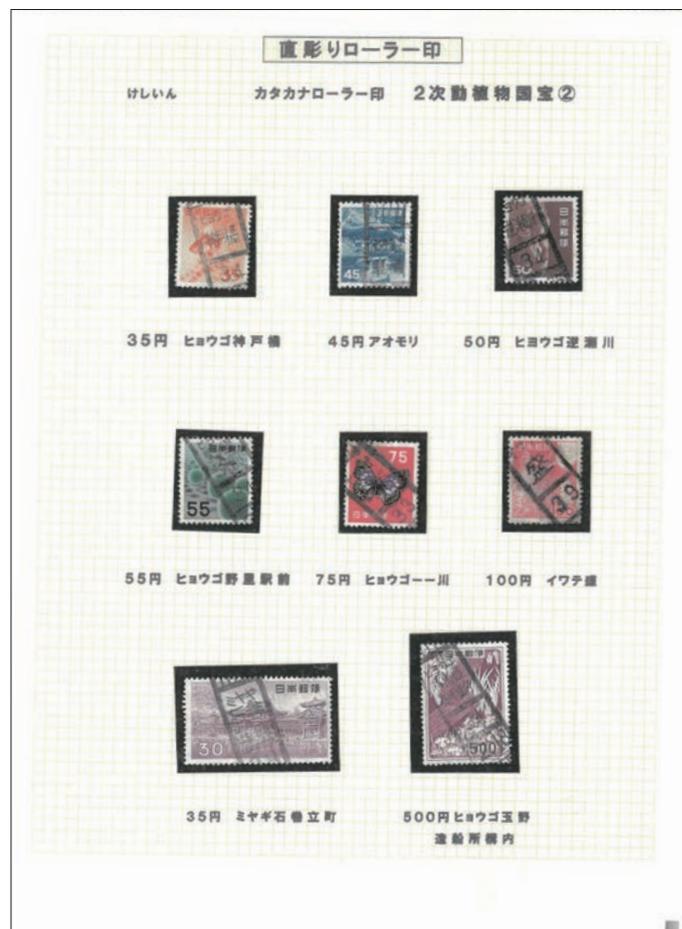
戦前には、全国に県名にカタカタ表示の局が多くみられました。

戦後になり、昭和 20・30 年代には近畿・関西地区又東北地区にて使用が散見。今回は 2 次動植物国宝からローマ字入りまでで、1 フレームを作ってみました。

まだ穴だらけですが、なるべく局名の読めるものを並べました。エンタエアがなかなか見つからないですね。



直彫りローラー印 カタカナローラー印



直彫りローラー印 カタカナローラー印 2次動植物国宝②

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 西国筋飛脚



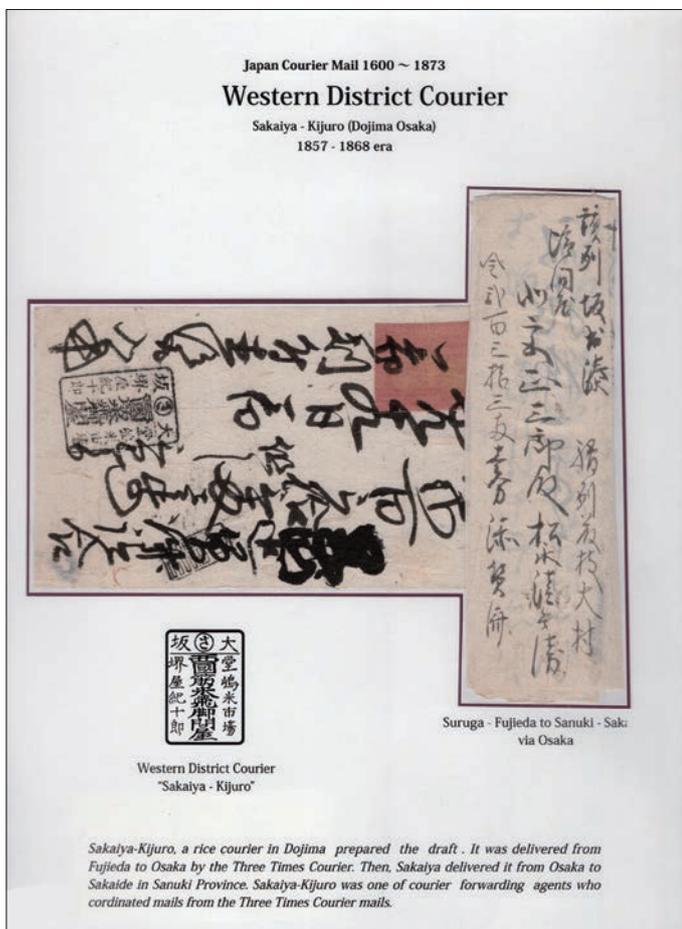
作品番号 No. 13 (郵便史)

出品者：山崎 好是

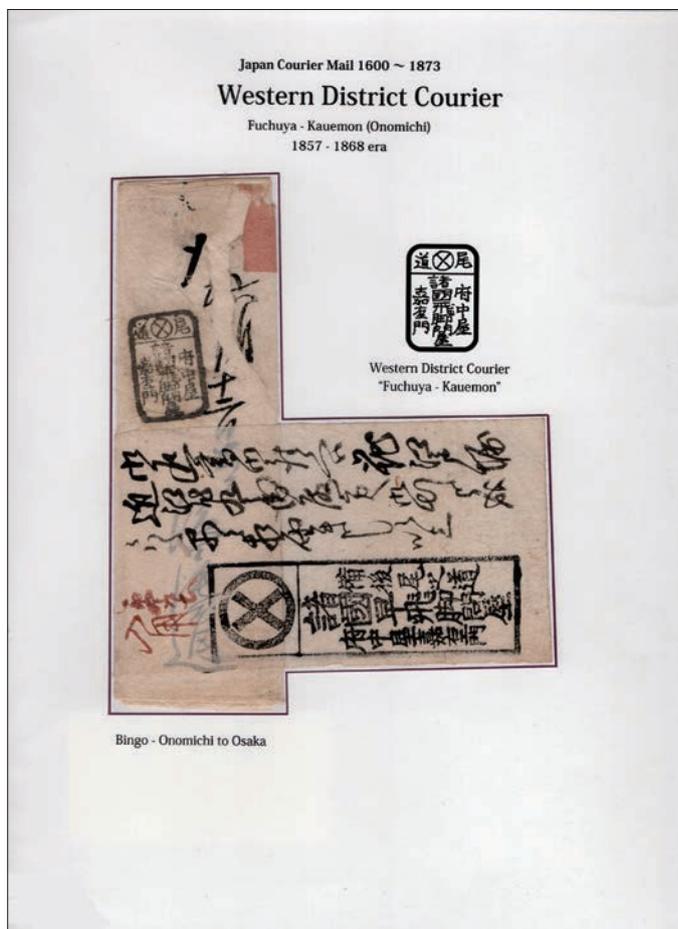
西国筋飛脚とは、大阪以西に発着する飛脚のことで、明治4年3月1日に郵便が開業した後、8月に郵便と西国筋飛脚に乗り継いで長崎までの送達が可能になります。

江戸—京都—大阪を結ぶ飛脚を三度飛脚と言い、江戸以東は嶋屋や京屋といった江戸の飛脚が取り扱っていました。それに対し、大阪以西の飛脚は、各地の飛脚が相仕（提携先）となって運びました。

西国筋飛脚の特徴は、受取人にアピールするように飛脚屋の印判や目立つ付箋を付けていることです。付箋には、夕方引き受けた書状を翌朝届ける「朝入」や、返事を認めるのを待って差出人に戻す「返事取り」などがあります。箱根よりも東の飛脚は、「届けばよい」という考えを持っていたようで、ほとんど印判を押すことがなく、付箋も必要な時にしか付けませんでした。



堺屋 紀十郎 (堂島 大阪)



府中屋 嘉右工門 (尾道)

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# Advertized Postmarks in Japan



14

作品番号 No. 14 (郵便史)

出品者：岩崎 朋之

還付不能になった郵便は、一ヶ月分をまとめ郵便局で10日間告知し、引受人が現れない場合に、英字新聞などに広告を行いました。これを実施したことを表す郵便印が「ADVERTISED」印であり、1870年代から1940年代頃までこの事故印が使われました。

本作品はこの郵便印をまとめた作品であり、全日本切手展2018(金賞)、PRAGA2019(90pt=金賞相当)、LONDON2020(90pt=金賞相当)受賞作品です。

## ADVERTISED POSTMARKS IN JAPAN

Some undeliverable mail that could not be returned, mainly including mail that had arrived from overseas, was collected each month and announced for a ten-day period, and if the recipient could still not be located, advertisements would also be placed in additional channels, such as English-language newspapers. The "ADVERTISED POSTMARK" is a postmark that indicates that a piece of mail went through this process.

This is an exhibition of Advertized Postmarks by type, from the first double-circle postmark to the last postmark used in the 1910s. It should be noted that mail advertised in this way was only a very small percentage of undeliverable mail, that which was judged to be of extremely high value or likely to be delivered successfully. In addition, since such mail that could not be returned was destroyed by burning, there are relatively very few samples remaining today.

- 11 new examples include 2 new find types & 5 new dates are added to this exhibit after PRAGA 2018.
- "ADVERTISED POSTMARK" is a postmark indicating that dead letter was publicly announced in a newspaper.
- In Japan, this system was principally in place from the 1870s until approximately the 1910s.
- There are five or fewer existing examples of the majority of types, and considered to be rare.
- This work is the first exhibit of this postmarks, and the exhibitor made the first-ever comprehensive and systematic study of it.
- As the existing types and the offices that used them are limited in number, and because they were not commonly used, the theme is best suited to a single-frame format.

### THE BASIC TYPES OF ADVERTISED POSTMARKS IN JAPAN

Early Double Circle Postmark  
1877-1891  
P2-P4

ADVERTISED  
Single-line Postmark  
1888-1909  
P5-P9

ADVERTISED 190  
TOKYO, JAPAN  
Oval Type Postmark  
1903-1916  
P10-P16

### PLAN OF THE EXHIBIT

- Early Double Circle Advertized Postmark
- Single-line Advertized Postmark
- Oval Advertized Postmark

### EXISTING NUMBER OF EACH EXAMPLES SHOWN IN THIS EXHIBIT

|   |    |  |   |
|---|----|--|---|
| E2: FIRST DOUBLE CIRCLE TYPE:YOKOHAMA   | 5  | P9: SINGLE LINE TYPE(WITH NAME):NAGASAKI | 1 |
| E3: FIRST DOUBLE CIRCLE TYPE:KOB(RED)   | 2  | P10: OVAL TYPE (DOUBLE CIRCLE):YOKOHAMA  | 6 |
| E4: FIRST DOUBLE CIRCLE TYPE:KOB(BLACK) | 1  | P11: OVAL TYPE (TYPE-1):YOKOHAMA         | 7 |
| E5: SINGLE LINE TYPE:YOKOHAMA           | 10 | P12: OVAL TYPE (LARGE TYPE):YOKOHAMA     | 3 |
| E6: SINGLE LINE TYPE WITH YEAR:YOKOHAMA | 3  | P13: OVAL TYPE (DOUBLE CIRCLE):TOKYO     | 5 |
| E7: SINGLE LINE TYPE:TOKYO              | 1  | P14: OVAL TYPE:TOKYO                     | 5 |
| E8: SINGLE LINE TYPE WITH YEAR:TOKYO    | 4  | P15: OVAL TYPE (POSTAL SYMBOL):TOKYO     | 3 |
| P9: SINGLE LINE TYPE:NAGASAKI           | 1  | P16: OVAL TYPE:KOB                       | 3 |

### RESEARCH AND STUDY

- Detailed classification by type of advertised postmarks and determination of what period they were used.
- Update of 20 data examples, including the discovery of the earliest use of the Kobe double-circle type.
- Fined 4 new types Advertized postmarks include TOKYO single-line and 2 types of NAGASAKI.

Bibliography & Sources : Advertized Postmarks (Tomoyuki Iwasaki : Philatelic Journal 2017), Yushu-Honogoshi (Otamori: Sawa 2013).

### I. Early Double Circle Advertized Postmark

#### I-1 YOKOHAMA Post Office

Early Double Circle Type

Only five recorded examples of Double Circle Advertized Postmark in Yokohama and this is the first advertised postmark in Japan.

NORWICH ENGLAND 1885.10.21 - YOKOHAMA 1885.12.9  
- YOKOHAMA(ADVERTISED)1886.1.1

[Double Circle Advertized postmark in Yokohama] Data:1877.4.2-1886.10.1

The first Advertized Postmarks used were similar in shape to Yokohama's PAID ALL postmarks. They are very similar in form to the postmarks for registered mail in use at that time. The usage has been found dating from 1877 to 1885, and usage of the next type, the single-line postmark, appears starting from the mid-1880s. Although the postmarks were in use for a relatively long period of time, examples of them are extremely rare, with only five examples found. This postmark was found in 1976.

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 価格表記から現金書留



作品番号 No. 15 (郵便史)

出品者：石川 勝己

価格表記の普段の整理用のリーフから、ワンフレーム分をピックアップした作品です。競争展等の切手展用に作ったものではないので、切手展仕様にはなっていませんがご容赦願います。

価格表記は料金の変遷はある意味単純ですが、わかりやすく整理しやすいので、料金を軸に価格表記の変遷が示せるマテリアルをピックアップしました。各リーフに、収集のポイントとなる点を記載するようにしています。

価格表記封筒発行 明治34年12月21日  
官製封筒初日使用例

|         |   |
|---------|---|
| 価格表記額   | 33円   |
| 第一種書状料金 | 3銭  |
| 価格表記加算料 | 15 + 5 × 3 = 30銭<br>(1.0円まで15銭、以上1.0円毎5銭加算) |
| 合計      | 33銭   |

明治34年12月21日、価格表記料金の改定とともに官製価格表記封筒の使用が義務付けられた。昭和26年6月現金書留となったが、専用封筒を使用することは変わっていない。

左のカバーは、価格表記料金改定初日の使用例であるとともに、官製価格表記封筒使用の初日使用例であり、この初日使用例は確認2点のみである。

明治34年12月21日  
本郷・東京差出高野山あて

価格表記封筒 官製封筒初日使用例

価格表記取扱開始 明治33年10月1日  
価格表記初期使用

|             |   |
|-------------|---|
| 価格表記額       | 30円                                       |
| 第一種書状2倍重量料金 | 6銭  |
| 価格表記加算料     | 7 + 5 × 2 = 17銭<br>(1.0円まで7銭、以上1.0円毎5銭加算) |
| 合計          | 23銭                                       |

明治33年10月1日郵便法が施行され、価格表記郵便の取扱いが開始された。価格表記郵便は、小包郵便法における面記を有価の通常郵便物にも発展的に適用できるようにしたものである。価格表記小包郵便を取扱うことにより、貴重品のに通信省が自信を持ったため開始されたと考えられる。価格表記は書留にできなかったため、当初は書状料金に価格表記金額に応じた価格表記料を加算する料金体系であり、保保による損害補填の形である。取扱い方法は書留と同じであり、明治43年から書状料金に書留料金相当額と価格表記料加算する体系となったが、書留にはできなく、書留の取扱いとなったのは昭和26年6月からである。上のカバーは、価格表記の初期使用であり、明治33年中の使用例は4点程度しか確認していない。価格表記と修正されない書留ラベルが貼られている。

明治33年11月8日  
軍加(武蔵)差出白子(伊勢)あて

価格表記初期使用

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



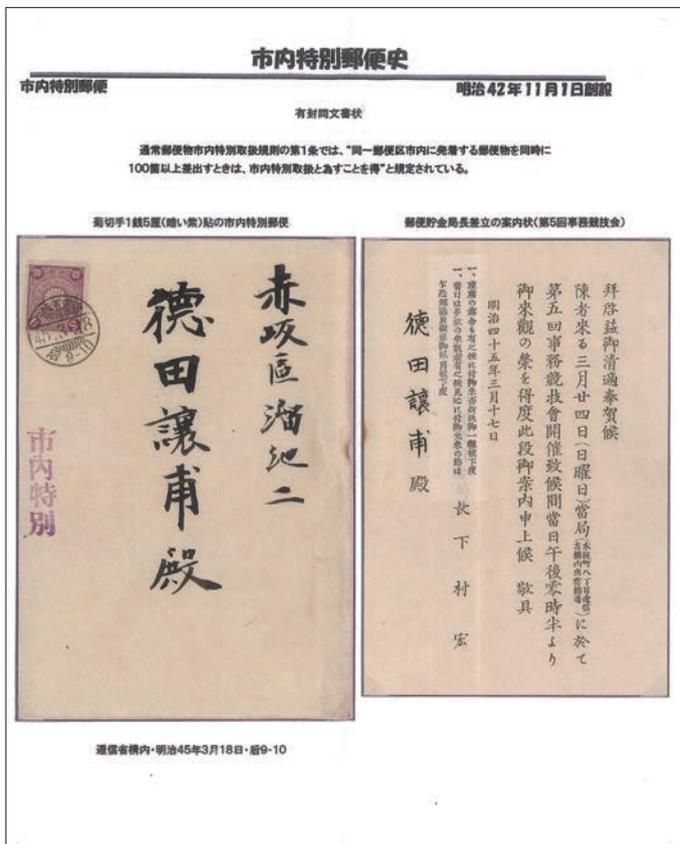
# 市内特別郵便史



作品番号 No. 16 (郵便史)

出品者：町屋 安男

近代郵便の特徴は低廉性にあり、郵便物を多数差出す場合の特例として市内特別等の郵便制度がある。市内特別郵便は、明治42年11月1日に復活した。この展示では、郵便料金で時期区分して、時系列に沿って展開してみた。



有封同文書状



第4種の市内特別郵便

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



戦前の国際郵便 (抜粋)

作品番号 No. 17 (郵便史)

出品者: 安藤 源成



17

国際 (外信) 郵便のコレクションの中から抜粋して15リーフ展示します。

国際 (外信) 郵便 抜粋

国際 (外信) 郵便のコレクションの中から抜粋して15リーフ展示します。  
切手蒐集を初めて70年余り、最初はカタログに掲載されている切手・葉書を全て集めようと心掛けたが途中から「切手・葉書は使用されて役目を果たすものである」と気付き、この切手・葉書が「何時、何処で、どの様に使われたかを調べることに興味を持ち「消印究」と成りある程度の成果を上げたが、平成5年に自宅を全焼し際に大多数を焼失したので切手収集を止めようと思った。2人の故人と成られた先輩蒐集家の奥様方から、主人の収集品を全て引き継いで、「止めないで」と激励を受けて引き受けて現在に至る。  
最初は「明治の郷土消印・軍事郵便・菊切手の消印」を3本の柱として蒐集していたが、「菊切手の消印」を深めていたら、何時の間にか「外信郵便」に嵌ってしまいジャンルが増え、その上に、若い時のゼネラルコレクション癖が残り、後期高齢者となった今はコレクションの整理が思うよう出来ない。  
今回の展示も多くのジャンルから抜粋して展示したもので、リーフ記載がまちまちであるがご勘弁下さい。

フレーム No

- 2-4 日本に郵便制度が制定される前に、英、仏、米は横浜に郵便局を設けた。  
第二フレームは1868(慶応4)年、横浜 英国局から米国 N.Y.宛。香港切手に「B62」香港消印宛。  
第三フレームは1868(慶応4)年、横浜からスイス・バーゼル宛。冬切手に「5118」抹消。  
第四フレームは1872(明治5)年、米國横浜局から米・英籍由仏宛、在日米國局は少ない。
- 5-7 メインコレクション「外信はがき 1877-1937」から  
第五フレームは外信小判はがき 三・五・六の「6銭」使用済。  
第六フレームは、このコレクションの礎と成った「薄紙連合 2銭往復はがき」の「返信 使用済」。  
第七フレームは最後に入手した富士連合 10銭往復はがきの「返信使用済」。
- 8 国内葉書コレクションの中から AUSTRIA 郵政が誤った「小型手摺はがき」の使用例。  
UPU はオレンジ色の葉書を往復はがきと定めていたため、日本の「小型手摺はがき 半銭」の色が同じであったので、日本に向けて送った。GRAZ-東京間「半銭」通過。不足は招集されて無い。参考に AUSTRIA の往復はがきを展示。
- 9 故宮田一郎が米國切手商に宛てた手紙。小判切手紫 2銭の記番消印は希少であるが、このカバーは唯一の 紫 2銭の記番印消し外信便エンタイヤである。
- 10 長崎一元山-ウラジオストク-ナホトカ 日本海航路の1901年「NAKHODKA PAQUEBOT」ドイツ宛であるが、何故か何処で押印されたか? 不足料金は徴収されていない。
- 11 菊「朝鮮」加刷の国内使用例。○鐵道郵便の外信使用例。当時「朝鮮」加刷切手は内地使用禁止。
- 12 大正毛紙コレクションの中から高額「10圓」のページを展示。  
このカバーには「5圓」と「10圓」が貼付されている。5圓のエンタイヤは知られているが「10圓」の外信カバーはこれ以外知らない。外国の郵便家が作成したと思われる料金は合致しない。スイス赤十字宛 書留。他に、10圓のエンタは天津宛「無格表記封筒」(JAPAN 167-2882)がある。
- 13 「領事館郵便」は通常無料であるがこのカバーは親展の私信か? 切手が50銭貼付されて見たことのない抹消印が使用されている。しかも、米國でのクラシック カバーであるがと思われるが日時、場所が判らない。
- 14 航空郵便のコレクションから「世界一周 航空カバー」。  
ロンドンからアジア経由で横浜に送られ、横浜から日本切手が貼られて、米國経由ロンドン宛。外国人コレクターが作成した郵便便で私信の為切手を貼付したのか? 料金が合致しない上、見慣れない抹消印が押印されている。
- 15 初来日した英国女性パイロット「エミー・ジョンソン」のサイン入り英国宛カバー。
- 16 「May Birthday 航空 Cover」。  
誕生日のエンタイヤを探し続けて70年、状態は少し不満足であるが最終頁に展示した。

トップページ

国内はがきの外国宛使用  
Usage of Japanese Domestic Postcards for International Mail

菊 青 枠 1 銭 5 厘 Chrysanthemum (Blue-Frame) Type 1 1/2-Sen  
1898-990M.31-32 凸版 Relief-Printing 印刷局製造 Printing Bureau Manufacture 白色洋紙 White Western Paper.

UPU Members Nation 4 銭 料金 4-Sen Rate (1897.10.1. -1921.12.31)

JAPAN - AUSTRIA.

菊「朝鮮」加刷切手の国内鐵道郵便局使用

Overe Printed 「Korea」 Chrysanthemum stamp of used in the Domestic Railroad Post office

「朝鮮」加刷切手の日本国内使用は禁止されていたが、鐵道郵便局員の見落としで不足料金は徴収されていない。  
The use in Japan of the over-printed 「CYOSEN(KOREA)」 at Chrysanthemum stamp which was prohibited, but The lack rate is not collected by the member of R.P.O.

○鐵道郵便/東京-神戸間 Railroad P.O at TOKYO-KOBE



菊「朝鮮」 5 厘・1 銭(2) 加貼。

With over-printed 「CYOSEN(KOREA)」 at Chrysanthemum 5-Rin, 1-Sen two.

○鐵道郵便 東京-神戸間 (Railroad.P.O. TOKYO-KOBE) 33(1900).6.17.→ WIEN 24.7.00.

国内はがきの外国宛使用 菊「朝鮮」加刷切手の国内鐵道郵便局使用

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023



# 日本と極東ロシアの郵便



作品番号 No. 18 (郵便史)

出品者：志水 正明

この作品は、日本と極東ロシア間の郵便物（経由便も含む）を1フレームに纏めた作品です。構成は3章からなり、1章はウラジオストクと長崎（経由）の郵便、2章はシベリア鉄道（東清鉄道）経由の郵便、3章は樺太・カムチャッカと日本の郵便となっています。

1- ウラジオストク及び沿海州と日本の郵便

長崎 ⇒ ウラジオストク最初期便

ウラジオストク(Владивосток, Vladivostok、浦塩斯徳)と長崎間に、1881年(明治14)定期航路が開設された。それ以降、2都市間の交流は年々活発になり、やがて長崎は冬季のロシア艦隊の休息地となり、また長崎県を中心に日本人もウラジオストクに多数移住し、日本人街を形成した。

横浜 ⇒ 長崎 ⇒ ウラジオストク 1882年(明治15年)差立て  
【長崎発の教買丸はウラジオストク行き政府命令航路】



(裏面)  
薄手唐草連合はがき3銭に印刷された。  
横浜、オリエンタル・バンクの出入金  
確認書

YOKOHAMA 13 Sep 1882 ⇒ NAGASAKI 19 Sep ⇒ Vladivostok(ウラジオストク) 宛  
白抜十字印+小型20ミ印 小型20ミ印最初期使用  
【教買丸(三菱会社) 長崎 9.19 出航 ⇒ 釜山 9.22 ⇒ 元山 9.25 ⇒ ウラジオストク 9.29 着】

※ ウラジオストク宛のはがき料金は、アメリカ・香港・カナダ宛などと同じく2銭なので1銭過納使用

3- 樺太・カムチャッカと日本の郵便

北樺太(ロシア) 差立て 南樺太(日本) 宛

日露戦争の勝利により日本が獲得した領土は、樺太の南半分である。北緯50度線より北はロシア領、南は日本領となった。

アレクサンドロフスキー(北樺太・ロシア) 差立 ⇒ ウラジオストク ⇒ 教買 ⇒ 真岡(南樺太) 宛



運送ルート

35+5 計40コペイカ貼



Alexandrovsky (アレクサンドロフスキー) 1919(T8).7.16  
↓  
Vladivostok (ウラジオストク) 検閲印 (Type No9)  
↓  
TSURUGA (教買) 7.28  
↓  
真岡 (南樺太)

長崎⇒ウラジオストク最初期便

北樺太(ロシア) 差立て南樺太(日本) 宛

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 日本占領下リオ群島の郵便



作品番号 No. 19 (郵便史)

出品者：守川環

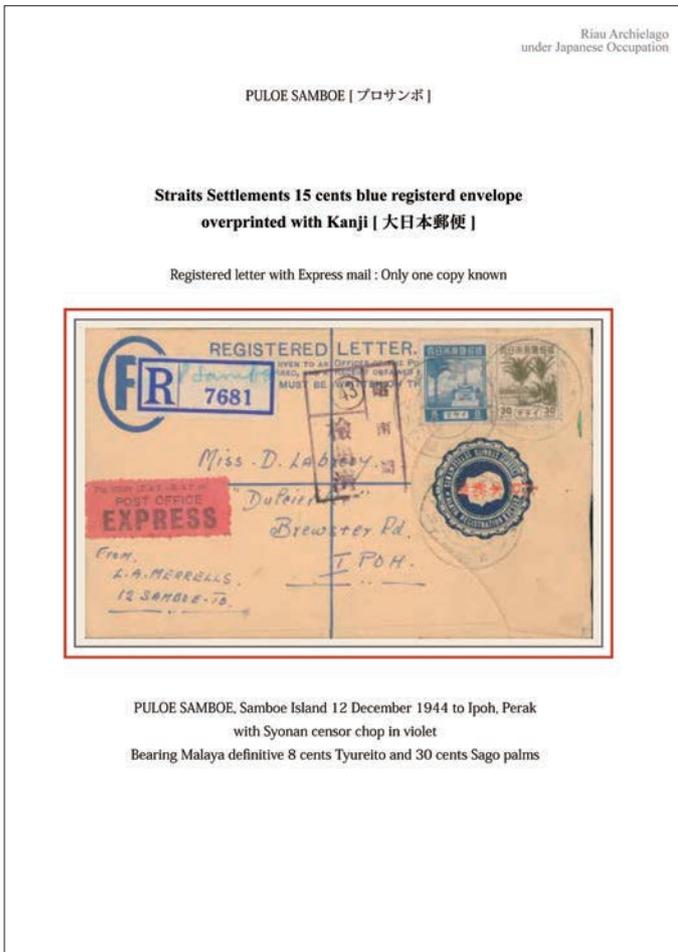
英文タイトル「Riau archipelago under Japanese Occupation」

シンガポールの近辺にある島々の大部分は戦前オランダ領で、北は南支那海のアナバス諸島及びナツナ諸島までおよんでいました。

リオ州ダンジョンピナン分州に属していたリオ群島は日本陸軍の第 25 軍が占領し、軍政を施行した。1942 年 4 月 30 日付で昭南特別市管下となった。

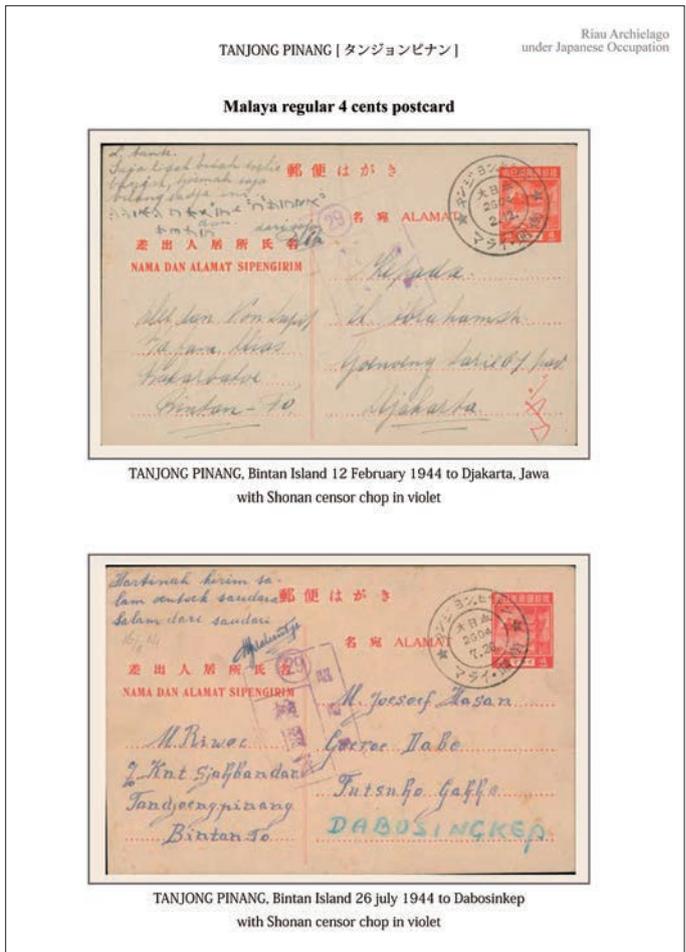
切手類はマライの加刷、正刷が昭南局より配給され、消印は当初は蘭領時代のものがそのまま使用され、後に日本語表記のマライ式のものが使われました。

ダンジョンピナン、ダボシンケップ、ダンジョンバレイ カリモン、プロサンボ、モロ、ダイク、テレンパの各局が開局されたと報告されていますが、現存数も少なく、今なお未解明、未発見の部分が多く、南方占領地の中でも人気の高い地域です。



PULOE SAMBOE, Samboe Island 12 December 1944 to Ipoh, Perak with Syonan censor chop in violet  
Bearing Malaya definitive 8 cents Tyureito and 30 cents Sago palms

PULOE SAMBOE [ プロサンボ ]



TANJONG PINANG, Bintan Island 12 February 1944 to Djakarta, Jawa with Shonan censor chop in violet

TANJONG PINANG, Bintan Island 26 July 1944 to Dabosinkep with Shonan censor chop in violet

TANJONG PINANG [ タンジョンピナン ]

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 第二次世界大戦中のインドシナと日本



20

作品番号 No. 20 (郵便史)

出品者：比留間 晃則

第二次世界大戦が引き起こされてから1年。1940年5月以降、連合国であるオランダ、ベルギー、フランスが次々とドイツに降伏しました。ドイツ、イタリアと防共協定を結んでいた日本は、石油やゴム、重要資源確保の機会を得たと考えます。

そして資源確保のため、自国の領土を拡大すべく太平洋戦争の開戦を決意し、1941年12月8日、大きな戦争へ発展していくこととなりました。

この作品では、太平洋戦争以降、フランス領インドシナから差し出された郵便に触れていきます。実質、同地を占領するに至った1945年3月の仏印処理を経て、敗戦までの間の貴重なカバーなどを紹介していきます。

1943年の郵便



HANOI R.P. (1943年1月23日) → SAIGON CENTRAL (同1月26日) → 大阪  
 インドシナ内の日本企業からの郵便には、河内憲兵隊の検閲印と、印籠を用いた検閲印が見られます。  
 合計344ctsの航空書留重量便。航空料金40cts、書留料金40cts、20gごと24ctsの11倍重量

P4 1943年の郵便

仏印武力処理以降に差し出された封書

1945年3月9日、日本軍はフランス軍の武装を解除、インドシナ半島を支配するに至りました。同年3月から4月にかけて、フランス領インドシナを形成していたベトナム、カンボジア、ラオスはフランスとの保護条約を破棄し、独立宣言を行なっています。



HANOI A (1945年5月19日) → HANOI R.P. (同5月19日)  
 → SAIGON PRINCIPAL (同6月30日) → NHA-THANG (同7月12日)



左) 裏面の HANOI R.P. と SAIGON PRINCIPAL の中継印

右) 同じ裏面の NHA-THANG の到着印

国内便料金15cts、書留料金30cts。  
 4月24日以降、書留郵便も差し出せるようになり、全ての書留郵便は検閲を受けることとなります。  
 カバー上の「R」が書留 (RECOMMENDEE) の意。同じカバー上の「CONTROLE」は検閲を意味します。

P16 仏印武力処理以降に差し出された封書

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



オーストリア・フランス郵便協定 1817-1843



21

作品番号 No. 21 (郵便史)

出品者：山形 宏之

オーストリア・フランス間の郵便の往来は、1817年の両国間の郵便協定によって活性化されました。

1849年にフランスで、1850年にオーストリアで、それぞれ一番切手が発行されますが、それ以降も暫くの間、両国間の郵便では、切手の貼られた郵便物とスタンプレスカバーが混在していました。

郵便協定に基づく差出国印（オーストリア L.A.=Lettre Autrichienne、フランス L.F.=Lettre Française）や、フランスの入国印（Autriche Par Huningue/Forbach）や、差出人全額負担便・部分負担便などを楽しめます。

オーストリア・フランス



1829. Wien (オーストリア・ウィーン)  
→Huningue (フランス・ユナング)  
→Rheims (フランス・ランス)  
消印 : WIEN, 7 (=スイス通過料)  
L.A. (=Lettre Autrichienne)  
AUTRICHE/PAR/HUNINGUE  
手書き: 対角線の斜線 1 本 (=差出人が半額支払い)  
14 (Décimes 受取人支払額)



1847.8.8. Hohenems (オーストリア・ホーエネムス)  
→Bâle (スイス・バーゼル)  
→Avignon (フランス・アヴィニオン)  
消印 : Hohenems 8 AUG., 7 (=スイス通過料)  
L.A. (=Lettre Autrichienne)  
AUTRICHE/10 AOÛT 47/Beau FR. 1 DE BALE  
手書き: 15 (Décimes 受取人支払額)

1829年、1847年の使用例

オーストリア・フランス



1842.3.14 Ingouville (フランス・アングーヴィル)  
→Paris (フランス・パリ) →Huningue (フランス・ユナング)  
→Dornbirn (オーストリア・ドルンビルン)  
消印 : INGOUVILLEWIEN/14 MARS 42/ (74)  
L.F. (=Lettre Française), PF, P.P.  
裏面 PARIS/15 MARS/60  
手書き: pr Huningue (ユナング経由)  
16 (Kreuzer 受取人支払額), 裏面 8 (Décimes 差出人支払額)



1845.8.24 Lyon (フランス・リヨン)  
→Huningue (フランス・ユナング) →Kirchdorf (オーストリア・キルヒドルフ)  
→Wels (オーストリア・ヴェルス)  
消印 : LYON/24 AOÛT/  
L.F. (=Lettre Française)  
裏面 HUNINGUE/26 AOÛT 45, KIRCHDORF 5, SEP, WELS 5 SEP 1845  
手書き: 32 (Kreuzer 受取人支払額)

1842年、1845年の使用例

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# フランス：UPU 以前の外国郵便



22

作品番号 No. 22 (郵便史)

出品者：有吉 伸人

1874年のベルン条約により GPU、その後の UPU が設立され、外国郵便の世界的な枠組みが作られる前に、フランスから外国に差し立てられた外信書状の郵便史コレクションです。

UPU (GPU) 以前の外国郵便は、国と国がそれぞれ郵便協定を結び、料金を設定していました。搬送ルートやどの国の船で運ぶかによって料金が異なるなど、非常に興味深い分野です。初めて作った拙い郵便史作品ですが、今後じっくり育てていきたいと思っています。

**メキシコ**  
英国船大西洋航路



Paris / Feb.11,1853 → Calais / Feb.11 → London(U.K.) → Vera Cruz (Mexico) / Apr.5.  
Càd type 15 , Grille sans fin ,London PAID,PD  
Rate : 1f50c for foreign letter ip to 7.5g by British packet ( Aug.1,1849 - Dec.31,1856 )

**キューバ**  
英国船大西洋航路



Châlons sur Marne / Mar.11,1854 → Strasbourg / Mar.12, →(by Train post) → Paris / Mar.12,  
→ London / Mar.13 → Southampton (U.K.) →(by British packet vessel "Thames") → Havana (Cuba) / Apr.24  
Càd type 15 , Losange petits chiffres 704, PD,PAID(London) ,NE(Havana) (Reverse)Havana arrival c.d.s  
Rate : 3f for double weight foreign letter to Cuba by British packet (Aug.1,1849 - Dec.31,1856)

**アメリカ**  
英国船大西洋航路  
基本料金 1フラン50サンチーム 二倍重量便



Paris / Sep.4,1851 → Calais / Sep.4,1851 → Liverpool (U.K.) → Boston (USA) Sep.1851 → Barlin (USA)  
Rate : 3 franc for double weight foreign letter 7.5 - 15g ( Aug.1st,1849 - Dec.31,1850 )  
Cunard Line によってリバプール経由でボストンに運ばれた1843年のFrance-GB Treatyに基づく外信書状

基本料金 1フラン30サンチーム



Paris Rue de Cléry/Nov.21,1853 →(by Train Post)→ Calais /Nov.21 →Liverpool (U.K.) →(by steamer"Niagara")  
→Boston (U.S.A) / Dec.10→Philadelphia(U.S.A)  
Rate : 1f30c foreign letter to U.S.A up to7.5g by British Packet ( Dec.1,1852 - Dec.31,1856 )  
5 cent due for US inland postage ナイアガラ号で運ばれた外信書状

英国船大西洋航路 メキシコ、キューバ

英国船大西洋航路 アメリカ

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023



# 琉球政府下の無料郵便

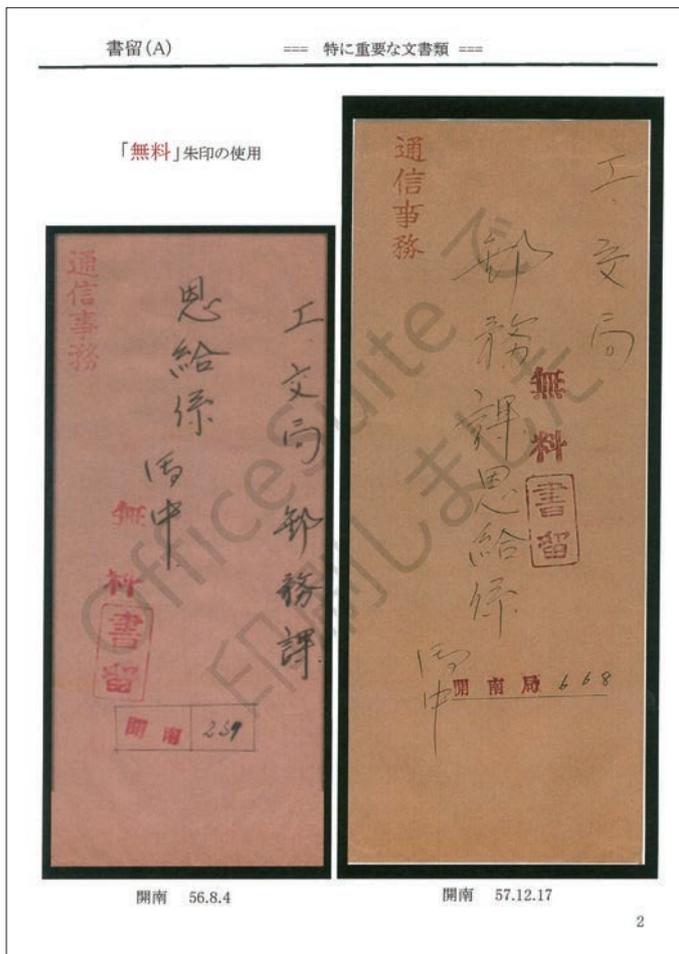


23

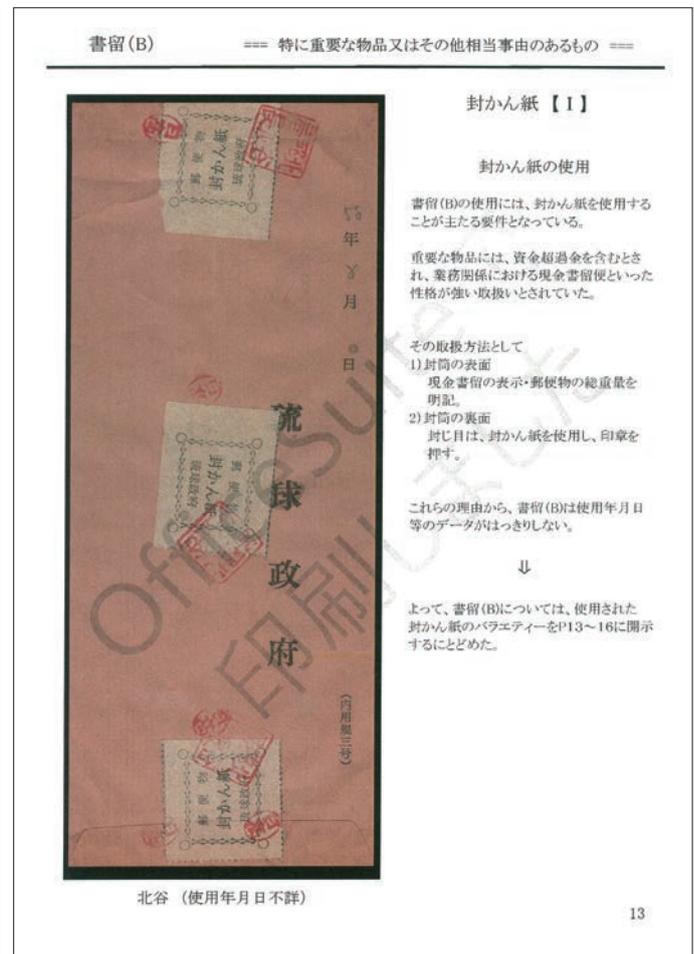
作品番号 No. 23 (郵便史)

出品者：佐藤 克彦

本作品は、琉球政府下の 1950 年代に実施されていた無料郵便の特殊取り扱いにおける書留の使用について展示している。



P2 書留(A) 「無料」朱印の使用



P13 書留(B) 封かん紙【1】

東京ワンフレーム Championship 2023



# 飛行船ツェッペリン伯号の世界一周飛行



作品番号 No. 24 (航空郵趣)

出品者：横山 裕三

2000年代の人類の夢は、宇宙旅行でしょう。しかし1900年代初めの人類の夢は、鳥のように空を飛ぶたい！空を飛んで旅行、できれば世界一周したい！でした。

この夢を初めて叶えたのは、ドイツの飛行船会社が1928年に完成させた世界最大の飛行船 LZ 127・GRAF ZEPPELIN (ツェッペリン伯号) でした。

1929年、乗客を乗せてドイツ、米国、ドイツ、日本、米国、ドイツと遊覧飛行して世界一周を実現させたのです。ツェッペリン伯号は飛行のたびに多くの郵便物を運びましたが、世界一周飛行時の郵便物には格別のロマンが感じられます。

2. 世界一周飛行  
2-1 米国・レークハーストからの出発 (1929年8月7日)

米国版の世界一周カバー (書状 料金3ドル55セント)

NEW YORK 1929.8.6 → LAKEHURST, N. J. 1929.8.29

レークハーストに到着した郵便物に押印された図入り機械印

世界一周飛行の大ロスポンサーとなった当時の米国の新聞王ランドルフ・ハーストとの契約により、世界一周の正式な出発地と帰着地は、ともに米国ニューヨーク市近郊のニュージャージー州レークハースト飛行場であった。これを米国では、世界一周としている。

| <米国からの飛行特別郵便料金>         |          |          |
|-------------------------|----------|----------|
|                         | 葉書       | 書状       |
| レークハースト ~ フリードリッヒスハーフェン | 53セント    | 1ドル55セント |
| ~ 東京                    | 1ドル3セント  | 2ドル55セント |
| ~ ロサンゼルス                | 1ドル78セント | 3ドル55セント |
| ~ レークハースト               | 1ドル78セント | 3ドル55セント |
| ロサンゼルス ~ レークハースト        | 30セント    | 60セント    |
| ~ フリードリッヒスハーフェン         | 90セント    | 1ドル80セント |
| ~ ロサンゼルス                | 1ドル78セント | 2ドル55セント |
| レークハースト ~ フリードリッヒスハーフェン | 60セント    | 1ドル20セント |

2. 世界一周飛行  
2-2 ドイツ・フリードリッヒスハーフェンからの出発 (1929年8月15日)

ドイツ版の世界一周カバー (書状 料金147分)

FRIEDRICHSHAFEN 1929.8.15 → FRIEDRICHSHAFEN 1929.9.4 → THALWIT, SCHWEIZ 1929.9.5

米国版の世界一周に対して、ドイツでは、母港フリードリッヒスハーフェンを出発して再びフリードリッヒスハーフェンに帰還することを以て世界一周と認識した。ドイツ版の世界一周である。日本に向けて出発したのは8月15日で、米国レークハーストからの帰還は9月4日であった。

| <ドイツからの飛行特別郵便料金>   |     |      |
|--------------------|-----|------|
|                    | 葉書  | 書状   |
| フリードリッヒスハーフェン ~ 東京 | 27分 | 47分  |
| ~ ロサンゼルス           | 47分 | 87分  |
| ~ レークハースト          | 57分 | 107分 |
| ~ フリードリッヒスハーフェン    | 77分 | 147分 |

P6 米国・レークハーストからの出発 (1929年8月7日) P9 ドイツ・フリードリッヒスハーフェンからの出発 (1929年8月15日)



東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 様式改定の飛天図案航空書簡



作品番号 No. 26 (ステーションナリー)

出品者：行徳 国宏

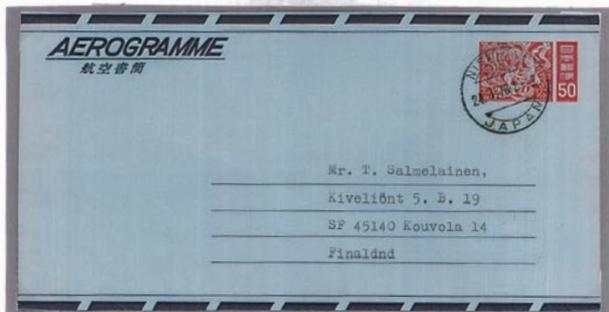
四辺密封の主題の航空書簡（現行 50 円）が 1975 年 12 月 1 日に発行され、1976 年 1 月 25 日に 100 円に料金共に改正された。その適正使用期間が 55 日間となった。

短期間適正使用による収集家差出しの差出人戻し便と 1 月 25 日以降の 100 円料金の 50 円切手加貼の使用例とを加えてまとめた。

低い収集人気度と使用短期間とから選別できるほどの重品・余裕使用例がなく、やっとなり郵趣家便に助けられた内容で構成できた。

### 様式改訂飛天航空書簡の使用例(4)

当該料金期間中に通常通りに投函された使用例を集めてみたが、1 リーフ分しか集まらなかった。実運用例の里帰りがまだないままになっている。



NISHIJIN 24. 1.76. 8-12  
FINLAND KOUVOLA 27. 1.76 (裏面)



KARATSU 15. 1.76.

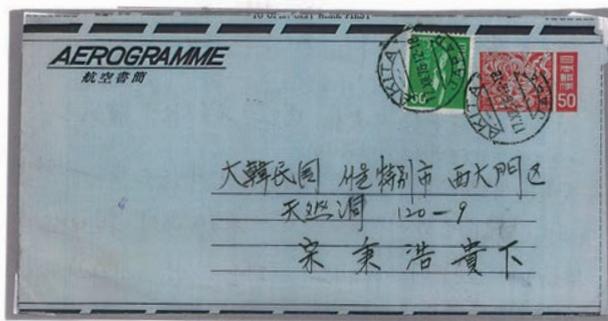
P8 使用例 (4)

### —1976年1月25日以降の料金100円使用例— 加貼50円切手のバラエティ(3)

様式改訂の当飛天航空書簡が50円切手加貼で、新料金100円として使用された。その際の加貼切手のバラエティを展開してみた。



1976年シリーズ通常切手50円貼  
KITAIBARAKI 29.III.76.



1976年シリーズ通常切手50円貼  
AKITA 17.XII.76.

12

P12 1976年1月25日以降の料金100円使用例 加貼50円切手のバラエティ(3)

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023



Summer Greeting Postal Cards of Japan : 1950-1951



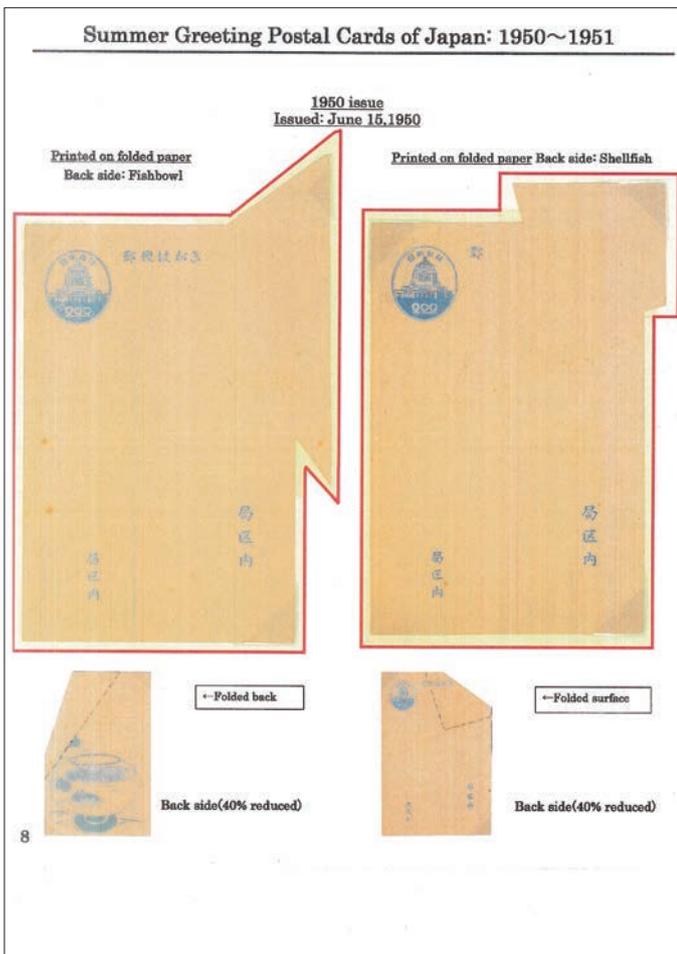
27

作品番号 No. 27 (ステーショナリー)

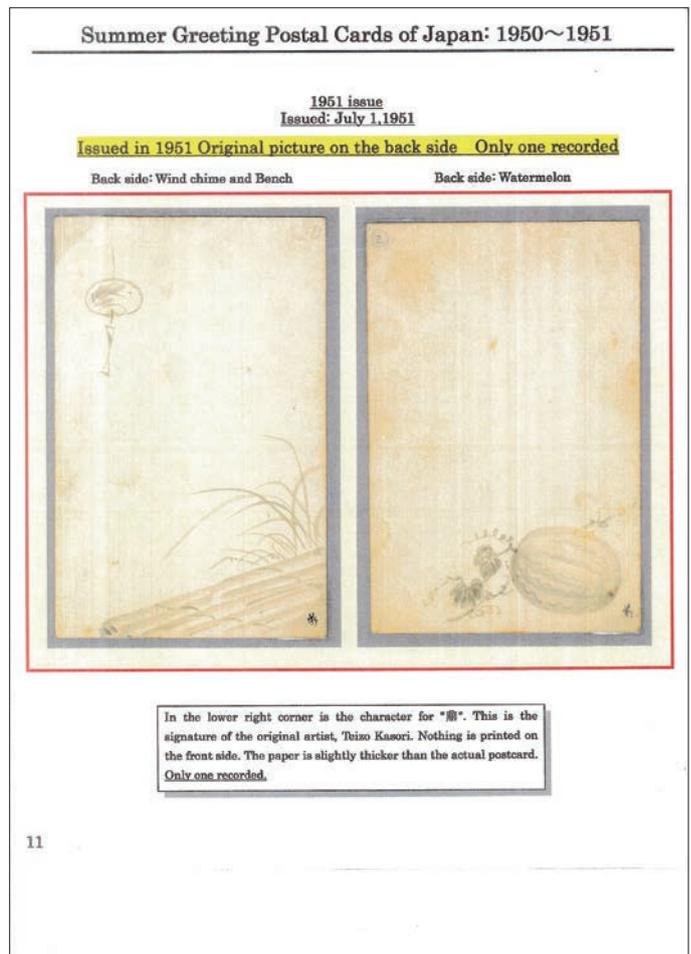
出品者 : 須谷 伸宏

本作品は、暑中見舞葉書うち、1950(昭和 25) 年発行分から 1951(昭和 26) 年発行分までの葉書料金 2 円時期のものに限定して展示したワンフレームコレクションです。この 2 種類の印面は、旧議事堂葉書 (青議事堂) と同じです。

本作品は、製造面と使用面で展開しました。製造面では、原画、みほん、未使用、シェード、製造エラー (裁断ずれ、印刷もれ、不整印刷、福耳付き、裏うつりなど) を示しました。使用面では、単独使用のみならず加貼使用も示しました。本コレクションは、先日開催された NZ2023(アジア国際切手展) で 83 点を獲得しました。国内では初公開となります。



P8 1950(昭和 25) 年発行分の福耳付きエラー 2 種類の下に、折った状態も図示しました。



P11 1951(昭和 26) 年発行分、裏面の原画 2 種

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023



# 戦後の外信はがき



28

作品番号 No. 28 (ステーションナリー)

出品者：山本 幸治

戦後の外信用はがきは戦前と比べ、その使われ方が大きく変化していきます。料金面からは、主流となる航空郵便料金が当初は書状と同じであり、その後差がつくと航空書簡がでてきてコスト的に全く合わないものとなります。また経済面でも書状などが特別高いわけでもなく、通信手段もメールがその後あたり前の時代となり、使用シーンは皆無となりました。50銭と14円を除いては入手もなかなか困難であり郵趣家便が大半です。

サブコレのためワンフレの必要条件など満たせてはおりませんが、多少は見れるメイナンバーを一通りそろえるだけでも苦労しますし、面白さもあります。

外信はがき 15銭+15銭 小判桜

1947 (S22) 1.15. 発行 平面路料金 50銭 1946.9.10~47.3.31

往復はがき返信部の往信用使用 35銭加貼

1946年(S21)9月10日、戦後の外国郵便が限定的に再開され、はがき料金は50銭だったが、戦後最初の外信はがきは15銭往復はがきしか発行されなかった。

(金沢) S22. 2. 17 → アメリカ・ワシントン

外信はがき料金は50銭だったので、35銭を加貼して使用されたが、その使用期間はわずか2か月半しかなかった。この期間内にはがき料金は15銭であったが、戦前まで日本の植民地であった朝鮮半島や中国宛のはがきも15銭であったためこれに使用されたものがごく少数ある。

外信はがき50銭料金時期に使用された官製はがきは、戦前の内信用の5銭はがきや10銭外信はがき、戦後の内信用の5銭や15銭ばかりであった。

外信はがき 25円+25円 富士桜

1962 (S37) 6.1. 発行 平面路料金 25円 1961.10.1~66.6.30

往復はがき 河村照道→柳原友治

最初料金不足とみて、Not Valid For Prepayment of Postage (郵便料金前納は無効)印を押し青鉛筆で印面を囲ったが、その後料金先納を認めて、Returned for Postage (郵便で返信)印を押し、日付印を押して差出された。往信部は発行初日に航空便で差し出され、返信部は平面路便となっている。

(返信部) LOS ANGELES 1962. 6. 5 → 奈良 (往信部) NARA 6. 1 → ロサンゼルス [航空便 第2地帯 15円加貼]

15 銭 + 15 銭 小判桜 往復はがき返信部の往信用使用

25 円 + 25 円 富士桜 往復はがき 河村照道→柳原友治

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023



# 琉球暑中見舞はがき



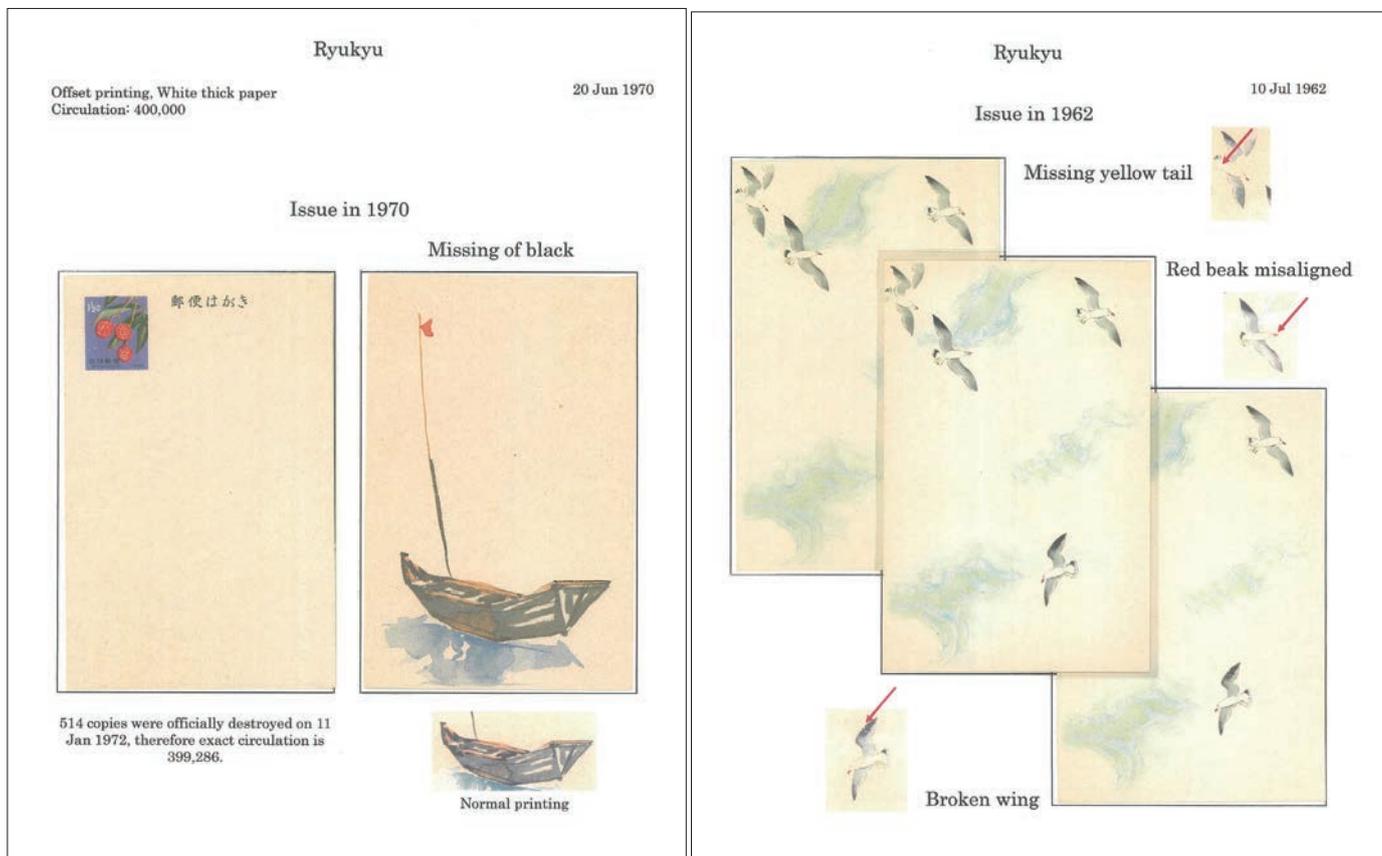
29

作品番号 No. 29 (ステーションナリー)

出品者：榎澤 祐一

夏に開催される本展にちなみ、琉球で発行された暑中見舞いはがきのコレクションを展示します。このはがきは、1961年から1971年の間に合計11種類が発行されました。

印刷上の違い（印刷バラエティ）・印刷エラー・興味深い使用例を交えたコレクションで、説明の表記は英語ですが専門知識が無くても肉眼で分かりやすい違いを中心に展示しました。はがきの裏面に描かれた琉球ならではの涼しそうな絵柄もお楽しみください。



1970年発行 1色漏れエラーなど

1962年発行 印刷バラエティ

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 書留バーコードラベル



30

作品番号 No. 30 (郵便史)

出品者：水谷 行秀

現在では見慣れた書留郵便のバーコードラベルですが、以前は手書き→書留票→ナンバリングと推移しながら引受番号などを表示していました。郵便の機械化の一環で記録などを効率的に処理・検索などが可能となるよう昭和54年から数回に渡る試行を経て昭和59年に全国化されました。

郵趣の世界では比較的最近のことに思えますが既に試行開始より44年もの年月が経っています。この間の試行やラベルの変遷など意外と知られていない事項を含め作品を構成しました。

## 書留バーコードラベル

書留とはその名の通り書き留めるとい意味で差出から配達局まで決められたチェックポイントごとに記録を書き留め保証する郵便である。郵便創始期からは朱墨にて番号を筆書きし、その後吹米の例に倣って書留票を採用した。明治41年からの試行を経て大正4年にナンバリング目を全国化し、昭和50年には書留自動引き受けサービス機と共に顔色ラベルが試行された。その後1週ごとに記録している引受番号と引受番号をバーコード化することにより、引き受けから配達までの記録・査数・集計と照合・事故などの場合の検索作業を機械化することを目的に昭和54年より書留バーコードラベルが試行され、昭和59年より順次全国に普及した。

この作品では最初の試行時より現在に至るまでの書留バーコードラベルの変遷を示した。

| 年     | 月   | 日   | 郵便制度・料金・切手発行       | 年     | 月   | 日   | 郵便制度・料金・切手発行          |
|-------|-----|-----|--------------------|-------|-----|-----|-----------------------|
| 1979年 | 6月  | 25日 | 第1次試行 本所局管内        | 1991年 | 4月  | 1日  | 新集システム開発、新ラベル配布       |
| 1981年 | 5月  | 18日 | 第2次試行 神田局管内        | 1991年 | 9月  | 2日  | 新ラベル全国切替              |
| 1982年 | 3月  | 21日 | 第3次試行 神田局管内        | 1991年 | 10月 | 1日  | 書留併記システム全国導入          |
| 1982年 | 5月  | 24日 | 神奈川県内 試行           | 1991年 | 10月 | 1日  | ラベル様式順次変更(緑色、黄緑)      |
| 1983年 | 3月  | 29日 | 日本橋、昭和、大塚東局管内にて試行  | 1995年 | 11月 | 1日  | 配達記録郵便導入、ラベルは数局書留専用使用 |
| 1984年 | 1月  | 27日 | 全国実施1、東京・静岡・大阪・京都等 | 1997年 | 3月  | 31日 | 配達記録用ラベル導入            |
| 1984年 | 10月 | 29日 | 全国実施2、埼玉・栃木・群馬・兵庫等 | 2003年 | 4月  | 1日  | 試行書留ラベル配布開始           |
| 1985年 | 8月  | 3日  | 外信便へ実施             |       |     |     |                       |

目次

| リーフNo. | 詳細          | リーフNo. | 詳細                 |
|--------|-------------|--------|--------------------|
| 1      | タイトルリーフ     | 9      | 神奈川県試行             |
| 2      | 第1次試行 本所局管内 | 10     | 日本橋・名古屋昭和・大阪東局管内試行 |
| 3      | 第1次試行 本所局管内 | 11     | 日本橋・名古屋昭和・大阪東局管内試行 |
| 4      | 第1次試行 本所局管内 | 12     | 全国実施               |
| 5      | 第2次試行 神田局管内 | 13     | ラベル変更1             |
| 6      | 第2次試行 神田局管内 | 14     | ラベル変更2             |
| 7      | 第3次試行 神田局管内 | 15     | 配達記録               |
| 8      | 神奈川県試行      | 16     | 書留・配達記録試行ラベル       |

参考文献：郵便バーコードラベル(株式会社 鳴美 2015:清水敏之)  
 『現行切手』第2巻(2007:行徳国宏 個人出版)  
 私の「金輪投稿文」集 (2018:行徳国宏 個人出版)  
 横浜川崎郵便 第196号(2003:関口文雄 個人会報)

タイトルリーフ

### 書留バーコードラベル 全国実施

1984(昭和59)年1月27日より、順次全国に展開された。この日より実施されたのは、東京都・千葉県・長野県・静岡県・愛知県・岐阜県・三重県・大阪府・京都府・広島県・愛媛県・福岡県・沖縄県・石川県・宮城県・北海道(千00.06区域)であった。

同年10月29日より埼玉県・栃木県・茨城県・群馬県・兵庫県で使用が開始され、以降順次全国に使用が広がった。

名古屋市中区一  
東京都千代田区

書留封書  
第1種封書(25-50g) 70円 +  
書留料金 350円 +  
合計 420円

名古屋丸の内59.4.12 12-18

370 7b 975

P12 全国実施

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 旧小判 5 厘切手



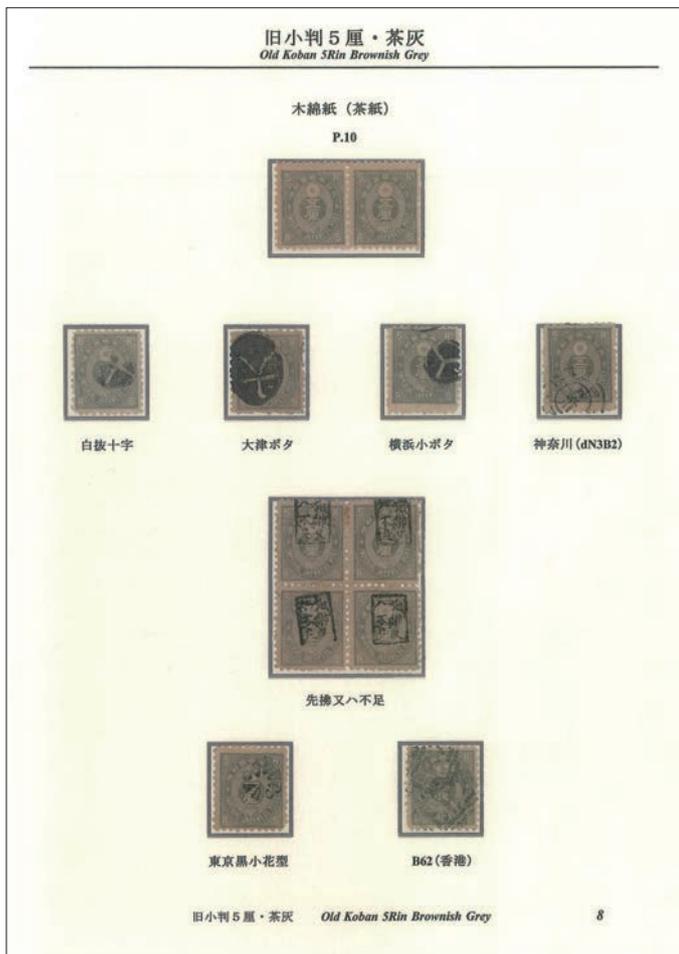
31

作品番号 No. 31 (伝統郵趣)

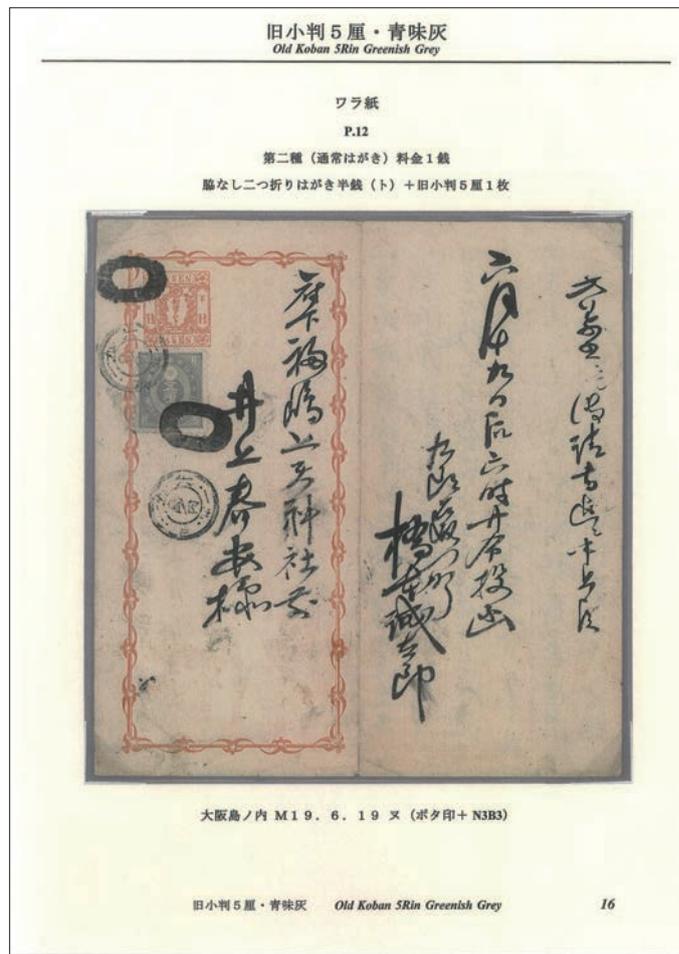
出品者：城野 隆三

旧小判 5 厘切手は、明治 9 年 5 月 17 日に発行されました。郵便量増加に対応できる凸版印刷で初めて印刷された切手です。外国郵便に使用するには、国名表示も必要と考えられ国名表示も初めてされました。

しかし数年間はほとんど使用されず、9 リーフの明治 13 年 10 月 7 日の使用ですら初期使用例です。19 年 3 月 31 日に売下停止となりますが、旧小判切手では唯一使用禁止とならず、長い間使用された切手です。



P8 旧小判 5 厘・茶灰



旧小判 5 厘・青味灰  
脇なし二つ折りはがき半銭 (ト) + 旧小判 5 厘 1 枚

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 旧小判切手 8 銭



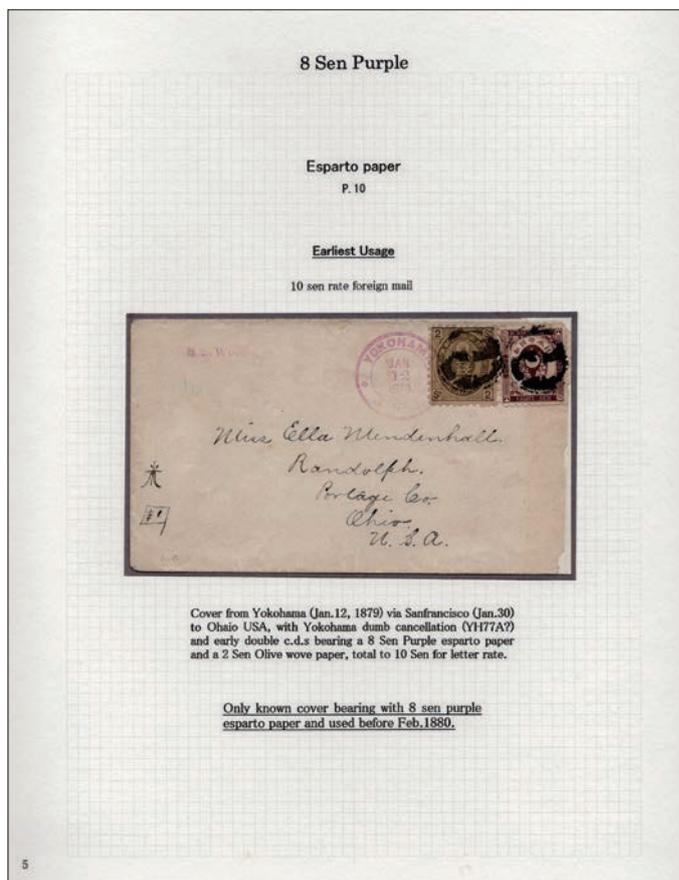
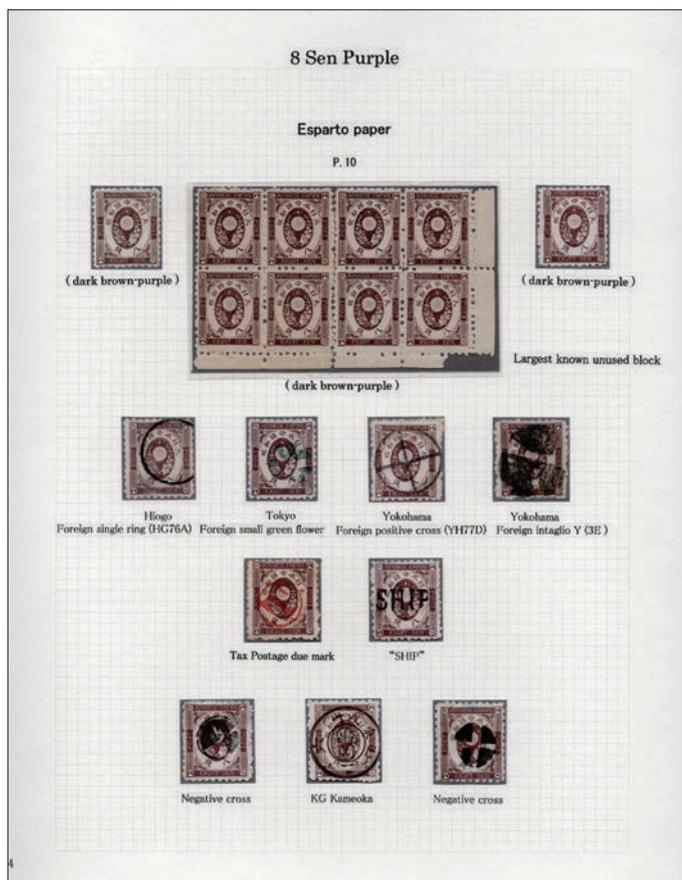
作品番号 No. 32 (伝統郵趣)

出品者：設楽 光弘

旧小判を集めて 50 年。国際展では 3 度の LG を頂きましたが収集は続けております。

近年、いくつかの大コレクションの放出もあり、長年望んでいたマテリアルもいくつか入手できました。今回はその中で 8 銭を 1F に展開しご覧いただけます。8 銭は手彫には無く初めての額面であり、地味ですが玄人好み、紙質や消印のバラエティは豊富で楽しめます。

下の図版には、E 紙の 2 リーフを示しました。



P4 エスパルト紙 消印バラエティなど

P5 エスパルト紙 最初期使用

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 1 銭稲刈切手



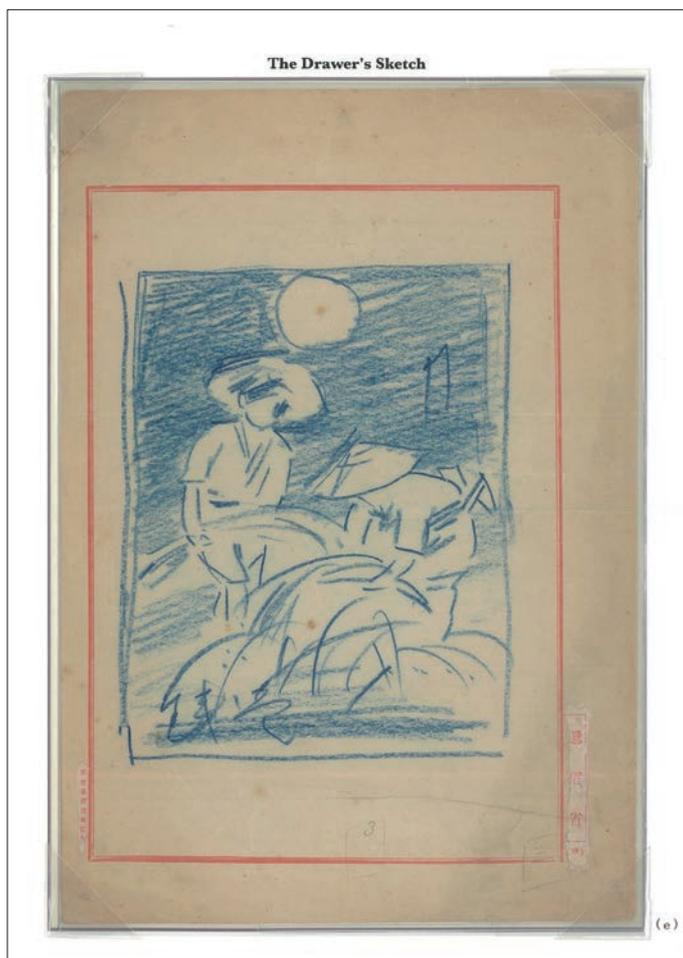
33

作品番号 No. 33 (伝統郵趣)

出品者：菊地 恵実

話は太平洋戦争前、日本の国力が最大だった頃に遡ります。時は 1937 年 (昭和 12 年)、通常切手として第 1 次昭和切手が 19 額面全て異なる図案で発行されました。そのうち 1 銭切手は米作りに関する図案となり、1937 年 12 月 11 日に日本ではじめての [ひとつの内容のある動作をあらわした切手図案] として発行されました。

本展示は日本初の動きのある切手図案 [1 銭稲刈] に焦点をあて、その図案の成り立ちの一部を垣間見る事ができる貴重なアーカイブ類を軸に展開したワンフレーム作品です。



The Drawer's Sketch

(e)



1 Sen Rate, Seed Mail

Single franking tied by roller cancellation SHICHIJO to Nagoya, 13. 11. 12 (1938)

1 Sen correctly paid for seed mail between 1937.4.1-1945.3.31

原画作者 木村勝による 1 銭稲刈図案化用スケッチ

農産物種子使用例

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023



「40円陽明門原画」はどのようにしてできたか



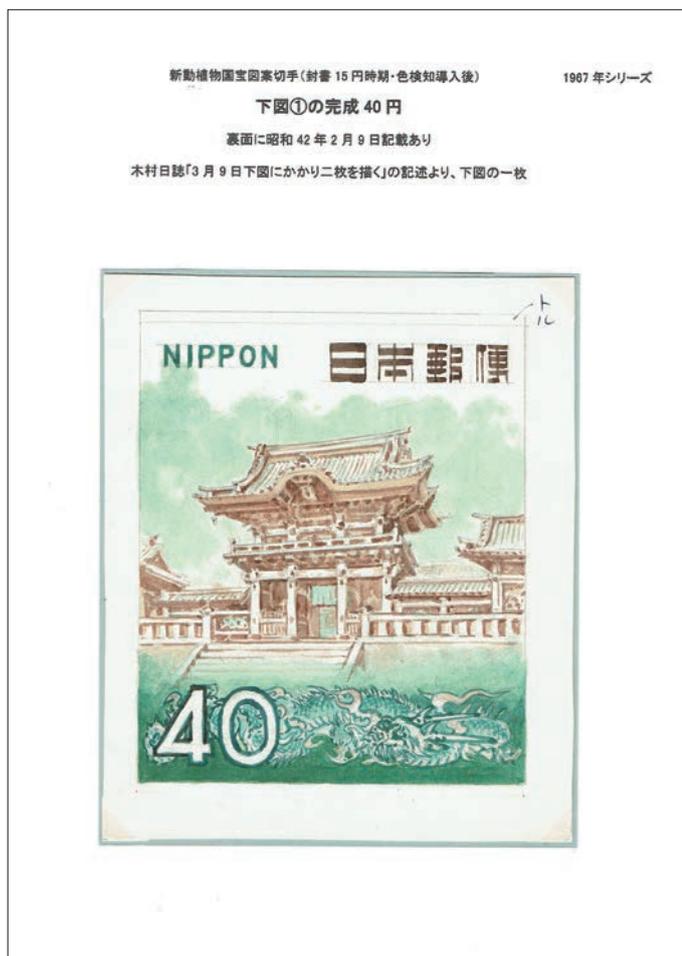
作品番号 No. 34 (伝統郵趣)

出品者：齋 亨

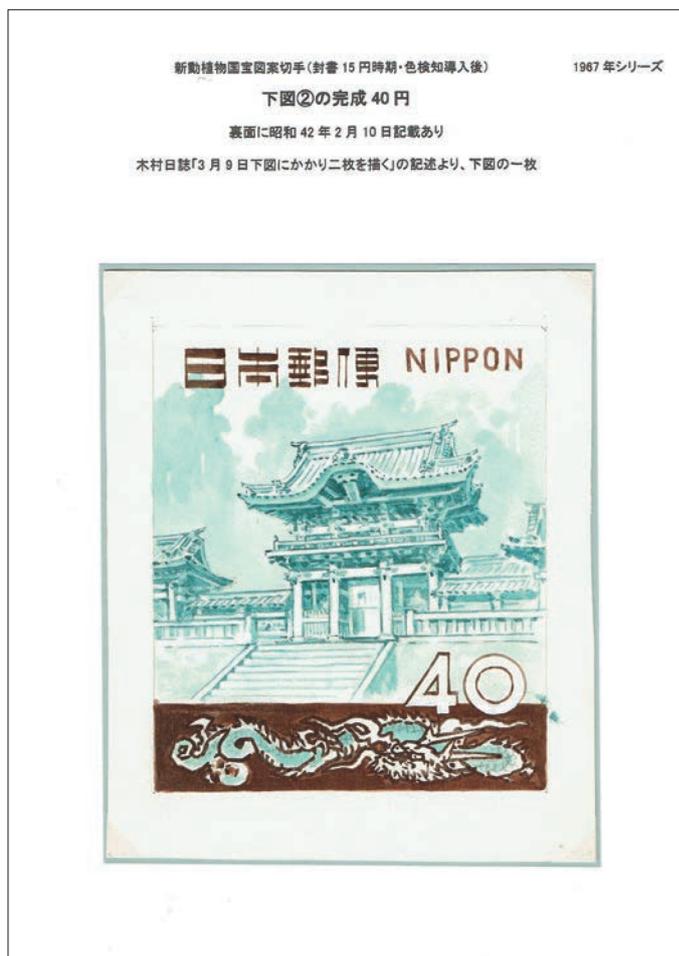
切手を見た時に最初に思うのは、図案はどういう意味を持つのか、デザインは良い出来か、印刷はどうかという事です。

日本切手のスケッチ、下図、エッセイ、原画などは、市場にはほとんど出てきません。市場に出てきてもエッセイの一部だけで、どのように作られたかという事がわかる資料は、ほとんどありません。「40円陽明門」や「1円猿」の木村勝の資料だけが、市場にあります。(ふれあい歴史館には木村勝のその他の資料があります)。

今回木村勝の日記を用いて、40円陽明門の原画が、どのようにして出来たかを制作順に並べて表現しました。



下図①の完成 40円



下図②の完成 40円

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 琉球速達切手



35

作品番号 No. 35 (伝統郵趣)

出品者：木戸 裕介

本展示は琉球の速達切手について1フレームで展開します。速達5円切手は1950年2月15日発行の1種類のみです。当時の普通切手最高額面と同額であり、普通切手の補完的な役割として使用されました。

注目のマテリアルはフルシートと、多様な使用例です。ハト航空と並んで好きな切手であるため、ありとあらゆるカバーを集めてきました。プルーフが未入手であるため、今後の課題です。

*Special Delivery Issue*

Sixth Franking Airmail Letter to Sweden



NAHA 51.10.24 → Malmö, Sweden

Airmail Letter Rate Over 5000km from NAHA =30yen

Since most of the airmail from Ryukyu is destined for the United States, relatively few are destined for Europe. In particular, it is rare to send to Sweden, which is in Northern Europe.

6枚貼リスウェーデン宛て書状

*Special Delivery Issue*

Triple Franking Inland Registered Double Weight usage



Hand Writing Registered No.

喜界 八四三

This is a case in which the registered mail indication was handwritten due to a shortage of supplies. It can be seen at each post office in the Amami Islands.

喜界 (Kikai) 51.11.12 → Naze, Amami Oshima

Inland Double Weight 6yen+ Registered 10yen=16yen

3枚貼り書状

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# フィリピン・ゲリラ切手



36

作品番号 No. 36 (伝統郵趣)

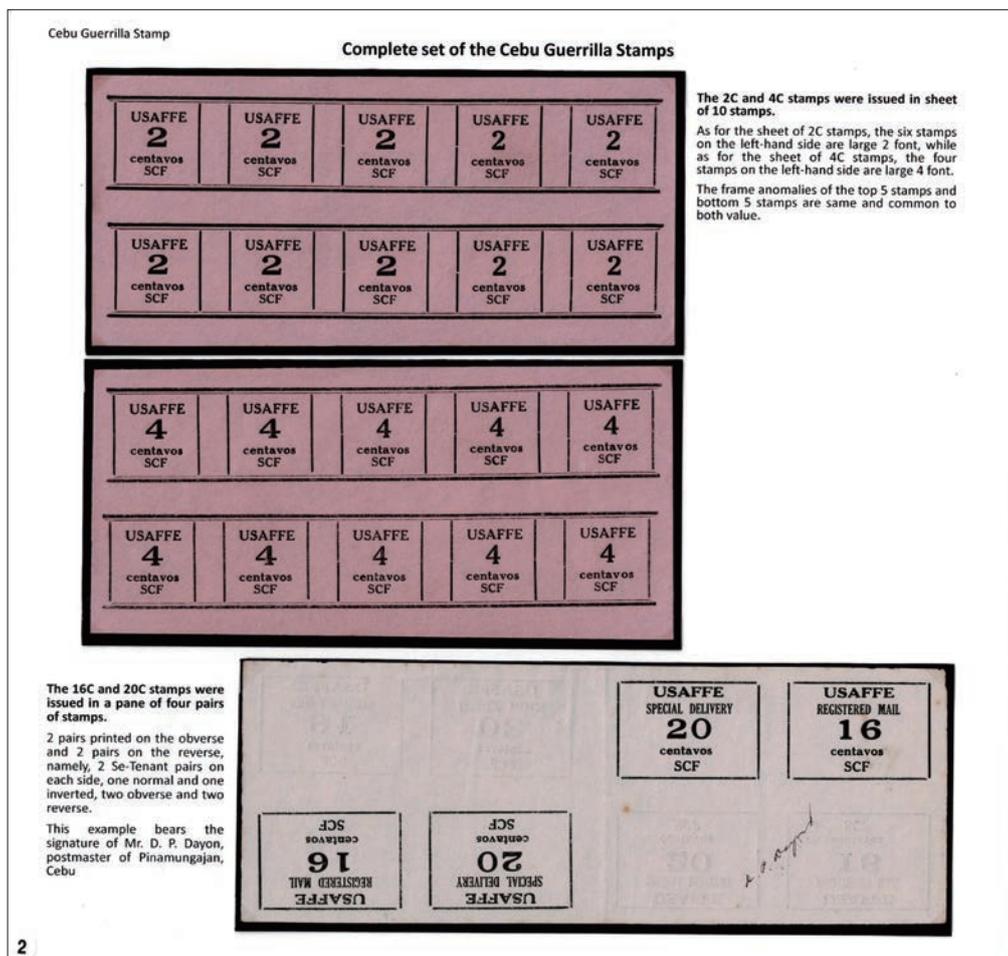
出品者：鏑木 顕

日米開戦後、日本は米領フィリピン群島を占領しましたが、全てを掌握した訳ではありません。残留米軍と現地協力者による抗日ゲリラ活動が各地で頻発していました。

ゲリラ部隊が掌握していた一部の地域では、堂々と独自の通貨や切手が発行されました。

切手が発行されたのはセブ島南部とミンダナオ島の2か所ですが、本展示では、このセブとミンダナオ、両方のゲリラ切手の全ての額面について未使用完全シートと多様な使用例を展示します。

セブゲリラ切手については**実郵便**(2通知られているうちの1通)、また、ミンダナオ・ゲリラ切手については、41通知されているうちの12通を展示し、その中でも**最初期使用例**(1943年11月24日)、**到着便**、および**最大マルチプル6枚ブロック貼り**にご注目ください。



P2 セブ・ゲリラ切手 全額面の未使用完全シート揃い

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023



# ドナウ川汽船会社 1868 10Kr. Green



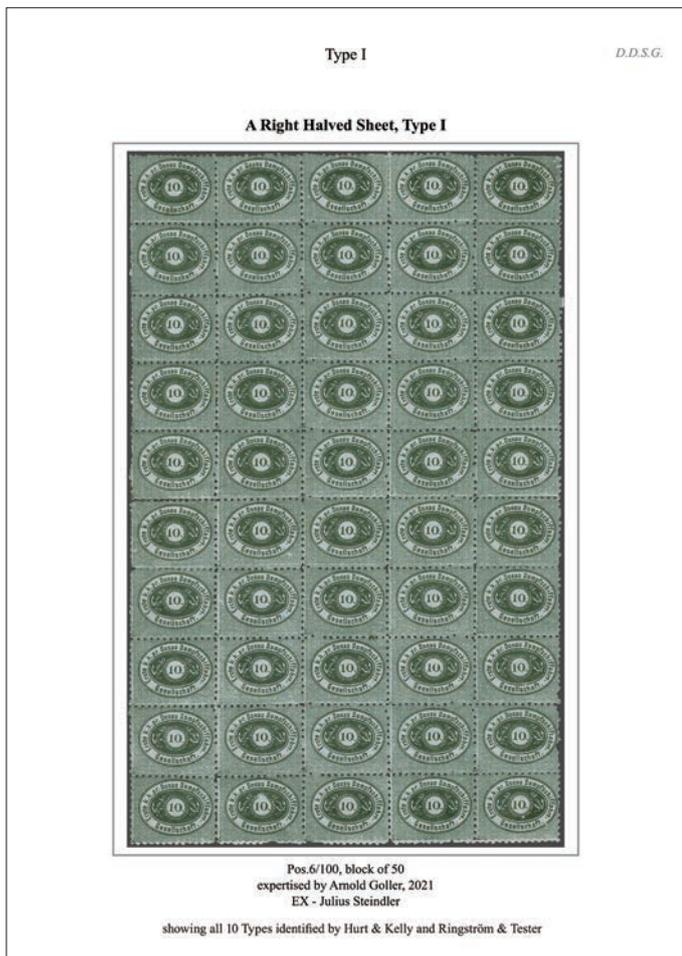
37

作品番号 No. 37 (伝統郵趣)

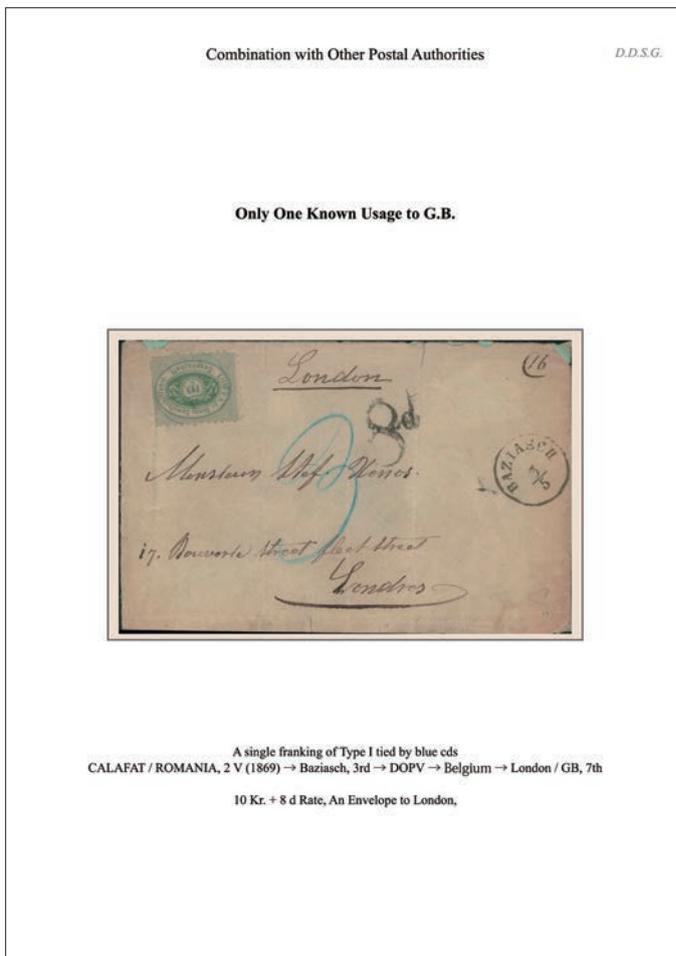
出品者：吉田 敬

複数の国家の領土を流れる河川について、沿岸国が条約を締結し、どの国の船舶も自由に航行できると設定した河川のことを国際河川と呼びます。ドナウ川はその典型で、流域には 17 カ国の領土が含まれます。

オーストリーの企業であるドナウ河汽船は、郵便遞送を行い、1866 年以降、4 種類の独自切手を発行しました。しかし未使用単片やマルチプルの入手が困難な為、伝統郵趣として嗜むフィラテリストは欧州でも少なく、郵便史コレクションばかりです。本展示では、1868 年発行の 10Kr. 緑に絞りまとめました。



**Type I A right halved sheet**



**Combination with other postal authorities  
Only one known usage to G.B.**

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



# 英国 "Penny Red Star" 1841-1862



38

作品番号 No. 38 (伝統郵趣)

出品者：中畑 智文

イギリスにおいて1841年2月から1860年代前半までに発行された、おそらくはもっともポピュラーな超クラシック切手「ペニー・レッド (スター)」をゼネラルにまとめたものです。

ペニーブラックの版を利用して急遽発行されて以降20数年もの間、19世紀の大英帝国発展の一端を語る広範かつ膨大な数が使用され、また切手史上の一大革命「無目打から目打有り」への画期的な変化を遂げたビクトリア女王の美しい肖像切手「ペニー・レッド」の郵趣的な興味と魅力にあふれるマテリアルの展示です。

英国 "Penny Red Star" 1841 - 1862

**1841 - 1845**  
**Red Brown, Imperforated (Early Plate),**  
Wmk. Small Crown, Blued paper, Die1,

Plate36 lettered O-J, Cover to Jersey island of the Chanel islands

Wolverhampton 1843.12.11. to Jersey via London  
"PAID SHIP LETTER / LONDON / DE.13.1843"

Plate27 lettered O-J, Uprating an 1840 1Penny Mulready Envelope

London 1843.1.12. to Colchester

Imperforated Covers

英国 "Penny Red Star" 1841 - 1862

**1854 - 1855**  
**Red Brown, Perforated,**  
Wmk. Small Crown, Blued paper, Die1 or 2,

Perf.14 Die 1

Perf.16 Die 1

Perf.14 Die 2

Brick Red, Perf.16 Die 2

Perf.16 Abnormal Perforation Die 1

Perf.16 Die 1

Perf.14 Die 2

Perf.14 S Inverted Die 2, Plate 5

Perf.14 Die2 Plate1 Pair, lettered A-J / A-K (Plate Flaw K Double) Pair

Double Weight Cover London 1855.6.15. to Colchester

Wmk. small crown, perforated

東京ワンフレーム チャンピオンシップ 2023



# 3d Lilac Commonwealth Games 1958



作品番号 No. 39 (伝統郵趣)

出品者：伊藤 淳

英連邦王国と英連邦諸国が参加して4年毎に開催される Commonwealth Games の第6回競技大会の記念切手です。この年は、英国のカーディフで開催されたため、ウェールズの紋章である Welsh Dragon が描かれました。

書状料金用の3dは、シリンダー2番と7番の二版だけで印刷されましたが、多くの定常変種が発見されています。本作品では、定常変種はポジション・ブロックと使用済単片で、使用例はカバーで展示してみました。



定常変種



定常変種

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



英国マーチン リーダースダイジェスト連刷コイル



40

作品番号 No. 40 (伝統郵趣)

出品者：佐藤 明夫

リーダースダイジェスト社が、同社のダイレクトメールに同封するプロモーションカードに貼付するために、英国郵政に依頼して発行されたコイル切手である。このカードに貼付さえされた切手にのみ見つかるバラエティもあり、カード自体が収集対象となっている。

コイル切手のロールには、全てリード紙が付けられており、形式にバラエティが見られる。他に、用紙の違い、定常変種、リーダースダイジェスト社への返信用封筒等を展示する。



P2 11 1/2P Readers digest coil 定常変種など

P7 12 1/2 Readers digest coil, PCP2

東京ワンフレームチャンピオンシップ 2023



百城凸版孫文切手のフルシートを元とした分類

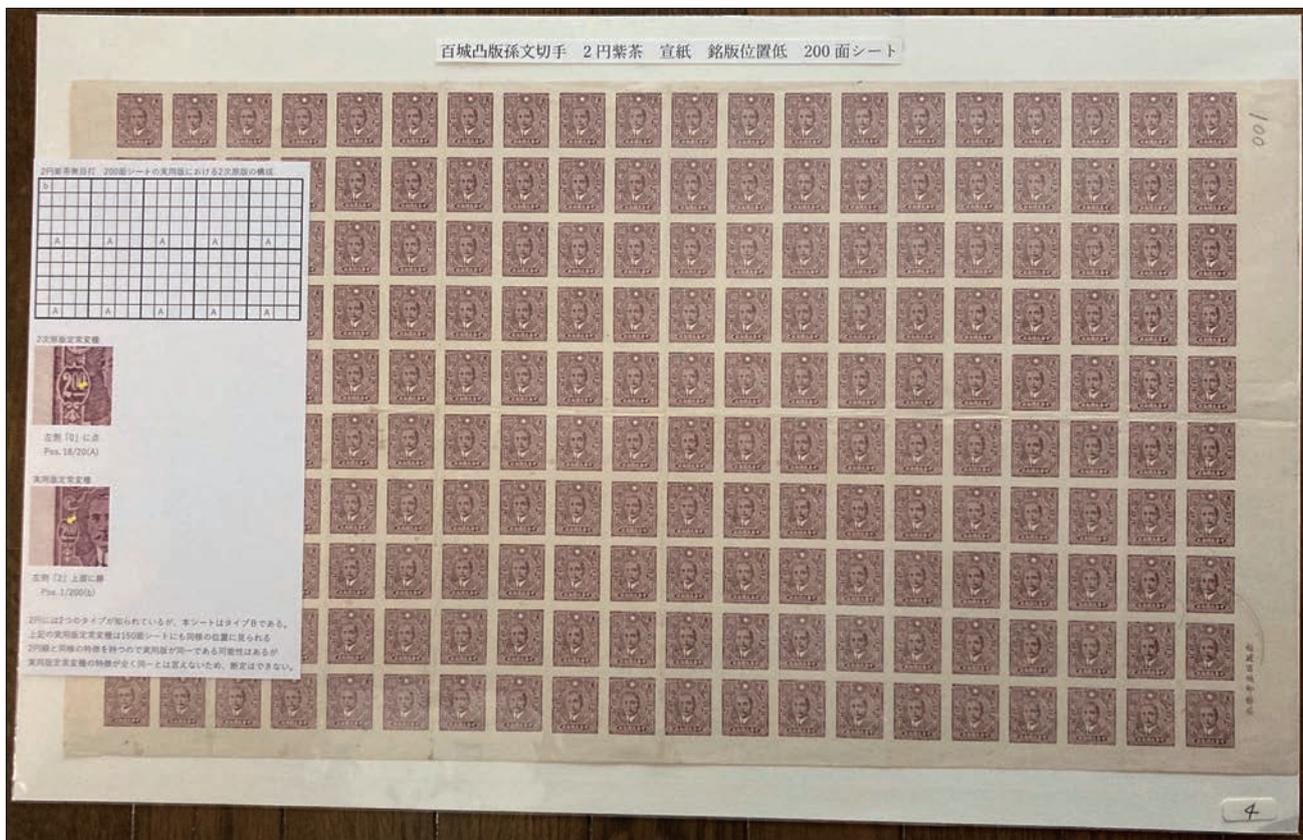


作品番号 No. 41 (伝統郵趣)  
出品者：重山 優

百城凸版孫文切手は、重慶で印刷された中信版孫文切手の原版を流用し福建省で印刷されました。しかし、用紙の供給が思うようにゆかずに当時の普通切手としては定番の構成である縦10×横20の200面シートに加えて縦10×横15の150面、縦10×横10の100面というシート構成の切手も製造されました。

しかし、印刷版を作るための2次原版は、これまた当時の定番である縦5×横4の20面の1種類であったため、150面あるいは100面のシートを印刷する印刷版を作成しようとすると単純に転写したのでは目的の面数を持つ印刷版とはならず不具合が生じることになります。本コレクションでは、30分から5円までの特徴が顕著な百城凸版孫文切手のフルシートを展示し、その中で2次原版の構成がどのようになっているかを図示したものです。なお、6円以上の切手は全てシート構成が200面となっておりますので本コレクションからは除外しております。

参観される方に理解して頂きやすいように2次原版の定常変種を図示し、その位置を明記しました。また、シート構成により印刷版の定常変種が存在する場合はその変種も図示しております。また、定常変種ではありませんが1円及び3円の2次原版「位置ズレ」についてはオリジナルスタディと言えるかもしれません。そして、2円紫茶の無目打フルシートは出品者が確認しているなかでは唯一のものです。地味で中信版孫文切手と混同されやすい百城凸版孫文切手ですが、その面白さの一端を感じ取っていただければ幸いです。



P4 百城凸版孫文切手 2円紫茶 宣紙 銘版位置低 200面シート

「東京ワンフレームチャンピオンシップ2023」懇親会

# ウナギナイト

2023年7月15日(土) 18:00-20:00

錦糸町うなぎ専門店「三由」

墨田区太平 4-6-12 TEL 03-3622-3440

「東京ワンフレームチャンピオンシップ2023」の開催に伴い、出品者・サポーターを対象に、懇親会を開催します。ご参加を予約された方は下記の地図を参考に、お集まりください。(完全予約制)なお、いい感じに駅から離れているので、**タクシーで移動されることをお勧めします。**

東京ワンフレームチャンピ  
オンシップ2023会場  
郵政博物館



押上駅



錦糸町うなぎ専門店「三由」

大平四丁目交差点

蔵前橋通り



複合施設  
オリナス錦糸町

墨田区立  
錦糸公園

錦糸川

総武線

錦糸町駅

全日本切手展 2023 会場  
すみだ産業会館

参加者増加につき、宴会場スペースを急遽、20人→30人に増加しました。今から参加を希望する方は電子メールでご連絡ください。info@stampedia.net

# 全日本切手展2023

## 競争展示作品一覧（文献除く）

文献等除く。「注目」欄に○のついた作品は注目作品で、本号外で出品者が見どころを語っています。

| 部門     | 注目 | 作品名称                                | Fr. | 出品者    |
|--------|----|-------------------------------------|-----|--------|
| 伝統日本   |    | 旧小判切手                               | 4   | 濱谷 彰彦  |
|        |    | 〈支那〉加刷・菊・20銭                        | 3   | 柳川 英幸  |
|        | ○  | 文化人切手（1949-1952）                    | 4   | 宇佐見比呂志 |
|        |    | 小判はがき                               | 5   | 田中 章夫  |
|        | ○  | 旧韓国より朝鮮戦争頃までの収入印紙と証紙類 1905-1955     | 3   | 長谷川 純  |
| 伝統外国   |    | 韓国第1次普通切手 1948-49                   | 5   | 木戸 裕介  |
|        |    | ルーマニア 麦の耳 1893-1908                 | 5   | 寺本 尚史  |
|        |    | ドイツの普通切手 城シリーズ 1977-1982            | 5   | 田中 勝善  |
|        |    | Great Britain Definitives 1911-1934 | 5   | 山田 廉一  |
|        |    | HAWAII                              | 5   | 高橋 卓雄  |
| 郵便史日本  |    | 関東大震災                               | 4   | 西川 恵久  |
|        | ○  | 東京本局後期丸一型日付印                        | 3   | 近辻 喜一  |
|        |    | 旧郵便法下の急速郵便史 1911-1947               | 5   | 酒田 義博  |
|        |    | 南方占領地スマトラの郵便印                       | 4   | 上遠野義久  |
|        |    | 佐渡国、越後国の不統一印                        | 4   | 菊池 達哉  |
|        |    | 越後国、佐渡国の明治初期郵便消印（不統一印）              | 5   | 村山 廣祐  |
|        |    | 播磨国の郵便消印                            | 5   | 岩崎 善太  |
|        |    | 播磨国の丸一型日付印                          | 5   | 福田 博和  |
|        |    | 台湾の鉄郵印                              | 5   | 黒原 和男  |
|        |    | 朝鮮での日本郵便                            | 3   | 篠沢 敏行  |
|        |    | 朝鮮・韓国の丸一型日付印                        | 3   | 永富 功   |
| オープン   |    | 川瀬巴水と「渡辺版」初日カバー                     | 3   | 小田嶋 永  |
|        |    | 或る日を求めて                             | 4   | 坂野 康守  |
| ユース    |    | ふるさと兵庫                              | 3   | 千葉 郁実  |
| ワフル伝統  |    | 〈支那〉加刷・旧大正毛紙・20銭                    | 1   | 柳川 英幸  |
|        |    | 国民体育大会の切手 第2回～第5回                   | 1   | 瀧川 忠   |
|        | ○  | 日本の自然シリーズ80円ヤマセミ                    | 1   | 清水 政男  |
|        |    | ふるさと切手「民営化前」1989-2007               | 1   | 下園 康治  |
|        |    | 愛国切手                                | 1   | 木下 朋英  |
| ワフル郵便史 |    | 私製往復はがき・3銭時期～50銭時期                  | 1   | 山田 克興  |
|        |    | 陸軍特別大演習（1890-1913）                  | 1   | 片山七三雄  |

日本・伝統 (4 フレーム)

## 文化人切手 (1948-1952)

出品者：宇佐見 比呂志

はじめに

今年の日展の出品作品は、「文化人切手 (1949-1952)」である。この作品は、2017 (平成29) 年に日展で銀賞をいただいた作品に、その後の収集品を加え、リニューアルしたものである。

「文化人切手」全18種は、1949 (昭和24) 年の文化の日から1952 (昭和27) 年の文化の日まで、3年間に亘り発行された。その第1弾となった野口英世の発行を告げる昭和24年11月2日付け郵政省告示第223号では、「文化貢献者の肖像を画題とする」切手と示されており、当時の郵趣団体であった「学生郵便切手会」の提唱をきっかけに、野口英世記念館館長の六角寛氏や参議院議員星一氏の運動を背景に発行が計画されたという。

この作品は、凹版印刷による日本初の本格的な人物切手シリーズとして人気も高い「文化人切手」について、版番号などの製造面・消印などの使用面を、切手及びカバーで展示するものである。

### 【1頁：文化人切手の概要】

1頁のタイトルリーフには、「文化人切手」の3年間の発行期間中、国内書状料金の改定その他、額面表示の変更、銘版に示される政府の印刷機構の改変などがあったことを示した。また、消印の種類の変遷についても言及した。

### 【2-5頁：野口英世】

2頁からは、18種を発行順に展開する。ところで、野口から坪内までの4種は、当時の一般的な記念切手の発行枚数が300万枚だったのに対し、普通切手に準じた積極的な使用を意図しての3000万枚の発行であった。そのためか、最初の野口では、実用版の作成に使われた転写ロールの分類が可能であり、type 違いが見られることになった。(2頁最下段の参考図を参照)

2頁では、このうち type I の切手の消印違いを中心に並べた他、今回の作品に共通するが、製造面を示す「みほん」及び「未使用銘版付」を示したので、やや窮屈な感じが否めない。1段目には、鳶色和文機械印を札幌の右書・横浜中の左書で揃えることができたが、和文機械印の印色が鳶色になる前の黒色だった1950 (昭和25) 年2月までの印影も欲しいところ。4段目の美濃太田の紫色和文ローラー印は、逆条ながら鮮やかな印象を与える一品。

3頁は、type I の国内宛カバー2通。左は野口2枚が貼られた2倍重量書状。右は、国内書状料金8円+速達料20円+書留料30円の合計58円貼り速達書留書状。

4頁は、同じく type I の外国宛カバー2通。このうち、上のアメリカ宛船便葉書の年賀切手は、どちらかに統一してほしかった。下は、3枚貼りでちょうど24円の船便書状料金となる例。

5頁は、type II の切手及びカバーを1リーフで展示したもの。欧文印の切手がないのが努力不足を露呈している。このリーフは、切手の消印を充実させて、カバーとは別で1リーフ作りたし、カバーも外国宛のものが欲しいところ。なお、type II の「みほん」は、これまでに確認されている耳紙上の実用版管理番号 (いわゆる版番号。詳細な説明は11頁参照) が、type II では「17」から「21」であり、type I の「6」から「9」及び「11」から「16」に比べ大きな数字であることから、存在しないものといわれている。

文化人

野口 英世 (type I)

1949. 11. 3



鶯色右書和文機械印  
札幌 25.9.25



みほん



未使用銘版付  
【印刷片製造(旧片)】



鶯色和文機械印  
横浜中 28.12.20



青色欧文櫛型ゴム印  
-OBE 27.1.51



欧文三日月型印  
NISHIJIN/KYOTO 31.V.56



欧文櫛型金属印  
TOKYO 1.10.52



鶯色広告入和文機械印  
「定山溪ホテ- 千一」



C欄県名入右書櫛型印  
函館 25.3.31



右書復活Z型櫛型印  
大阪中央 25.2.1



D欄文字入櫛型印  
神田南神保町/東京 26.1.22



鉄道郵便櫛型印  
姫路広島- 25.9.19



紫色和文ローラー印  
美濃太田 25



欧文櫛型ゴム事務印  
YOKOHAMA 13.III.54



欧文ローラー印  
-MPERIAL HOTEL 28.XI.19-



【実用版のタイプ違い】  
(上: type II 下: type I)  
実用版の作成に使われた転写ロールは2個あり、最初に作られた転写ロールによる実用版で刷られた方が type I、後で作られた転写ロールによる実用版で刷られた方が type II である。  
Type II の特徴は、額面数字「8」内の三本線が右上がりとなっていることなどである。

文化人 野口 英世 (type II) 1949. 11. 3



未使用銘版付  
【印刷片製造(旧片)】



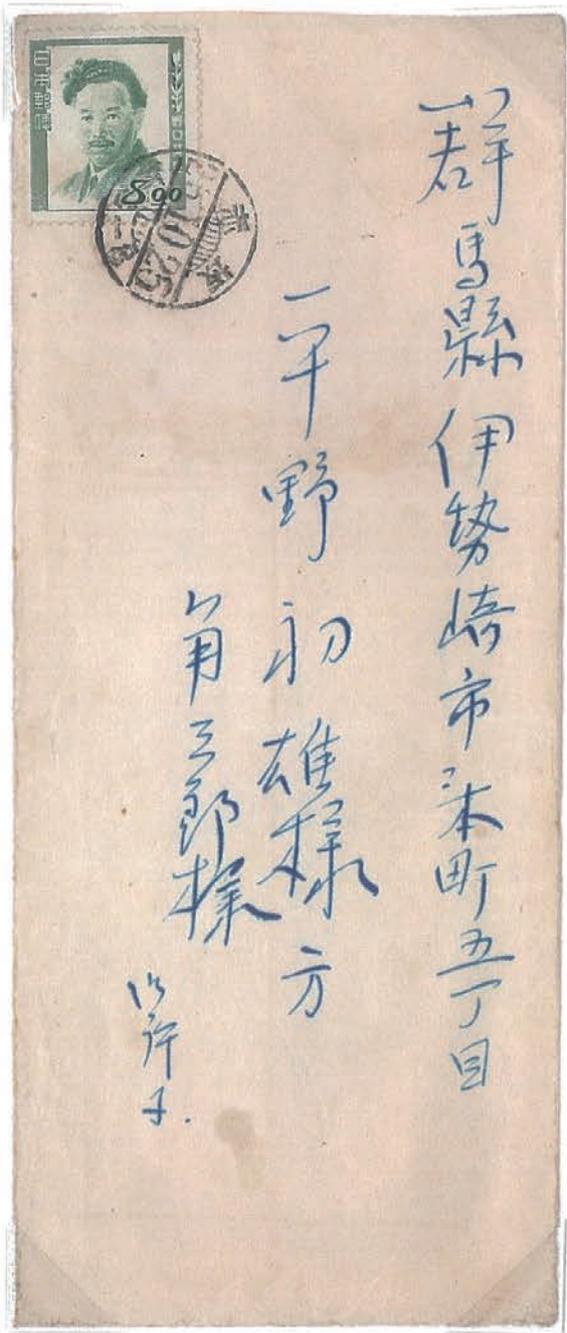
藍色和文機械印  
鋼路 25.9.26



楯型印  
山田 25.10.5



和文ローラー印  
小川町 29.6.18



国内宛書状  
赤坂 25.10.25



国内宛速達葉書  
三條 25.12.12

5

### 【6-9頁：福沢諭吉】

6頁では、4段目のヒョウゴ鳴尾のカタカナ県名入和文ローラー印と布施の鳶色和文ローラー印が、いいアクセントになっている。

7頁は、国内宛3倍重量書留書状で発行月の使用例。3倍重量書状料金24円と書留料30円で合計54円となる。

8頁のカバーは、「第5種郵便」と表示がある1枚貼り国内宛開封書状で100グラムまでのもの。

9頁は外国宛カバー2通で、上は6円印刷女工を加貼した船便葉書であり、下は定番の3枚貼り船便書状である。

### 【10-13頁：夏目漱石】

10頁の1段目には、皺上印刷の使用済み。用紙が皺になったまま印刷されたため白い筋となり、目打ちの間隔もその分だけ広がっている。2段目には、刷色の関係でやや難読だが、アオモリ弘前紙漉町の紫色カタカナ県名入和文ローラー印を入れることができた。

11頁は別納使用だと思われる20面フルシート。5頁の野口のところで版番号に触れたが、文化人切手ではシートの耳紙に示される版番号による分類が進められている。現在までのところ、輪転印刷機で刷られた内村、樋口、森の3種と、存在の可能性を指摘されながらも未確認である新渡戸を除き、裏文字で版番号が確認されている。またその位置も、T字を横にした形のトンボの横線の上または下、さらに左耳または右耳の4種類について、切手ごとにその現れ方が記録されている。ここでは、左耳下版番号「4」を示す。

12頁は、左に国内宛3倍重量書状、右に葛飾新宿の鳶色標語入和文機械印で発行月差し出しの6円印刷女工と併せて14円とした船便葉書を展示した。

13頁には、外国宛カバーが2通。上の3枚貼り船便書状の他に、下には銭単位のキジ航空2種を加えてアメリカ（第3地帯）宛航空書状に仕立てたカバーを示した。当時の航空郵便物は、船便と同額の基本料に地帯別の航空料を加える方式であり、このカバーでは、第3地帯宛59円の航空料をキジ航空59円で賄い、キジ航空16円+夏目8円の合計24円が基本料という内訳になっている。

### 【14-17頁：坪内逍遙】

14頁のハイライトは、2段目左の名古屋東の富士山図案年賀用絵入櫛型印。この消印は、年賀状用の消印であり、封書用額面に押されることは稀であることから、華やかさに加え希少なものとなっていて人気も高い。最下段の千種の紫色和文ローラー印は、年号がかかっていたら1ランクアップ。

15頁は、左耳上版番号「3」と右耳上版番号「1」を、それぞれ使用済み20面フルシートで示した。

16頁には国内宛書状が2通。左は書留書状で、右は速達書状であり、それぞれ、30円郵便配達書留料に、20円植林が速達料に対応している。

17頁には外国宛船便2通。上は坪内の発行翌日使用の船便葉書であり、下は、10円料金時代の韓国宛印刷物で、お馴染みの収集家宛のカバーである。

### 【18-20頁：九代目市川團十郎】

18頁の消印では、あえて注目するようなものはないので、もう少し種類を増やしたい。ただ、この市川以降、印刷コストが相対的に高い凹版切手であることからか、発行枚数が1000万枚に減らされたこともあり、単純に考えれば使用例収集は3倍難しくなる。

19頁は、国内宛速達書状だが、もう一ひねりが効いたカバーが欲しいところ。

20頁には、外国宛船便の葉書と書状。上の葉書は発行翌日、下の書状は発行初日の午後印である。

文化人

夏目漱石

1950. 4. 10



復活Z型構型印  
麻布 25.7.14

【版番号】

文化人切手のうち、輪転印刷された内村鑑三、樋口一葉及び森鷗外を除き、シート耳紙に版番号が裏文字で記されている。  
T字形を横にした形のトンボの横線の上または下、さらに左耳または右耳の4種類があり、切手ごとにその現れ方が記録されているが、シリーズ後期の文化人切手では、版番号の位置がトンボから外に離れたところにあるため、裁断の結果、版番号が確認できないシートが多い。  
夏目漱石については、版番号「1」～「14」（ただし、「6」及び「10」を除く。）が確認されている。

## 【21-24頁：新島襄】

21頁の3段目中央に、KIOTOCHUOの初日欧文櫛型金属印を入れてあるが、このような田型への欧文印というマテリアルを結構目にする。これまでも、2頁野口のYOKOHAMA（事務印・非初日）、6頁福沢のYOKOHAMA（事務印・非初日：野口と同一）、18頁市川のTOKYO（初日）を示してきた。また、この後も、25頁狩野のYOKOHAMA（事務印・非初日：野口と同一）、40頁菱田のYOKOHAMA（事務印・非初日：野口と同一）、43頁西のYOKOHAMA（事務印・非初日：野口と同一）を示している。これらのうち、月活字がローマ数字で表示された事務印であるYOKOHAMAについては、印映がやや右上がりに傾いているところなども含め、同一の機会に記念押印されたものであろう。ルックスはいいのだが、これだけ揃ってくると、食傷気味なところも出てくる。

22頁には、左耳上版番号「5」の使用済み20面フルシート。20枚の切手に対し20個の消印は、ご苦労様と言っておこう。

23頁は国内宛書状と初日午後印の3円過納アメリカ宛船便印刷物。

24頁は、アメリカ（第3地帯）宛の2倍重量航空印刷物で発行翌月の使用例。航空印刷物の基本料金は50グラムまで5円の船便印刷物と同じ料金であり、それに航空割増料36円（第3地帯宛は10グラムごとに18円であり、このカバーでは2倍重量の36円。）を加えた41円分の切手が貼ってある。これが、新島5枚貼りで40円+1円切手なら、もう少しまとまりのあるカバーになっていたのではなかろうか。

## 【25-28頁：狩野芳崖】

25頁の消印には特別なものはなく、第2コーナー田型に押されたYOKOHAMAの欧文櫛型ゴム事務印に関しては、21頁の新島で述べたとおり。

26頁は、20面フルシートの使用済。狩野の版番号は、「2」を除く「1」から「9」までが確認されているが、このシートではそれが現れていない。右辺の上端及び下端にトンボがかろうじて見えるが、版番号の表示位置が、これよりさらに外側になっているため、裁断の具合によって、このように確認できないものもある。

27頁は1枚貼り国内宛書状の一般的な使用例。

28頁は外国宛船便で、上が葉書、下が書状。葉書の方は、切手にダメージがあり惜しい。初日差し出しの書状の方は、この後も登場する京都・東山区のTSUKIOKA氏差出のカバー（35頁森、39頁正岡及び45頁西）で、宛名もノルウェーの同一人物。別々の機会に入手したものだが、受取人からまとめて里帰りしていたと思われる。

## 【29-30頁：内村鑑三】

29頁は、空間の広いリーフになってしまった。あと2~3種類、消印を展開できると見栄えがするのだが、今のところこれで精一杯。

30頁のアメリカ宛の3倍重量船便書状は、20グラムまでの船便基本料24円+超過20グラムごと14円×2の割増料28円で、60グラムまでの料金52円が貼られている。

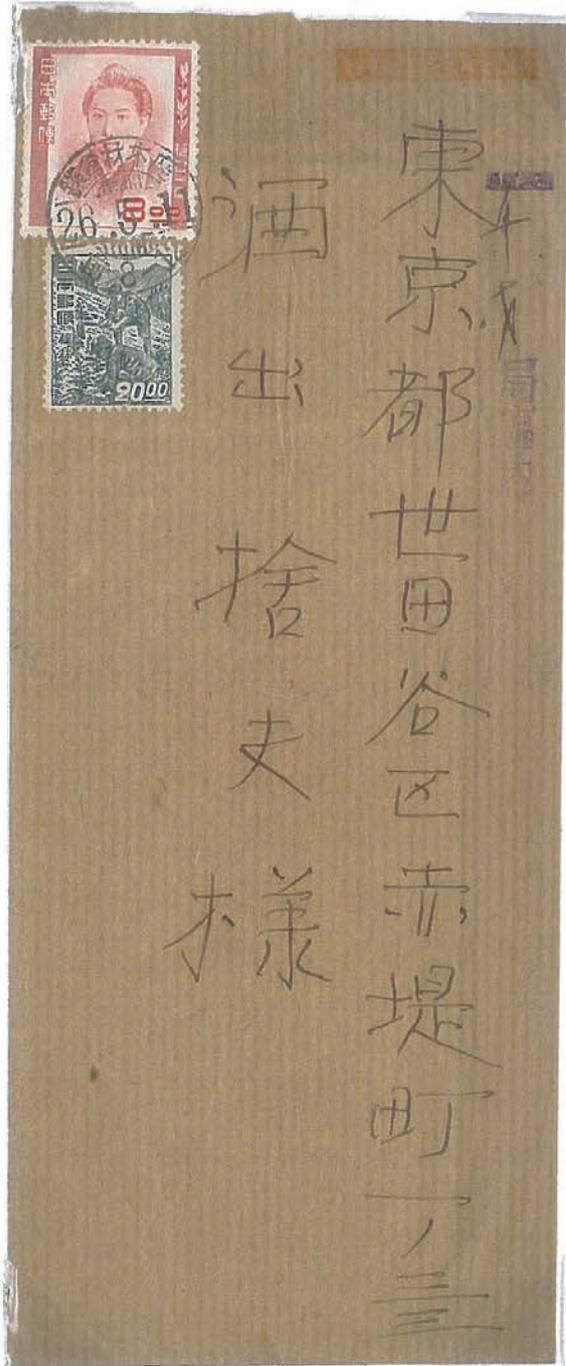
## 【31-32頁：樋口一葉】

31頁は、こい紅色の刷色に消印も映える賑やかなリーフになった。4段目のヒョウゴ菅野のカタカナ県名入和文ローラー印は、年号が分かれば秀逸の一品。32頁には、左に20円植林を加貼した国内宛速達書状と、右に1枚貼りのAPOメールを入れた。「APO」とはArmy Post Officeの略で、日米間の協定に基づき日本国内に設置された米国軍事郵便局と日本の郵便局との間で送達される郵便物を指す。その大きな特徴は、APO郵便物の基本料金は同じ種類の国内宛郵便物の料金と同額である一方、特殊取扱料金は国外宛郵便物の料金で送達されるという点である。当時の沖縄は「外国」であり本来は外国宛郵便料金となるところ、このAPOメールは10円という国内宛書状料金で送達されている。なお、リーフ下部に、裏面中継印「APO500」の機械印の図版を示すが、これは日本と米国との交換局の役割を果たすべく東京の三菱本館に設けられていた第500野戦局を指しており、ここを中継し沖縄に送達されたカバーとなる。

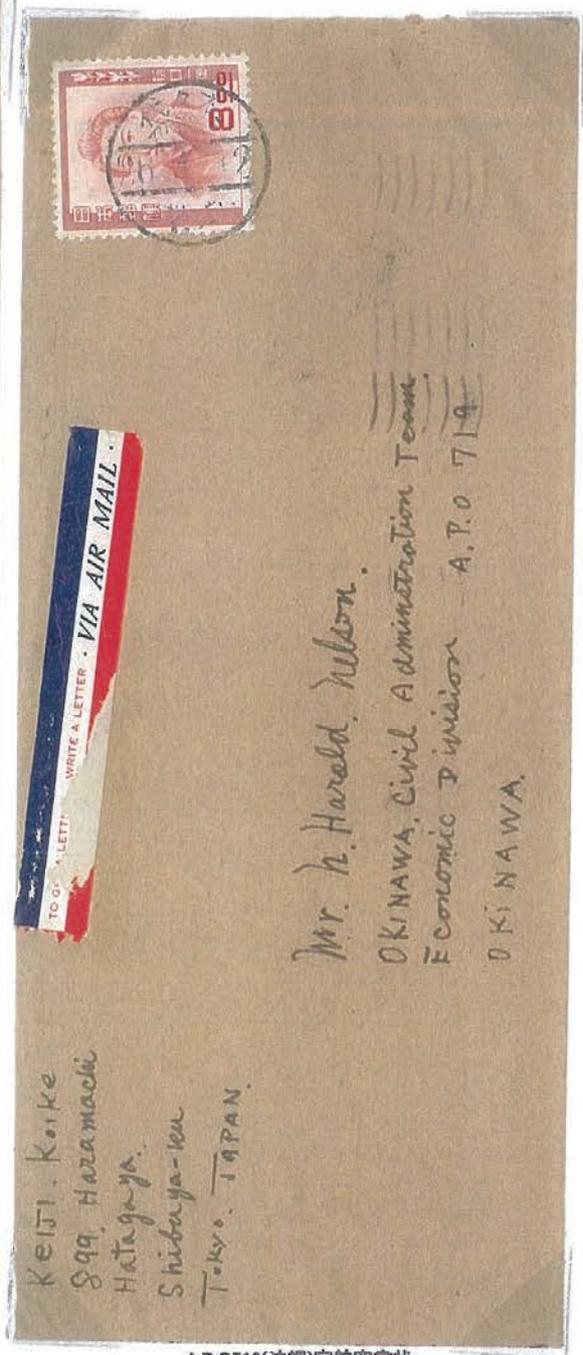
文化人

樋口一葉

1951. 4. 10



国内宛速達書状  
鎌倉村木座 26.5.11



AP.O719(沖縄)宛航空書状  
代々木 26.4.12  
(国内宛書状料金適用)



【裏面中継印: 縮尺65%】  
U.S. ARMY POSTAL SERVICE  
APR 13/APO-500/1951  
(第500野戦局: 在東京三菱本館)

### 【33-35頁：森鷗外】

33頁のリーフも、あと2～3枚切手が増えればいい感じになろう。最下段のアキタ横手駅前のカタカナ県名入和文ローラー印の消印のかかり具合はなんとか合格か。

34頁の30円郵便配達を加貼した国内宛書留書状は、発行4日目の使用例で、書留引受番号「甲府141」はナンバリングが使用されている。

35頁には、上に外国宛船便葉書（ただし、2円過納）と、下に28頁の狩野のところで触れたノルウェー宛船便書状。葉書の方は、どうせ過納なら森のペア貼りの方が見た目もよろしい。

### 【36-39頁：正岡子規】

36頁も、ややさびしい印象の空白が目立つリーフであり、さらなる充実を図りたい。

37頁は、版番号不明の20面フルシートの使用済み。

38頁は、左の国内宛書状と右の国内宛開封書状（第5種）を並べた。国内宛郵便料金が改定されたのは1951（昭和26）年11月1日で、この時、書状料金が8円から10円になった。従って、この正岡あたりから、本来の発行目的通りの国内宛書状に使われるよりは、改定後の国内宛開封書状や印刷物などの第5種便に使われる例が増え始める。料金改定前の発行目的に沿った正岡の適正使用期間は、一か月と12日間しかない。左の国内宛書状は10月27日の消印であり、まさにこの適正使用例。これに対し、右の国内宛開封書状の方は11月16日の消印であり、適応使用例ということになる。

39頁には、外国宛で上に船便葉書と下に船便書状。下の船便書状は、表面に差出人の名前がないものの、筆跡からも28頁で述べた「TSUKIOKA」カバーだとわかる。

### 【40-42頁：菱田春草】

40頁には、2段目にYOKOHAMAの上耳付田型が入っているので、スペースは塞いではいるが物足りなさは補えない。2段目左の彦根の鳶色和文機械印は、何故か印影が斜め。切手がまっすぐに貼られていなかったのだろうが、お行儀が悪い。3段目のワカヤマ井ノ口の紫色カタカナ県名入和文ローラー印は、最近の入手品。

41頁は国内宛書状が2通。菱田は、正岡以上に発行目的通りの国内宛書状適正使用期間が短いことになる。右の「量目検査済」印押しのカバーは、38頁で述べた料金改定後に、2円農夫を加貼して10円書状料金を仕立てた例。

42頁上には、グアム宛航空書状。グアムは第2地帯であり、船便書状の基本料24円に航空割増料34円を加算した合計58円料金を、菱田と50円能面で賄っている。また、下の3枚横ストリップ貼は、一見外国宛船便書状のように思えるが、実は船便印刷物基本料5円にアメリカ（第3地帯）宛航空割増料18円を加えた23円に対し、1円過納の24円貼りという航空印刷物の初日使用例。なかなか面白いカバーではなからうか。

### 【43-45頁：西周】

43頁は、消印が賑やかに並んだ。もちろん、印影が不十分なものもあるが、それはこれから丹念に、より読めるものに代えていきたい。作品作りには終わりがなく常に現在進行形なのである。

44頁には、1枚貼りの国内宛書状。西は、1951（昭和26）年11月の料金改定後の国内宛書状の基本料金として盛んに使用されたことから未使用が残らず、よってそのカタログ価格も高いとされるが、このカバーは盛んに使われたというその使用例。

45頁には外国宛カバーが2通。上はアメリカ（第3地帯）宛2倍重量航空便書状で、1951（昭和26）年12月1日からの新体系の外国航空郵便料が適用されている。この料金改定により、従来の外国宛航空書状が「船便基本料+航空割増料」という構成になっていたものが、「航空郵便物1通ごとの併合料金」になった。このカバーは、10グラムごとに80円という料金の2倍重量相当の160円分の料金に対し、

文化人 西周 1952. 1. 31



アメリカ(第3地帯)宛2倍重量航空書状  
秋篠 27.5.2



ノルウェー宛船便印刷物  
東山 27.2.12

30円銭位塔航空5枚と西が使われたもの。また、外国航空郵便料が新体系になった時に、船便基本料金も5円から10円に改定されており、下は改定後のノルウェー宛船便印刷物の「TSUKIOKA」カバー。

### 【46-49頁：梅謙次郎】

46頁も、消印の種類が少なく、2段目で、別納使用見え見えの練馬の和文ローラー印の上耳付き田型でスペースを稼いでいる。

47頁は右耳上に版番号がかるうじて判別できる20面フルシート使用済。この梅の版番号は、右耳上に「1」「4」「6」、左耳下に「2」が記録されていることから、このシートは「6」ではないかと思われる。

48頁の国内宛書留書状は大ぶりの封筒で、国内書状料金10円+書留料35円の合計45円の切手が貼られている。このカバーは、裏面の差出人が門司市役所となっており、広島県の大竹町長宛に「外国人登録原票」を送達するため、門司港局で書留として引き受けられたものである。

49頁は外国宛で、上が船便印刷物、下が船便書状。どちらも初日印のフィラテリックカバーである。

### 【50-53頁：木村栄】

50頁の木村は、文化人18種のうち今回唯一、和文機械印を紹介できない切手。木村だけ特別に入手が困難な理由はなく、他の方のコレクションでは、文化人18種和文機械印揃いを目にしているので、単に運がなかったということか。

51頁は、20面フルシートの使用済みだが、版番号は不明のもの。

52頁には、左に適正使用1枚貼の国内宛書状と、右に、やや後期使用ではあるがアメリカ宛の船便印刷物を示した。

53頁の国内宛書状は、3倍重量の開封便（第5種）である。木村の縦ペアに2円農夫2枚の計24円が貼られているが、料金内訳は、100グラムごとに8円であり、200グラム超300グラムという重量物が送られたものだが、あるいは同じ料金体系となる印刷物か業務用書類である可能性もある。

### 【54-57頁：新渡戸稲造】

54頁の2段目右、浦和の紫色和文ローラー印は、しっかり年号も読めてお気に入りの一品。最下段の逗子の鳶色和文機械印は、かるうじて年号27が読み取れるので良しとしたい。

55頁の20面フルシート使用済みには、左耳にトンボが見られるものの版番号は表示されていない。新渡戸は、かなり離れたところに版番号があるらしく、よほどの裁断ずれでもないとお目にかかれない代物のようである。

56頁には、発行月内使用の目的通りの国内宛書状。

57頁には、上にアメリカ宛の1枚貼り船便印刷物と、下に新渡戸の縦ペア+4円多宝塔貼りのアメリカ宛船便書状を並べた。

### 【58-61頁：寺田寅彦】

58頁の寺田は、1段目にワンピースながら石川・-小-の富士山図案年賀用絵入櫛型印。フルストライクだが刷色の関係で局名が判別できないのが辛い。2段目の京橋の鳶色和文機械印や最下段にヒョウゴ灘のカタカナ県名入和文ローラー印などが揃った華やかなリーフ。

59頁は、右耳のトンボ付だが版番号不明の20面フルシート使用済み。

60頁の国内宛書状は、発行目的通りの適正使用例で翌月の消印。

61頁の上は、1円円位前島と3円ホトトギスを加貼したドイツ宛船便葉書である。着印はないが、受取人が押したであろう緑色のスタンプが「1955年3月15日」であることから、1か月以上かけてヨーロッパ大陸まで旅したことがわかる葉書。下は1枚貼りのアメリカ宛船便印刷物。

文化人 寺田 寅彦 1952. 11. 3



みほん



年賀用絵入櫛型印【富士山】  
石川-小- 28.1.1



未使用銘版付  
【大蔵省印刷局製造】



髙色和文機械印  
京橋 27.12.12



欧文櫛型ゴム事務印  
-KOHAMA -XIL54



欧文櫛型金属印  
SHIBA 12.11.52



欧文三日月型印  
TOKYO -7.X.54



櫛型印  
島根-七日市 27.11.27



鉄道郵便櫛型印  
名古屋島羽間 28.3.7



カタカナ県名入和文ローラー印  
ヒョウゴ灘 2-



和文ローラー印  
東京中央 28

## 【62-64頁：岡倉天心】

文化人の最後を飾るのは、寺田と同日発行の岡倉。この二人が、11月3日の文化の日に相応しい「文化人切手」のアンカーとなったが、当時の収集家からは「残存分一掃」との批判もあったという。

62頁も、最下段の東京中央の左耳付き和文ローラー印が別納っぽくて上品さを欠くが、賑やかなリーフ。2段目右の甲府の黒色和文機械印は、31年とやや使用が遅くシミも目立つが、ミクスチャーから掘り出した思い出の品。また、3段目の「IMPERIAL HOTEL P. O」は、例外的に帝国ホテル局でのみ使用が確認されている小型（通常の欧文櫛型印直径26ミリに対し23ミリで、年数字も異質）の欧文櫛型金属印である。

63頁には、版番号不明の20面フルシート使用済み。

64頁は1枚貼りのベルギー宛船便印刷物。封筒に印刷されていた航空郵便の表示を抹消し、「PRINTED MATTER」の頭文字だと思われる赤い「○P」印が押されている。

日本・伝統 (3 フレーム)

## 旧韓国より朝鮮戦争頃までの収入印紙と証紙類 1905-1955

出品者：長谷川 純

昨年の全日展には、終戦後、残っていた日本の収入印紙に、台湾で暫定加刷を正式な収入印紙が発行されるまで、第一のグループが、大小の字体違い 18 種、第二のグループが 5 種、そして第 3 のグループが 5 種の合計 28 種類を専門的に分類して出品した。

今年は、日本軍が大東亜戦争時、占領した香港印紙を発行中に専門分類した作品を準備していたが、今年は韓国展の出品も有るとのことで、朝鮮半島に関連した収入印紙、収入証紙、などを 3 フレームに纏めて出品することを決めた。この作品には多くの未発表や未公開の印紙等が多数含まれている。多分、これが日本での展示が最後になると考えている。

始めのフレームは、旧韓国政府が正式に発効した印紙で、1905 年 12 月 1 日より 1908 年 11 月 1 日まで数回にわたり、大韓帝国政府印刷局で発行され、1912 年 3 月 31 日に使用禁止と成った全ての収入印紙が含まれている。

なお、これらの印紙が、正式に発行される前は、日本の収入印紙が日本領事館などで、日本人向けに発売されていた。しかし、その使用例はごく少なく、明治後期のものが少数発見されているのみである。初期の手彫り印紙時代の物は、使用されているはずだが、見たことがない。一応、公文書には使用方法などが明記してあるので、発見されると思っている。

第一次の徴税印紙は 1 チョンから 10 ウォンまでの 7 種類がある。このうち、5 ウォンと 10 ウォンには、無目打ち、無糊のプルーフと言われてきたものがあるが、私の考えでは、未完成品を印刷局から持ち出したものだろうと考えている。ここに示すシートは故近藤一郎氏の旧蔵品で、イギリスのギボンズ社より購入したと聞いている。私がいくら熱望しても 1 点くらい、君が持っていない物を持っていたいと生前は遂に譲ってもらえなかった。彼の死後、柳田スタンプの柳田さんから話が来て、やっと購入できた。その後、私はこのシートを田型や横ペアに切手分譲しようと考えたが、陳キホン先生に、絶対に切るなと約束されて現在に至っている。旧韓国の印刷局の製品として、唯一の 10X5 の 50 面シートであるから、残すべしとのこと。実際に、5 チョンと 10 チョンは無目打ちが、縦 5 枚の形式で残存している。私の調査結果では、5 チョンは 5 枚ストリップが 15 点の計 75 枚と 10 チョンの 5 枚ストリップが 6 点の計 30 枚であった。なお、シートには銘版がない。最高額の 10 ウォンは使用済みが少し残っているが、未使用は未発見である。日本の合併後、残っていた 5 チョンと 5 ウォンは見本と手押しされているが、ほかの額面はすでに残っていないと推定される。

第二次発行の前に、未発行と思われる 1 厘から 10 ウォンの 6 種類が存在する。この中の 1 厘、5 厘、1 銭、1 ウォンの 4 種類は 私の先輩である下邑政弥氏が、1960 年代に日本国内で当時としては高額な 20 万円で入手され、1990 年ころに、繭印紙、蚕種印紙の朱印付きオムピース、7 年の目打ち入り、骨牌印紙などのほか、現金で残りを払い、入手した。その時点では世界中で、この 4 種しか存在していなかった。その後、韓国印刷局に日本から出向し印紙製造に関わった、2 名の技師のうち、一人の遺族の周辺から 2014 年に私が発見して、全てを入手した。多分、記念に持ち帰り、100 年余り、大切に保管されていたのだろう。この中では 50 チョンの青色印紙が新発見であった。同じく、10 ウォンのダイプルーフは (正式には未発行なのでダイプルーフとは言わないかもしれないが、便宜上ここではこの名称を使う)。個のプルーフは中央の印面の上に、李王家の家紋のソモモがエンボスされている。しかも図案は第一次の 1 ウォン印紙にそっくりで、額面の 1 ウォンが 10 ウォンになっているのみである。この 10 ウォンの新デザインはこのプルーフのみであるが、製造品は未発見なので、今後、発見される可能性がある。



*Tax Paying Revenue Stamp - Unissued*

UR6

*Die proof of 10 won 116 x 160 mm*



*This is the only one known die proof of the Korean empire.  
Plum flower embossed in the center.*

*unique*

*Discovered in 2014 in Japan*

13

第2フレームは日本の当時化で発行された収入印紙や、収入証紙、封緘紙など、日ごろあまり見ない物を展示した。

リーフ18、民営タバコの香月に貼ってあるタバコ専門の封緘紙である。

リーフ22、京幾道の収入証紙の50銭の10枚ブロック。

リーフ23、同じく1銭の5x10の50面シート。

リーフ26、忠清北道の収入証紙 1銭、6x5の30面シート。

リーフ27、 “ ” 2銭、5x10の50面シート。

リーフ28、 “ ” 10銭、5x10の50面シート。

リーフ29、 “ ” 50銭、5x10の50面シート。

リーフ30、 “ ” 1円、6x5の30面シート。

この1銭から1円までの5種類の内、1銭と1円のみが30面で他は50面シートである。どうしてこの2種類のシート構成があるかは不明である。このセットは韓国生まれのアメリカ人で、長い間の友人であった、ジェームス カー博士より譲り受けたもので、他でシートは見たことが無かった。リーフ32は3種類の封緘紙が示してあるが、このほかにも存在すると思っている。



### 朝鮮封緘紙 Official Seal

朝鮮總督府逓信局

1905



PO1

朝鮮總督府逓信局

1923



PO2

大日本朝鮮總督府逓信局

July 1923



PO3

第3フレームには終戦後、日本の主権を離れた、北朝鮮で、無目打ち、無糊の収入印紙が、1ウォンから1000ウォンまで、種類が発行されたが、使用済みは極、わずかで、證書付きは見たことがない。目打ちが縦方向のみ、施行されている物もある。その後、朝鮮戦争時に発行された物が1ウォンから100ウォンまで11種類、大小のサイズ違いがあるが、そのうちの2種は未発見である。いずれ発見されると考えている。

リーフ33から40までに、1ウォンから100ウォンまでの紙質違い、二重印刷など、バラエティを示している。

リーフ41には1ウォンから100ウォンの大型5種の内100ウォンを除く4種を示している。

リーフ42には同じく、1ウォンから100ウォンの小型4種の内50ウォンを除く3種と新デザインの5ウォンと10ウォンを示している。

リーフ43には納税証紙の2種類のバラエティを示す。

リーフ44には25ウォンから100ウォンの組合証紙が4種、各10枚ブロックで示している。この他に、黒色の200ウォンがあるが私は所有していない。

リーフ46には平糶の収入証紙の50ウォンが色違いで示してあるが、赤の50ウォンがつぶれて10ウォンに見えるものもある。特筆すべきは50ウォンのテートベッシュである。北朝鮮の初期の通常切手には横一列を逆に並べた結果、テートベッシュになった物があるが、印紙ではこの赤の50ウォンしか発見されていない。当然、同じ原版を用いて印刷した黄土色にも存在するだろうと考えている。もしかすると、印刷途中で気づき、修正したかも知れない。今のところ、一枚も発見されていない。

リーフ47には赤色の50ウォンで左上から5x6の30枚ブロックがある。最下段の横一列が逆になっている。多分、10x10の100面構成であったと思う。それ故、6番目の横一列がテートベッシュの可能性が強い。このブロックも目打ちは縦方向の身で、横にはない。

今回の展示で、初めて見た人も多くいると思う。将来は韓国の博物館や資料館に収められると思うので、今回が日本で、初めて最後の展示になると思っています。もし、日本の方で興味をお持ちの方がおられましたら、この展示会場に3日間いますので、声をかけて下さい。ここに展示したコレクションの他、研究資料や、重複品など、一括で次の方に引き継いで頂きたいと思っています。



PYONG YANG CERTIFICATE



PY5



PY5



PY5b (10 WON)



PY5



PY5a  
(Tete-Bech pair)



PY5



PY5A



PY5Aa  
(Tete-Bech pair)



PY5A

6

日本・伝統 (3 フレーム)

## 東京本局後期丸一型日付印

出品者：近辻 喜一

昨年、いづみ切手研究会で斉藤裕美さんからボストーク上製アルバム一冊を購入した。金一万円也!その内容は、東京日本橋蛸殻町から信州へ送られた毎日の米相場の帯紙に貼られた5厘切手を単片に剥がしたマルコフィリー作品で、菊5厘切手が発行された明治32年(1899)から翌33年(1900)まで2年間の東京本局の丸一印を取りあげる。

32年5月15日までは新小判5厘で、同年5月16日から菊5厘に切り替わる。あるいは、その日から東京局の窓口に菊5厘切手(あるいは菊1銭、3銭も)が登場したか?当時の東京はイ〜フ便の12便集配だが、このコレクションの便号はリ便とヌ便に限られる。信州和田局への到着は、翌々日のイ便になる。

33年は丸一印の最終年だが、ここでは12月26日へ便が最終日である。なお、日本郵趣協会『日本切手百科事典』所収の天野安治「日付印を中心とする郵便印」は、東京では同年末から丸二型日付印が使用されたとする。

ダストケースの背には「東京局消印1 市川正男 48ページ」とあるが、どこの展覧会に出品されたか確認できない。市川氏とは面識もなく、どこの誰だかもわからない。コレクションの内容から見て、かなりセンスの良い郵趣家である。

今回の全日展の出品料も3フレームで1万円、出品点数の少ない全日展を応援しようと思った次第。ご覧になった感想をぜひお聞かせ願いたい!

画像1はダストカバーの表面、画像2はタイトルページ、画像3は番外の東京の丸二型日付印で時刻表示が分数と少数、画像4は局名表示が東京中央から東京に戻るもの。



画像1はダストカバーの表面

# TOKYO 中央 1899-1900

## 東京本局後期丸一型㊦付印

明治32年2月6日から33年12月26日まで

### 丸一型日付印



明治21年9月1日から全国いつせいに  
〈丸一型日付印〉の使用を開始。  
東京本局は同33年末ごろまで使用された。

1876-1898

小判切手



5RIN

(最後期)

図案が小判型なので  
この名がある。

1899-1907

菊切手



5RIN

(明治32年4月1日発行)

中央に大きく菊花紋章  
があるので〈菊切手〉  
とよんでいる。

# 東京局消印



# 1903

(1月7日~3月10日)

5RIN

<STAMP>



画像3 番外の東京の丸二型日付印で時刻表示が分数と少数

# 東京局消印



# 1903

(4月10日~ 月 日)

5RIN

<STAMP>



画像4 局名表示が東京中央から東京に戻るもの

ワンフレーム

## 日本の自然シリーズ 80 円ヤマセミ

出品者：清水 政男

本展示は、普通切手・日本の自然シリーズ（平成切手）80 円ヤマセミに関して、ワンフレームにまとめたものです。基本の発行形態を示すありふれた切手の展示となりますが、その中で3リーフを使ってこれまであまり注目されなかったバラエティを展示することを主目的としています。

80 円ヤマセミ切手は、郵政事業株式会社時代に新たな図案の切手が発行されるまで、封書料金用として 13 年以上も発行されました。そのため、100 面シート、シール式ゆうペーン、コイル切手、ファミリーペーン、シール式ペーンと様々な形態での発行や、3種類の銘版やバーコード付き切手と耳紙上の変化もあります。しかし、平成の時代ともなると、意図しない製造上のバラエティは少なく、使用面から見ると意図的に作成した郵趣家便ばかりとなり、面白みに欠ける展示になると考えられるかもしれません。

日本郵趣協会『郵趣』の過去号を調べると、ブラックライト下での観察で、80 円ヤマセミに発光（蛍光）バラエティがあることが記載されていました（郵趣、2003 年 2 月号）。この著者は自作の特殊な撮影装置によりバラエティのある切手を探したようですが、出品者は手軽な LED ブラックライト（最大波長 395 nm）を使って、該当する切手の探索を行ってきました。

ゼロからバラエティを探すのは大変ですが、存在がわかっているバラエティを探すのは比較的簡単です。店頭で手当たり次第にブラックライトを照射して、未使用の上下カラーマーク付き、銘版付きの切手を入手することができましたので、今回お示しします。カラーマークを通常印刷のものと重ねて観察するとその差は明確で、写真を使って示しました。しかし、残念ながらペア以上の切手はこれまでに入手できていません。あまりにもありふれた切手であり、自然光下では区別できないので、特殊な位置の単片切手以外はあまり保存されていないのではないのでしょうか。

未使用に比べて使用済み切手については、平成 9 年から平成 10 年頃の消印のあるものを調べるとかなり簡単に見つけることができます。出品者が調べたところによると、最初期として平成 9 年 8 月 25 日布施局の消印が見つかりました。ただ、平成 11 年になると、ほとんど使用例が見つかりませんので、短期間に発生したインクのバラエティであることがわかります。なお、今回展示では郵政局ごとの最初期使用例を示しましたが、全国的な消印が見出されることにより、地域限定的に発売されたものでは無いと思われます。

出品者はこれまでブラックライト下での切手の観察について、切手展にて発表してきましたので、本展示もその流れの一つとなっています。本展示のブラックライト下シェード切手の使用例の調査はまだ十分とはいえませんので、今後も調査を継続をしていかなければなりません。

80円ヤマセミ

ブラックライト下でのシェード



通常印刷



通常印刷



通常印刷



2種類の同時使用

1998(平成10)年5月14日



80円切手は長く発行され続けた割には、カラーマークで見る限り、あまり大きな刷色の変化が無いことがわかる。ところが、ブラックライトを照射した場合、色調の大きな差があることが知られている(郵趣、2002年2月号、91ページ)。自然光下では見た目に全く変わらないので、2種類の切手を同時に使った例が見られる。

(このページ 写真:70%)

(撮影波長:365 nm)

# 草加郵趣会 55 周年記念切手展

会期 2023年7月15日(土) 16日(日)

時間 10:30-17:00

会場 切手の博物館3階スペース1・2

主催 草加郵趣会

催事 豊島局臨時出張所(15日)、フレーム切手・記念カード、即売品販売(予定)

## 作品一覧



| 作品名称                   | Fr. | 出品者    |
|------------------------|-----|--------|
| コロナを乗り越え 55 年          | 1   | 草加郵趣会  |
| インクジェットプリンター (IJP)     | 3   | 奥 将雄   |
| 私がデザインした風景印・小型印        | 1   | 嘉藤 雅子  |
| 楽しい消印めぐり               | 1   | 嘉藤 雅子  |
| 「埼玉」郵便局めぐり             | 1   | 嘉藤 雅子  |
| オリンピック観戦に行きたかった!       | 1   | 嘉藤 雅子  |
| 埼玉県東南部 6 局他の初期郵便通送     | 2   | 金沢 真之  |
| 国際文通週間 (昭和 33 年~ 37 年) | 1   | 金沢 真之  |
| 米領フィリピン                | 2   | 小見山 伸彦 |
| 遠くなる昭和の時代              | 3   | 柴 由紀夫  |
| ああ、もったいない              | 2   | 嶋根 浩   |
| 日本普通切手 1966 ~ 2021     | 1   | 嶋根 浩   |
| 逓信省発行の記念絵葉書            | 2   | 滝川 碩祠  |
| 飢餓救済運動から 60 年          | 3   | 田辺 善孝  |
| 花博                     | 1   | 西村 卓司  |
| 富士山アラカルト               | 4   | 藤波 誠治  |
| 印字切手                   | 4   | 本間 秀雄  |
| 上野国の縦書丸一型印             | 3   | 森下 幹夫  |
| 縁とゆかりのある手紙             | 1   | 森本 ゆかり |
| 穿孔切手の使用例               | 2   | 渡邊 藤人  |

# 草加郵趣会

## 55周年記念

### 切手展

草加煎餅の元祖  
おせんさん



入場無料

2023.

7.15<sup>〈土〉</sup>・16<sup>〈日〉</sup>

10:30▶17:00

会場 / 3階 スペース1.2

主催 / 草加郵趣会

〒豊島局  
臨時出張所

15日開設

※13時～14時はお休みです。

切手類の販売と押印サービス  
を行います。



本日は「草加郵趣会 55 周年記念切手展」へご来場頂きまして誠にありがとうございます。また、完全にコロナ渦が終息した訳ではありませんが、こうして切手の博物館で支部結成 55 周年を記念して切手展を開催することが出来たことはとてもありがたいことと感謝しております。

作品は切手に係る多岐のジャンルに興味を持たれた会員の皆さんが、熱心に集めたものになります。また、豊島郵便局臨時出張所による記念小型印の押印サービス、フレーム切手や記念カードも用意いたしました。ごゆっくりとお楽しみください。

草加郵趣会 会長 田辺 善孝

## 【出品者・作品紹介】

### 草加郵趣会

#### 「コロナを乗り越え 55 年」

昨年、草加郵趣会は日本郵趣協会第 8 番目の支部として 1967 年 1 月に東埼玉支部として誕生いたしましたから 55 年を迎えましたが、まだコロナ渦の中にあることから、今年あらためて 55 周年を記念して記念切手展を開催することになりました。草加郵趣会は 72 年 6 月以降 2021 年のコロナ渦のための休会以外、一度の休会もなく今日まで活動を続けています。その 55 年の歩みをここではご紹介いたします。

### 奥 将雄

#### 「インクジェットプリンター(1JP)」

平成 19(2007)年 1 月 23 日に東京中央郵便局で初めて使用され、1 月 30 日から日本橋、銀座、渋谷郵便局で使用されました。平成 28(2018)年まで 10 郵便局が使用し、字体も「タイプⅠ」、「タイプⅡ」、「タイプⅢ」と使用されましたが、平成 29(2019)年 2 月 6 日を最後に新郵便局の使用はありませんでした。

### 嘉藤 雅子

#### 「私がデザインした風景印・小型印」

消印好きが高じて風景印や小型印のデザインを手掛けるようになりました。依頼主の要望を取り入れつつ、題材選びや表現方法など自由に楽しみながら制作しています。今までに原画を描いた消印は 53 個。原画やマキシマムカードと共に紹介します。今回会場で使用される「草加郵趣会 55 周年記念切手展」の小型印も私がデザインしました。

#### 「楽しい消印めぐり」

消印が大好きです。押印する台紙はオリジナルにこだわり、消印や切手に合わせてイラストを描いて台紙を作っています。今まで作成したオリジナル台紙の中から、自信作をご紹介します。

#### 「『埼玉』郵便局めぐり」

2017 年に東京から埼玉に引越しました。自分が住

む埼玉の名物や名所について知りたくて、県内各地を歩いて風景印を集めました。2017 年から 2019 年にかけて、3 年がかりで制作しています。郵便局めぐりを通じて、私が見つけた埼玉の魅力をご紹介します。スタンプショウ「フリースタイル切手展 2019」グランプリ受賞作です。

#### 「オリンピック観戦に行きたかった!」

東京で 57 年ぶりに開催されたオリンピック。とても楽しみにしていたのに…。新型コロナの影響で直前になってまさかの無観客開催が決定。それでも諦めきれない気持ちを抱えて自分なりに郵趣活動をした記録です。スタンプショウ「フリースタイル切手展 2022」グランプリ受賞作です。

### 金沢 真之

#### 「埼玉県東南部 6 局他の初期郵便輸送」

この作品は埼玉県東南部の草加・越ヶ谷など 6 郵便局他における、郵便物の輸送経路である「郵便線路」の変遷について展開することを試みたものです。対象期間は明治 6 年から東武鉄道が開通して鉄道輸送に替わる前日の明治 32 年 8 月 26 日までです。

#### 「国際文通週間(昭和 33 年～ 37 年)」

国際文通週間は昭和 32 年(1957)の UPU 総会で設置が決定されました。日本はその翌年昭和 33 年から切手を発行し現在も継続されています。最初の 5 年間は初代安藤広重の東海道 53 次が題材となり、「京師」「桑名」「蒲原」「箱根」「日本橋」が採用されました。各切手について未使用と使用済で 1 リーフ、カバーを 2 リーフで 1 フレームに展開しました。

### 小見山 伸彦

#### 「米領フィリピン」

フィリピンは過去に他国の統治を受け(スペイン、アメリカ、日本)この内アメリカ統治時代(米領 1899-1941 年)に発行された切手の展示です。

**柴 由紀夫****「遠くなる昭和の時代」**

平成の時代は31年4月で終わり、5月より令和の時代になり、戦後生まれの団塊世代にとっては、また昭和の時代が遠くなりました。今回の作品は激動の時代であった昭和を時系列に昭和63年の瀬戸大橋開通までおってみました。

**嶋根 浩****「ああ、もったいない」**

カタログ評価の高くなった昔の切手に記念押印したり、郵便に使ったり遊んだり、そういうもったいない使用例を集めてみました。この作品は、スタンプショー 2019 に出品した1フレームを、リメイクして2フレームにしたものです。

**「日本普通切手 1966 ~ 2021」**

1966年の新動植物国宝から現在までの普通切手を、1種1枚ずつ集めたカタログコレクションです。JPSさくら日本切手カタログに沿って並べてみました。

**滝川 碩詞****「通信省発行の記念絵葉書」**

1902年(明治36年)の万国郵便連合加盟25年を始めとし、17回の発行がありますが、このうち明治時代の11回を展示。特徴としては日露戦争関連が過半数を占めています。

**田辺 善孝****「飢餓救済運動から60年」**

今から60年前の1963年、国連食糧農業機構(FAO)は慢性的に飢餓に苦しむ人々を救済するための運動を啓蒙するため、世界各国に働きかけ多くの国及び地域で多くのキャンペーン切手が発行されました。ここでは当時発行された日本での切手及び世界各国で発行された切手を一堂に集め展示いたしました。

**西村 卓司****「花博」**

国際花博は1960年オランダで開催されました。ヨーロッパでの開催が多く、アジアでは大阪花と緑の博覧会があります。ここではその世界を紹介いたします。

**藤波 誠治****「富士山アラカルト」**

「美しい富士山」、「普通切手の富士山」、「いろいろな富士山」、「富士山の郵便局」の4部構成で御覧いただきます。

**本間 秀雄****「印字切手」**

郵政省は新しく自動販売機を設置した局に於いて平成9年4月10日から、「料金印字切手」を発行した。第1フレーム~2フレーム未使用及び印字切手で唯一の「定常変種」並びに予め設定された料金の他、イレギュラーな状態で印字された「長野版や岐阜版の10円」及び「久留米の270円」等を展示。第3フレーム~4フレームは使用例を展示した。

**森下 幹夫****「上野国の縦書丸一型印」**

群馬県の郵便印(非郵便印含む)を初期から現行まで収集していますが、その中から縦書丸一型印を展示します。郡別局別に整理しましたが、一般の丸一型印と比較し、まだまだ未集局も多く今後の課題です。

**森本 ゆかり****「縁とゆかりのある手紙」**

草加郵趣会創立55周年を迎えるにあたり、1フレームに挑戦してみました! さだまささんの小型印、作家・中村彰彦先生から戴いた年賀状、生を受けた秋田の葉書や小型印、大好きな街・会津若松関連の葉書や小型印等等など。ラストは森下さんのお膝元の邑楽町町制施行55周年の小型印と草加郵趣会・55周年の同じ55=GOGOと合わせてみました。

**渡邊 藤人****「穿孔切手の使用例」**

穿孔切手は記号入り郵便切手の一種で、これは①郵便切手に記号をつけたもの②郵便切手の使用に対して影響を与えないこと③使用者を限定する作用を持っていること④国家によって行われたものではないこと⑤会社や個人などの申請にもとづいて国家が承認したもの、と定義されています。今回の展示では穿孔切手を貼ったエンタィアを使用者・穿孔の種類別に展示し、使用切手・使用局を記入してあります。

スタンペディア日本版

# 2023 年会員募集中

今年から年会費を2,980円に値下げしました(A5判の場合)



## 「スタンペディア日本版」2023年メンバーシップ特典

### 1. 機関誌「フィラテリストマガジン」のお届け

機関紙通常号本誌（付録含まず）を4/30, 8/30, 12/30頃にお送りします。

\* 受け取る冊子の判型を『A5判（年会費2,980円）』『A4判（年会費5,980円）』より選択できます。

### 2. 機関誌「フィラテリストマガジン」2023年新刊のダウンロード権利 (PDF)

2023年は通常号3回と号外3回を計画しています。冊子のお届けに先立ちご案内します。

### 3. 機関誌「フィラテリストマガジン」バックナンバー全てのダウンロード権利 (PDF)

過去に発行された「フィラテリストマガジン」の本誌および号外の全てのダウンロード権利 (PDF) を在籍期間中付与します。(発行から3年を経過した機関紙の一般公開に伴う措置です)

### 4. 書籍「日本郵趣記事索引2023」のお届け

フィラテリストマガジン等の郵趣記事索引を掲載した書籍（冊子）を2024年3月頃にお届けします。

### 5. 単行本販売時の優先取り扱い

当社発行書籍等を、非会員より優遇条件で販売する場合がございます。オンラインからの注文に関しては、マイスタンペディアにてワンクリックでお申込みいただける仕組みも導入しております。

### 5. 提携先の「スタンペディアオークション株式会社」の優待サービスを受けられます

スタンペディアオークション株式会社（以下、同社）より「スタンペディア日本版」会員向け優待サービスが提供されており、同社が利用停止した方を除く全ての当会会員が利用できます。

- (1) セールカタログ（通常および文献）を、機関紙送付等にあわせてお送りします。
- (2) 入札や下見にあたり、同社への会員登録の申し込みは不要で、当会会員の資格で参加できます。
- (3) 事前入札において同値の場合、当会会員の取り扱いが優先されます。
- (4) 一定条件を満たす事前入札（セールカタログに記載）に対して、入札確認通知を郵送します。

会費有効期間 2023年1月1日-12月31日

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

## あとがき

今回の号外は、3つの切手展を1冊にまとめた豪華版です！そろそろ夏がやってくるんだな、とフィラテリストマガジンの号外で季節を感じている菊地です。

5月の柏餅ウィーク（世間ではゴールデンウィークと呼ぶ）をそこそ平凡に過ごし、東京ワンフレームチャンピオンシップの作品作りどうしよっかな～、でもまだ時間あるしな～、とのんびり呑気にひとつ歳を重ねた5月。

月が変わったすぐの土曜日は明治セール。億の数字が動くのを見ながら、日本切手ってこんなに高いのか～！と驚きつつ集めているのが1次昭和でよかったとほっとし、セール後のスタッフ打ち上げで夜中の1時から肉をたらふく食べ、案の定、一週間程胸焼けが続いた6月前半。南方切手展が週末に迫っている事に気づき身体に鞭打ちながら、なんとか作品を仕上げた南方展に。

間髪入れずに、ワンフレ展の参観ガイド原稿締切期限が迫り、つまりそれは作品提出期限が押し迫っている事を意味しています。5月の余裕はどこへやら。作品作成時間をどこで捻出するか考えるも、、、ない。私には6月に作品を作る時間が全くない。もちろん睡眠をべらぼうに削ればなんとかできるでしょう。作品が完成するか菊地がくたばるか二つに一つの状況。。。くたばっては今から楽しみ『うなぎナイト』に参加できなくなってしまう。それはどうしても避けなければ！

この危機的状況で生かされるのはこれまで培ってきた経験値！そう、私にはこれまで数々の切手展の作品締切日をギリギリ乗り越えてきた経験値がある！流した涙も数知れず、しかし、その幾多の経験が今ここにいかされる！？の、か？ 結果は展示会場で（菊地）

フィラテリストマガジン号外の「競争展示 参観ガイド」コンテンツについて「競争展示 参観ガイド」は、競争展主催者が発行する目録とは別に、出版社の『無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社』が、出品者の寄稿を元に編集・発行したメディアで、主にPDFで配信されています。

寄稿の募集は、総合郵趣情報誌「フィラテリストマガジン」の誌上及びインターネットにて行います。また、過去に同企画に参加された皆様には直接お誘い申し上げます。来年以降の競争展でも、特段の変化がない限り、同様の企画を実施しますので、出品受諾の頃に、上記の方法でご応募いただければと思います。

書名：フィラテリストマガジン

号数：号外 第32号<夏の切手展参観ガイド>

発行日：2023年7月3日

価格：1,500円（消費税込）

発行者：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

発行人：吉田敬

編集部：北川朋美、菊地恵実

\* 当誌は「スタンペディア日本版」の機関誌です。

Name of the magazine: The Philatelist Magazine

Number: Extra Edition 32

Date of issue: July 3rd 2023

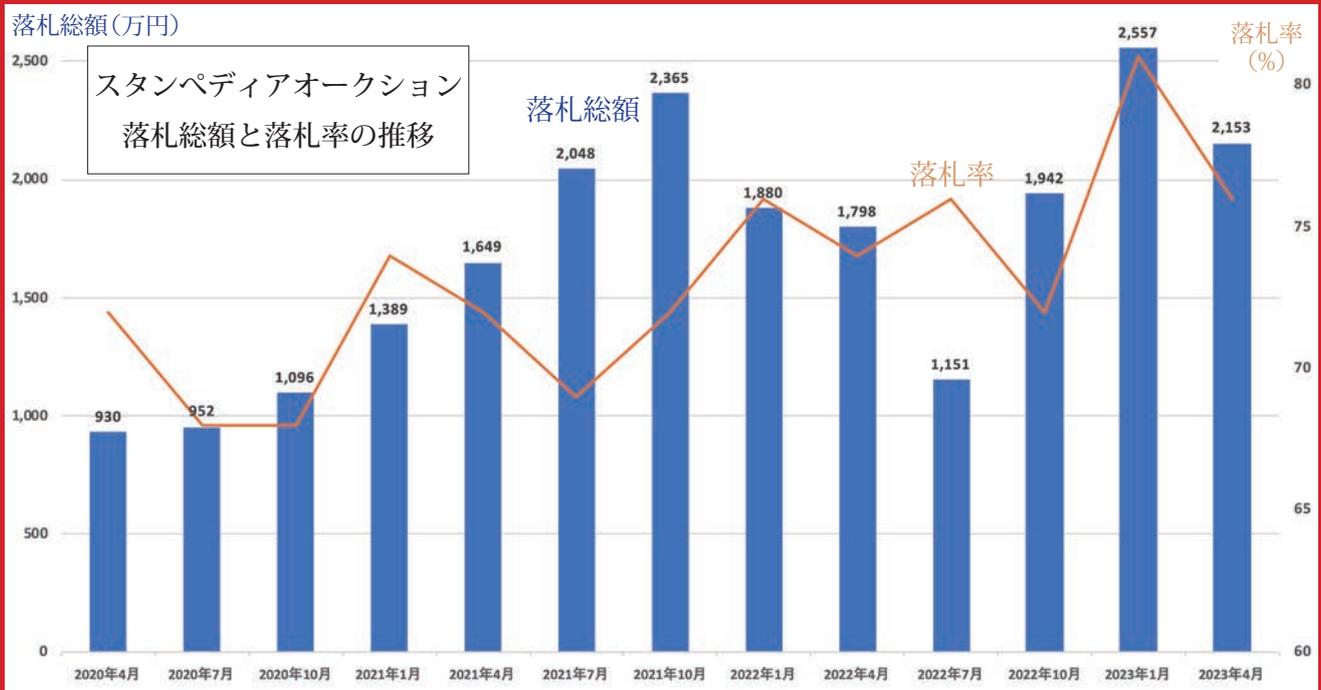
Price: 1,500 Yen

Publisher: Stampedia, inc. Takashi Yoshida

Editor: T. Kitagawa, E. Kikuchi

# スタンペディアオークション

大切に集めた切手を少しでも高く安心して換金するお手伝いをします



第1回セール(2017年4月)で102万円だった流通高は、2023年1月に2500万円まで増加しました。

## 私たちが切手のオークションを始めた理由(創業理念)

1860年にパリで始まった切手収集は、160年以上世界中の人に愛されてきた趣味です。収集人口こそ減少した現在ですが、希少な切手を求める世界中の収集家の熱意は衰えることはありません。しかし収集家の平均年齢が高齢化し、長年、丹精込めて収集されたコレクションの中には、適切に処分されなかったものも少なくありません。

熱心な切手収集家のネットワークから始まったスタンペディアオークションは、このような状況を悲しく思います。私どもは、切手は気軽に所有できる骨董品であると同時に、身近な文化遺産であると考えています。一つでも多くのコレクションを次世代に引き継ぐお手伝いをしたいという想いが私たちが切手オークションを始めた理由です。

## 国際オークションハウスへの出品代行

手彫切手および外国切手の1,000万円以上の評価の本格的なコレクションについては、海外で販売した方が高くなります。これまでに次の国際オークションハウス9社を通じて、日本人コレクターのコレクション処分のお手伝いをさせていただきました。

独: Heinrich Köhler、Christoph Gärtner スイス: CORINPHILA、David Feldman スウェーデン: Postiljonen 英: SPINK 米: H.R. Harmer カナダ: Eastern Auction 香港: John Bull(2023年5月現在) 手数料として最終売却代金の12%を頂戴します。海外でのコレクション処分を希望する場合は、以下のメールアドレスにお問合せください。輸送保険や送金まわりのご相談にも対応します。

スタンペディアオークション株式会社

〒102-0083 千代田区麹町4-7 パークハウス麹町プレイス803 FAX: 03-6800-5384

<http://auction.stampedia.net>

[auction@stampedia.net](mailto:auction@stampedia.net)

冊子「切手コレクション処分ガイド」  
差し上げます